

夜須分団屯所新築工事 （建築主体工事）

意 匠 図		構 造 図	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	特記仕様書（建築工事編）（１）	S-01	構造関係共通事項（その１）
A-02	特記仕様書（建築工事編）（２）	S-02	構造関係共通事項（その２）
A-03	特記仕様書（建築工事編）（３）	S-03	構造関係共通事項（その３）
A-04	特記仕様書（建築工事編）（４）	S-04	構造関係共通事項（その４）
A-05	特記仕様書（建築工事編）（５）	S-05	構造関係共通事項（その５）
A-06	特記仕様書（建築工事編）（６）	S-06	構造関係共通事項（その６）
A-07	特記仕様書（建築工事編）（７）	S-07	ベースバック柱脚工法設計施工標準図
A-08	特記仕様書（建築工事編）（８）	S-08	ルーフデッキ設計施工標準図
A-09	特記仕様書（建築工事編）（９）	S-09	1階床梁伏図
A-10	特記仕様書（建築工事編）（１０）	S-10	RFL-1床梁伏図
A-11	特記仕様書（建築工事編）（１１）	S-11	RFL-2床梁伏図
A-12	付近見取図・配置図	S-12	軸組図（１）
A-13	求積図	S-13	軸組図（２）
A-14	仕上表	S-14	軸組図（３）
A-15	平面図・屋根伏図	S-15	基礎リスト・基礎梁リスト・スラブリスト・壁リスト・鉄骨部材リスト
A-16	立面図	S-16	継手仕口リスト
A-17	断面図	S-17	鉄骨架構詳細図
A-18	平面詳細図		
A-19	断面詳細図		
A-20	展開図（１）		
A-21	展開図（２）		
A-22	展開図（３）		
A-23	展開図（４）		
A-24	展開図（５）		
A-25	展開図（６）		
A-26	RC立上り伏図・天井伏図		
A-27	建具案内図・建具表（１）		
A-28	建具表（２）		
A-29	部分詳細図（１）		
A-30	部分詳細図（２）		
A-31	オーバースライダー（OS-1）詳細図（１）		
A-32	オーバースライダー（OS-1）詳細図（２）		
A-33	ハンガードア（SD-1）詳細図（１）		
A-34	ハンガードア（SD-1）詳細図（２）		
A-35	外構平面図・詳細図		
A-36	水防倉庫詳細図		

摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7.8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-00
	・						
	・						
	・						
		図 面 名	表紙・図面リスト	縮 尺 —	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		

鉄筋工事	5	鉄筋	鉄筋の種類等 (5. 2. 1)	・溶接継手	適用箇所 (5. 6. 3)	・マスコンクリート	適用箇所 (6. 2. 1) (6. 13. 1)
		・溶接金網	種類 呼び径 (mm) 備考 SD295 ※D16以下 SD345 ※D19以上 ・ ・		H12建告第1463号に適合する性能 (5. 6. 3)		セメントの種類 (6. 13. 2)
			鉄線の形状等 (5. 2. 2)		溶接継手の工法 (5. 6. 3)		・中唐熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G ・普通ポルトランドセメント ・ (6. 13. 2)
			種 類 種類 網目寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子		鉄筋相互のあき (5. 6. 3)		混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 ・ スランブ (6. 13. 2)
		鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 (5. 3. 4) (5. 5. 2) (5. 6. 3)		溶接完了後の継手部の試験 (5. 6. 3)	・無筋コンクリート	コンクリートの種類 (6. 2. 1) (6. 14. 1)
			部 位 継手の方法 呼び径 (mm) 柱及び梁主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 SD重ね継手 ・ガス圧接 上記以外 () ※重ね継手		不合格となった継手部への措置 (5. 6. 3)		セメントの種類 (6. 3. 1)
			継手位置 SD構造関係共通図 (配筋標準図) 5. 1、6. 1、7. 1、7. 3、8. 1による ・図示				※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G
			主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ SD構造関係共通図 (配筋標準図) 3. 1(a) (2) による SD構造関係共通図 (配筋標準図) 3. 1(a) (3) による ・図示				設計基準強度 (6. 14. 1)
			鉄筋の定着長さ (5. 3. 4)				スランブ (6. 14. 1)
			SD構造関係共通図 (配筋標準図) 3. 1(b)による ・図示				適用箇所 (6. 14. 1)
	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) SD構造関係共通図 (配筋標準図) 表4. 1による ・図示				・流動化コンクリート	適用箇所 (6. 2. 1) (6. 15. 1)
		柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 使用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する				SD打継ぎの位置	打継ぎの位置 (6. 6. 4)
		耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・適用箇所() ・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4. 1に加える厚さ ()mm ・()				ひび割れ誘発目地 打継目地	梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() ・ 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による() ・
	各部配筋	各部配筋 (5. 3. 7)					目地の寸法 (6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3)
		SD構造関係共通図 (配筋標準図) による SD図示 ・()					・標準仕様書 9. 7. 3(1) (7)～(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ・
	圧接完了後の試験	外観試験 (5. 4. 10) (5. 4. 11)					ひび割れ誘発目地の位置 (6. 8. 1)
		※行う (全数)					・図示による()
		抜取試験 ※超音波探傷試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。					
		・引張試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする 試験の箇所数：1ロットに対して(※3本 ・)とする					
	機械式継手	適用箇所 (5. 5. 2)					
		H12建告第1463号に適合する性能 (5. 5. 2)					
		機械式継手の種類 (5. 5. 2)					
		鉄筋相互のあき (5. 3. 5) (5. 5. 2)					
		施工完了後の継手部の試験 (5. 5. 2)					
		不合格となった継手部への措置 (5. 5. 2)					
		・図示による()					

鉄骨工事	○型枠 ○コンクリートの単位水量測定	せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm・) G ・ () ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所・図示による()・ () ・M C R工法用シート 適用箇所・図示による()・ () 打増し厚さ・20mm・ () 打増し範囲・図示による()・ () スリーブの材種・規格等 ・図示による()・ () 実施要領 構造関係共通図（構造関係共通事項） 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による	○溶接材料 ○ターンバックル ○床構造用のデッキプレート ・スタッド ○柱底均しモルタル ○製作精度 ○溶接接合 ○入熱、バス間温度の管理 ○溶接部の試験	溶接材料 (7.2.5) ※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による。 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所・図示による()・ () 種類 (7.2.6) 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト・ () 建築用ターンバックル胴 ※割枠式・ () ねじの呼び ・図示による()・ () 材質・形状及び寸法 (7.2.7) <table><tr><td></td><td>適用箇所</td><td>材質・形状・寸法</td><td>備考</td></tr></table> ○デッキプレート 単独の構法 ・デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする構法 ・ 開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む） ・ ()・図示 鉄骨部材への溶接方法 ・ ()・図示 耐火認定 ・有り 耐火時間・ ()・図示 ○無し 種類等 (7.2.8) <table><tr><td>呼 び 名</td><td>呼び長さ（mm）</td><td>適 用 箇 所</td></tr><tr><td>・16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・19</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・22</td><td></td><td></td></tr></table> 無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕様書 7.2.9(2)(7)から(Ⅸ)による・ 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6〔鉄骨精度検査基準〕に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(2)による・ アンダーカットの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(3)による・ 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による・ 試験の要領 ・図示による()・ 開先の形状 ○図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-2） ・ ・エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による()・ 切断範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する ・ 切断面の仕上げ ○標準仕様書7.6.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ○図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4(d)改良型スカラップ） ・ 適用箇所 ・図示による() ○柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12) ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6〔鉄骨精度検査基準〕の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 10.4〔受入検査〕e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み部の超音波探傷試験		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	呼 び 名	呼び長さ（mm）	適 用 箇 所	・16			・19			・22			○錆止め塗装 ・耐火被覆 ○建方精度 ○アンカーボルトの設置等	・工場溶接の場合 AQQL(%) ※4.0・2.5 節 ○全て 検査水準 ※第6水準 ・全数 ・工事現場溶接の場合 ※全数 塗料の種別 (7.8.4)(18.3.2) 下記以外の鉄鋼面は標準仕様書 18.3.2及び特記仕様書 18 塗装工事 錆止め塗料塗りによる ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A種・ ・耐火被覆が接する面の塗料の種別 ・ 種類、材料、工法等 (7.9.2～7.9.8) <table><tr><td>種 類</td><td>材料・工法</td><td>性能（耐火時間）</td><td>適用箇所（部位・部分）</td></tr></table> ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・耐火材張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ ・ラス張りモルタル塗り ― ・耐火塗料 ※JASS6 付則6〔鉄骨精度基準〕付表5〔工事現場〕による (7.10.2) 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3) ・図示による()・ 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3) ・図示による()・ 建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3) ・図示による()・ 建方（及び付属鉄骨）の保持及び埋込み工法 (7.10.3) 種別・A種○B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3) 厚さ・ 種別 ※A種・	種 類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）	○8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ・補強コンクリートブロック造 ・コンクリートブロック塀及び塙	ブロックの種類 (8.2.2、3、5、7、8) <table><tr><th rowspan="2">断面形状及び 圧縮強さによる区分</th><th rowspan="2">正味 厚さ（mm）</th><th colspan="2">モジュール呼び寸法（mm）</th><th rowspan="2">化粧の有無</th><th rowspan="2">適用箇所</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>長さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr></table> モルタルの調合（容積比） ※標準仕様書表8.2.1による ・セメント（ ）：砂（ ） 各部の配筋 ※図示による・ 目地の仕上げ・押し目地仕上げ・化粧目地仕上げ まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による・ ブロックの種類 (8.3.2、3、4) <table><tr><th rowspan="2">断面形状及び 圧縮強さによる区分</th><th rowspan="2">正味 厚さ（mm）</th><th colspan="2">モジュール呼び寸法（mm）</th><th rowspan="2">化粧の有無</th><th rowspan="2">表（8.3.1）以外の 適用箇所</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>長さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>・空洞ブロックC(16)</td><td>・120 ・150</td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・型枠状ブロック20</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr></table> モルタルの調合（容積比） ※標準仕様書表8.2.1による ・セメント（ ）：砂（ ） 塙の厚さ（mm） 塙の高さが2m以下 ※120・ 2m超え ※150・ 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示による・ 各部の配筋 ※図示による・	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	モジュール呼び寸法（mm）		化粧の有無	適用箇所	備 考	長さ	高さ	・				・無・有			・				・無・有			断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	モジュール呼び寸法（mm）		化粧の有無	表（8.3.1）以外の 適用箇所	備 考	長さ	高さ	・空洞ブロックC(16)	・120 ・150			・無・有			・型枠状ブロック20				・無・有			特記仕様書（建築工事編）（4） 令和 7 年 8 月 夜須分団屯所新築工事（建築主体工事） 令和 5 年 7 月改正	令和 4 年度版 高知県土木部建築課 図面番号 A-04
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																									
呼 び 名	呼び長さ（mm）	適 用 箇 所																																																																										
・16																																																																												
・19																																																																												
・22																																																																												
種 類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）																																																																									
断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	モジュール呼び寸法（mm）		化粧の有無	適用箇所	備 考																																																																						
		長さ	高さ																																																																									
・				・無・有																																																																								
・				・無・有																																																																								
断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ（mm）	モジュール呼び寸法（mm）		化粧の有無	表（8.3.1）以外の 適用箇所	備 考																																																																						
		長さ	高さ																																																																									
・空洞ブロックC(16)	・120 ・150			・無・有																																																																								
・型枠状ブロック20				・無・有																																																																								

○ 畳敷き

種 別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ○ D 種（畳床： I 形 ）

下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ○ 図示

・ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）

ホルムアルデヒド放散量

※ 1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。

畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用（3種表の2等以上） ※適用する ○適用しない

畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。

(19.7.2) (表19.7.1)

種 類	JISの記号	厚 さ（mm）、規格等
・ 硬質木毛セメント板 G	H W	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 中質木毛セメント板 G	M W	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
○ 普通木毛セメント板 G	N W	・ 15 ・ 20 ○ 25 ・
・ 硬質木片セメント板 G	H F	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・
・ 普通木片セメント板 G	N F	・ 30
○ けい酸カルシウム板	0.8 F K 1.0 F K	タイプ 2（無糸綿） ○ 6 ・ 8
・ ロックウール化粧吸音板	D R	※フットタイプ（※ 9（不燃） ・ 12（不燃） ・ ） ・ 凹凸タイプ（※ 12（不燃） ・ 15（不燃） ・ ）
・ ロックウール吸音ボード1号	R W－B	※25 ・
・ グラスウール吸音ボ－ド 32 K	G W－B	※25（ガラスクロス包） ・
○ せっこうボード ・ 不燃積層せっこうボード	G B－R G B－N C	※12.5（不燃） ・ 15（不燃） ○ 9.5 9.5（不燃） ・ 化粧無（下地張り用） ・ 化粧有（トラバーチン模様）
・ シーリングせっこうボード	G B－S	12.5（ ・ 不燃 ・ 準不燃）
・ 強化せっこうボード	G B－F	・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）
・ せっこうラスボード	G B－L	9.5
・ 化粧せっこうボード（木目）	G B－D （W）	12.5（不燃） 幅 440mm 程度 模様（※証目 ・ 板目） 専用下地材有り
○ 化粧せっこうボ－ド（トラバーチン模様）	G B－D（T）	9.5（準不燃）
○ 普通合板 G		・ 生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ○ 不透明塗料塗り（しな合板程度）
○ 天然木化粧合板 G		突板：松、ケヤキ
・ 特殊加工化粧合板 G		・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ1.2
○ ポリエステル樹脂化粧板		
・ ミディアムデンシティファイバ－ボ－ド G	G－M D F	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 無研磨 ・ 研磨
・ 単板張りバ－ティクルボ－ド G		・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
・ 化粧パーティクルボード G		・ 単板オーバ－レイ ・ プラスチックオーバ－レイ ・ 塗装 ・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・
・ ハードボード（素地） G	H B	・ 無研磨板（ ・ スタンダード・テンパード） ・ 研磨板（ ・ スタンダード・テンパード）
・ ハードボード（化粧） G		・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
・ インシュレーションボ－ド G	A－I B T－I B	A 級 ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・ 火山性ガラス質複層板 化粧加工K2	密度 A 1	・ 6 ・ 9 ・ 12

遮音シール材 ・ 適用する（ ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド）
ホルムアルデヒド放散量

※ 1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。

合板類の張付け ・ A 種 ※ B 種

せっこうボードの目地工法 ○ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2、3)

※ 1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。

施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備 考
	紙	繊維	プラスチック	無機質その他		
台所、踏込2	・	・	○	・	・ 不燃 ○ 準不燃 ・ 難燃	
上記以外	・	・	○	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ・ A 種 ※ B 種
コンクリート面の素地ごしらえ ・ A 種 ※ B 種
せっこうボード面の素地ごしらえ ・ A 種 ※ B 種

(19.9.2～4)

断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ 1 各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。

・ 断熱材打込み工法

種 類	厚 さ（mm）	施工箇所
・ ビ－ズ法 [※] リスチレンフォーム断熱材		
・ 押出法 [※] リスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）		
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		
・ フェノールフォーム断熱材		

○断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※ A 種 1 ・ A 種 1 H
吹付け厚さ（mm） ・ 25 ・ 30 ○（ 20 ）
施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
○ 図示

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

○ 断熱材 G

○ 畳敷き

○ せっこうボード、
その他ボード
及び合板張り

○ 壁紙張り

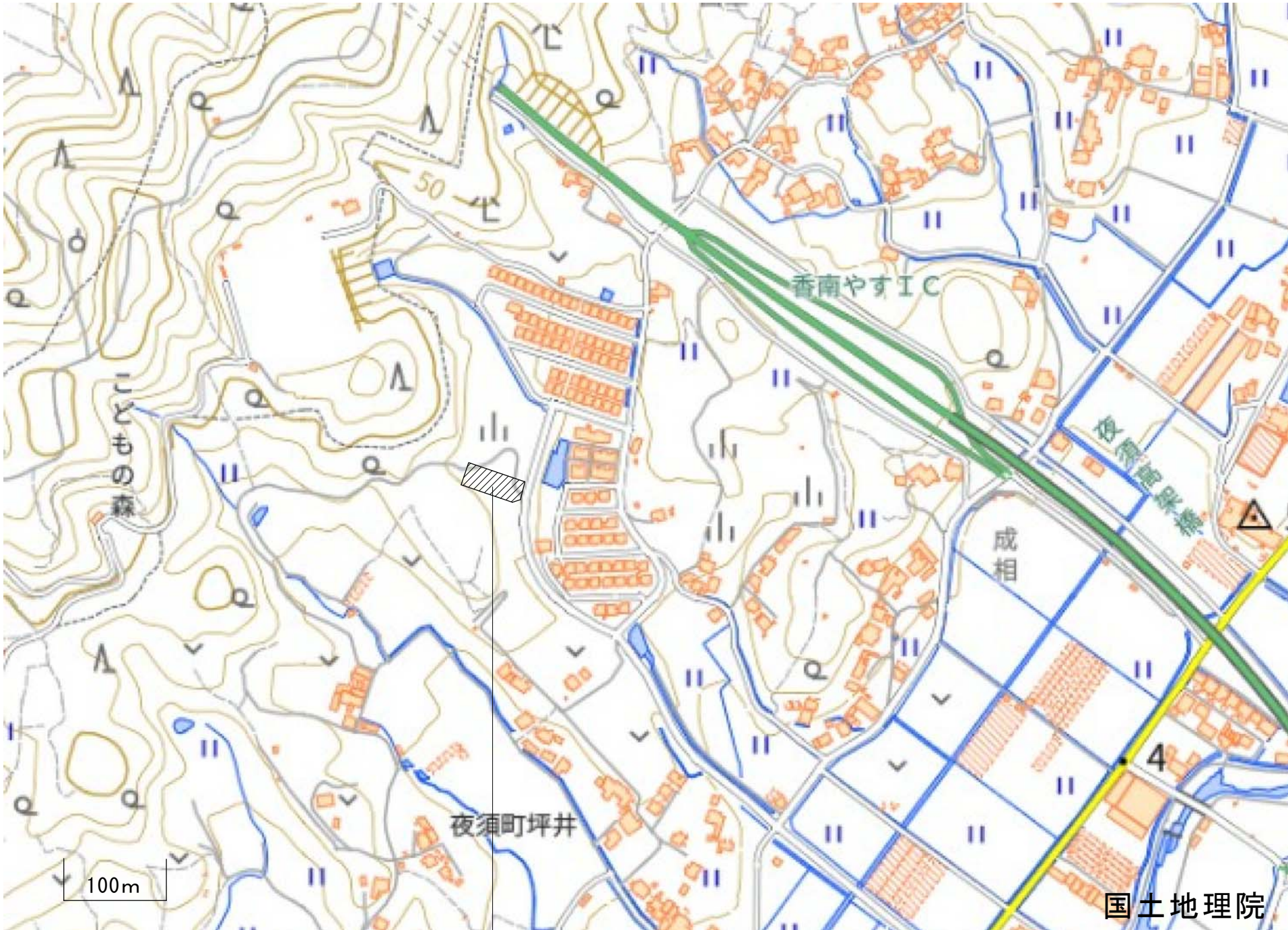
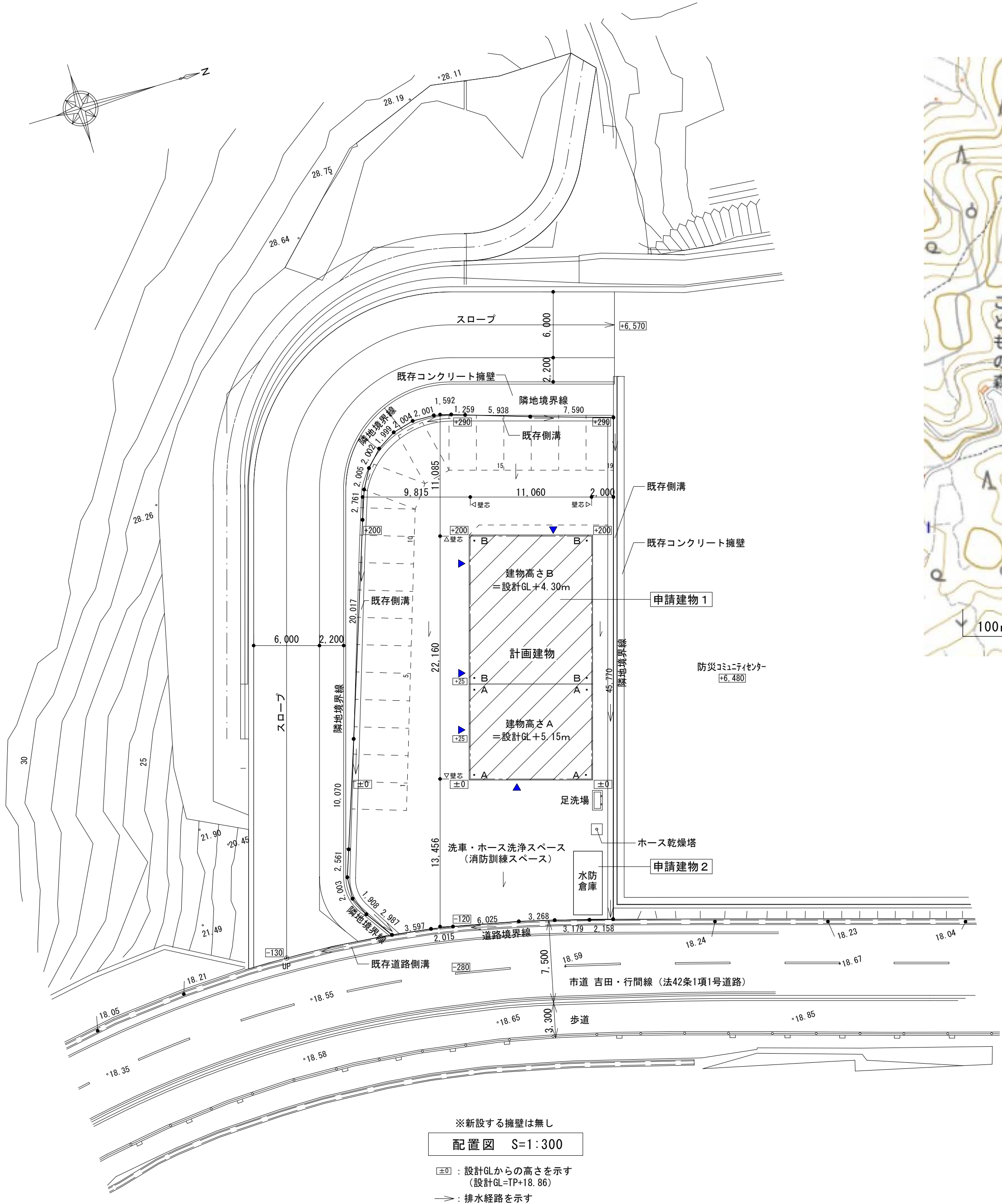
○ 断熱材 G

○ 畳敷き

<

22	舗装工事	・路床	<table><tr><td colspan="4">路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)</td></tr><tr><td>種別</td><td>材料</td><td colspan="2">厚さ (mm)</td></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G</td><td colspan="2">※図示 ・</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂</td><td colspan="2">※図示 ・</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>・砂 ・</td><td colspan="2">※図示 ・</td></tr><tr><td colspan="4">凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 kg/m^3 (目標C B R ※3以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/㎡ 以上 ・ () 厚さ (mm) ・0.5～1.0 ・ () 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ () 透水係数 ・$1.5 \times 10^{-6} \text{cm/sec}$ 以上 ・ () 路床土の支持力比 (C B R) 試験 ※行う ・行わない 路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場C B R 試験 ※行う ・行わない</td></tr><tr><td>・路 盤</td><td>路盤の厚さ ※図示 ・ () (22.3.2、3) (表22.3.1) 路盤材料 ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ・再生粒度調整砕石 G ・再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・アスファルト舗装</td><td>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ () (22.4.2～6) (表22.4.4) 材料及び種類 アスファルト ○再生アスファルト G (○60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト 骨 材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G 加熱アスファルト混合物等の種類 <table><tr><th>区分</th><th>種 類</th></tr><tr><td>表 層</td><td>※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td></tr></table>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・コンクリート舗装</td><td>コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2～4) (表22.5.1、3) <table><tr><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>・(9-21-2) ・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・150 ・ ()</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・(9-22-2) ・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・70 ・ ()</td></tr></table>材料 普通コンクリート ・標準仕様書 表22.5.1による 早強ポルトランドセメント ※使用しない ・使用する 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による ・図示 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・カラー舗装</td><td>カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2～4) <table><tr><th colspan="2">舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td rowspan="2">※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・50</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・30</td></tr><tr><td rowspan="2">※常温系</td><td rowspan="2">・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td></td><td>・ニート工法</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・塗布工法</td><td></td></tr></table>加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石 配 合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 () ニート工法及び塗布工法の配合等 () 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ () 加熱系アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない</td><td></td><td></td></tr></table>	路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)				種別	材料	厚さ (mm)		・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示 ・		・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	※図示 ・		・フィルター層	・砂 ・	※図示 ・		凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 kg/m^3 (目標C B R ※3以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/㎡ 以上 ・ () 厚さ (mm) ・0.5～1.0 ・ () 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ () 透水係数 ・ $1.5 \times 10^{-6} \text{cm/sec}$ 以上 ・ () 路床土の支持力比 (C B R) 試験 ※行う ・行わない 路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場C B R 試験 ※行う ・行わない				・路 盤	路盤の厚さ ※図示 ・ () (22.3.2、3) (表22.3.1) 路盤材料 ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ・再生粒度調整砕石 G ・再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G			・アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ () (22.4.2～6) (表22.4.4) 材料及び種類 アスファルト ○ 再生アスファルト G (○ 60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト 骨 材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G 加熱アスファルト混合物等の種類 <table><tr><th>区分</th><th>種 類</th></tr><tr><td>表 層</td><td>※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td></tr></table> アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○ 行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	区分	種 類	表 層	※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)			・コンクリート舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2～4) (表22.5.1、3) <table><tr><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>・(9-21-2) ・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・150 ・ ()</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・(9-22-2) ・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・70 ・ ()</td></tr></table> 材料 普通コンクリート ・標準仕様書 表22.5.1による 早強ポルトランドセメント ※使用しない ・使用する 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による ・図示 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	部位	構成	厚さ (mm)	車路及び駐車場	・(9-21-2) ・図示 ・ ()	・図示 ・150 ・ ()	歩行者用通路	・(9-22-2) ・図示 ・ ()	・図示 ・70 ・ ()			・カラー舗装	カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2～4) <table><tr><th colspan="2">舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td rowspan="2">※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・50</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・30</td></tr><tr><td rowspan="2">※常温系</td><td rowspan="2">・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td></td><td>・ニート工法</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・塗布工法</td><td></td></tr></table> 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石 配 合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 () ニート工法及び塗布工法の配合等 () 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ () 加熱系アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない	舗装の種類		部位	構成	厚さ (mm)	※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示 ・ ()	・図示 ・50	歩行者用通路	・図示 ・ ()	・図示 ・30	※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法			・塗布工法				23	植栽及び屋上緑化工事	・ブロック系舗装	<table><tr><td colspan="5">(22.8.2、3)</td></tr><tr><th>舗 装</th><th>種 類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・コンクリート 平板舗装</td><td>※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・保水性平板 (M)</td><td>※300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>目 地 材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td></tr><tr><td>・インターロッキング ブロック舗装</td><td>※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・保水性ブロック (M)</td><td></td><td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td><td>曲げ強度 (N/mm²) 車道部 ※5.0 歩道部 ※3.0 着色及び表面加工 ※標準品 ・</td></tr><tr><td>・舗石舗装</td><td>※小舗石 (花崗岩) ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石</td><td></td><td></td><td>施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版 ※70mm ・アスファルト混合物 ※50mm</td></tr></table> コンクリート平板舗装の普通平板は、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、 透水平板は透水性コンクリート G とする。 インターロッキングブロック舗装の普通ブロックは、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、 透水性ブロックは透水性コンクリート G とする。 ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障のある段差がないものとし、舗装材の段差は3mm以内とする。	(22.8.2、3)					舗 装	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備 考	・コンクリート 平板舗装	※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・保水性平板 (M)	※300角 ・	※60 ・	目 地 材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・保水性ブロック (M)		車道部 ※80 歩道部 ※60	曲げ強度 (N/mm ²) 車道部 ※5.0 歩道部 ※3.0 着色及び表面加工 ※標準品 ・	・舗石舗装	※小舗石 (花崗岩) ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石			施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版 ※70mm ・アスファルト混合物 ※50mm	・砂利敷き	種別 (22.9.2) ・A種 (施工範囲： ・図示 ・通路 ・) ・B種 (施工範囲： ・図示 ・建物周囲その他 ・)	・路面標示用塗料	JAS K 5665 (路面標示用塗料) による <table><tr><th>種 類</th><th>施 工</th><th>適 用</th><th>色</th><th>幅 (mm)</th><th>塗布厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・1種 G</td><td>常温</td><td rowspan="2">液 状</td><td>※白 ・</td><td>・150 ・100</td><td>※1.0 ・</td></tr><tr><td>・2種 G</td><td>加熱</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※3種1号</td><td>熔融</td><td>粉体状</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G	種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1種 G	常温	液 状	※白 ・	・150 ・100	※1.0 ・	・2種 G	加熱				※3種1号	熔融	粉体状			
		路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)																																																																																																																																			
		種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																	
		・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示 ・																																																																																																																																	
		・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	※図示 ・																																																																																																																																	
		・フィルター層	・砂 ・	※図示 ・																																																																																																																																	
		凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 kg/m^3 (目標C B R ※3以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/㎡ 以上 ・ () 厚さ (mm) ・0.5～1.0 ・ () 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ () 透水係数 ・ $1.5 \times 10^{-6} \text{cm/sec}$ 以上 ・ () 路床土の支持力比 (C B R) 試験 ※行う ・行わない 路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場C B R 試験 ※行う ・行わない																																																																																																																																			
		・路 盤	路盤の厚さ ※図示 ・ () (22.3.2、3) (表22.3.1) 路盤材料 ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ・再生粒度調整砕石 G ・再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G																																																																																																																																		
		・アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ () (22.4.2～6) (表22.4.4) 材料及び種類 アスファルト ○ 再生アスファルト G (○ 60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト 骨 材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G 加熱アスファルト混合物等の種類 <table><tr><th>区分</th><th>種 類</th></tr><tr><td>表 層</td><td>※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td></tr></table> アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○ 行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	区分	種 類	表 層	※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																														
		区分	種 類																																																																																																																																		
表 層	※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																				
・コンクリート舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2～4) (表22.5.1、3) <table><tr><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>・(9-21-2) ・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・150 ・ ()</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・(9-22-2) ・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・70 ・ ()</td></tr></table> 材料 普通コンクリート ・標準仕様書 表22.5.1による 早強ポルトランドセメント ※使用しない ・使用する 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による ・図示 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	部位	構成	厚さ (mm)	車路及び駐車場	・(9-21-2) ・図示 ・ ()	・図示 ・150 ・ ()	歩行者用通路	・(9-22-2) ・図示 ・ ()	・図示 ・70 ・ ()																																																																																																																											
部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																			
車路及び駐車場	・(9-21-2) ・図示 ・ ()	・図示 ・150 ・ ()																																																																																																																																			
歩行者用通路	・(9-22-2) ・図示 ・ ()	・図示 ・70 ・ ()																																																																																																																																			
・カラー舗装	カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2～4) <table><tr><th colspan="2">舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td rowspan="2">※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・50</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・図示 ・ ()</td><td>・図示 ・30</td></tr><tr><td rowspan="2">※常温系</td><td rowspan="2">・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td></td><td>・ニート工法</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・塗布工法</td><td></td></tr></table> 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石 配 合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 () ニート工法及び塗布工法の配合等 () 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ () 加熱系アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない	舗装の種類		部位	構成	厚さ (mm)	※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示 ・ ()	・図示 ・50	歩行者用通路	・図示 ・ ()	・図示 ・30	※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法			・塗布工法																																																																																																																
舗装の種類		部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																	
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示 ・ ()	・図示 ・50																																																																																																																																	
		歩行者用通路	・図示 ・ ()	・図示 ・30																																																																																																																																	
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法																																																																																																																																		
			・塗布工法																																																																																																																																		
(22.8.2、3)																																																																																																																																					
舗 装	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備 考																																																																																																																																	
・コンクリート 平板舗装	※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・保水性平板 (M)	※300角 ・	※60 ・	目 地 材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																																																																																																																	
・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・保水性ブロック (M)		車道部 ※80 歩道部 ※60	曲げ強度 (N/mm ²) 車道部 ※5.0 歩道部 ※3.0 着色及び表面加工 ※標準品 ・																																																																																																																																	
・舗石舗装	※小舗石 (花崗岩) ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石			施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版 ※70mm ・アスファルト混合物 ※50mm																																																																																																																																	
種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																																																																																
・1種 G	常温	液 状	※白 ・	・150 ・100	※1.0 ・																																																																																																																																
・2種 G	加熱																																																																																																																																				
※3種1号	熔融	粉体状																																																																																																																																			
・植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない (23.1.1、3) 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない																																																																																																																																				
・植栽基盤の整備	(23.2.2、4) <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td rowspan="4">・樹木</td><td>※A種</td><td>樹高12m以上 (※100・120・150)</td><td rowspan="4">・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示</td><td rowspan="4">・適用する</td></tr><tr><td>・B種</td><td>樹高7m以上12m未満 (※80・100)</td></tr><tr><td>・C種</td><td>樹高3m以上7m未満 (※60・80)</td></tr><tr><td>・D種</td><td>樹高3m未満 (※50・60)</td></tr><tr><td>※芝、地被類</td><td>※B種 ・</td><td>※20 ・</td><td>・植栽部分 ・図示</td><td>・適用する</td></tr></table> 植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・) ・設けない	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種	樹高12m以上 (※100・120・150)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する	・B種	樹高7m以上12m未満 (※80・100)	・C種	樹高3m以上7m未満 (※60・80)	・D種	樹高3m未満 (※50・60)	※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示	・適用する																																																																																																															
植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																	
・樹木	※A種	樹高12m以上 (※100・120・150)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する																																																																																																																																	
	・B種	樹高7m以上12m未満 (※80・100)																																																																																																																																			
	・C種	樹高3m以上7m未満 (※60・80)																																																																																																																																			
	・D種	樹高3m未満 (※50・60)																																																																																																																																			
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示	・適用する																																																																																																																																	
・植込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土 (23.2.3)																																																																																																																																				
・土壌改良材	種類及び指定量等 (23.2.3) ・パーク堆肥 G 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L ・) ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) G 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする																																																																																																																																				
・樹木	樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・ () (23.3.2)																																																																																																																																				
・支柱	支柱材 ※丸太 (間伐材) G ・真竹 (23.3.2、3) 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・ () 形 式 ・図示 ・ ()																																																																																																																																				
・幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)																																																																																																																																				
・芝	種類 ※コウライシバ ・ノシバ ・ () (23.4.2、3) 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り																																																																																																																																				
・吹付けは種	(23.4.2) <table><tr><th>種子の種類</th><th>発芽率</th><th>種子の量 (g/㎡)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td><td>80% 以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	80% 以上			・																																																																																																																											
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考																																																																																																																																		
※洋芝類 (採取後2年以内)	80% 以上																																																																																																																																				
・																																																																																																																																					
・地被類	(23.4.2) <table><tr><th>樹 種</th><th>コンテナ径</th><th>単位面積あたりのコンテナ数</th><th>芽立数</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	樹 種	コンテナ径	単位面積あたりのコンテナ数	芽立数	・				・																																																																																																																											
樹 種	コンテナ径	単位面積あたりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																																		
・																																																																																																																																					
・																																																																																																																																					
・新植樹木、芝等の 枯補償、移植樹木 の枯損処置	新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 (23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5) ※引渡しの日から1年 ・無し ・ () 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し ・ ()																																																																																																																																				

 特記仕様書 (建築工事編) (1 1) | | 令和4年度版 高知県土木部建築課 | | | || 夜須分団屯所新築工事 (建築主体工事) | | 令和 7 年 8 月 | | | | | 図面番号 |
| | | 令和5年7月改正 | | | | | A-11 |



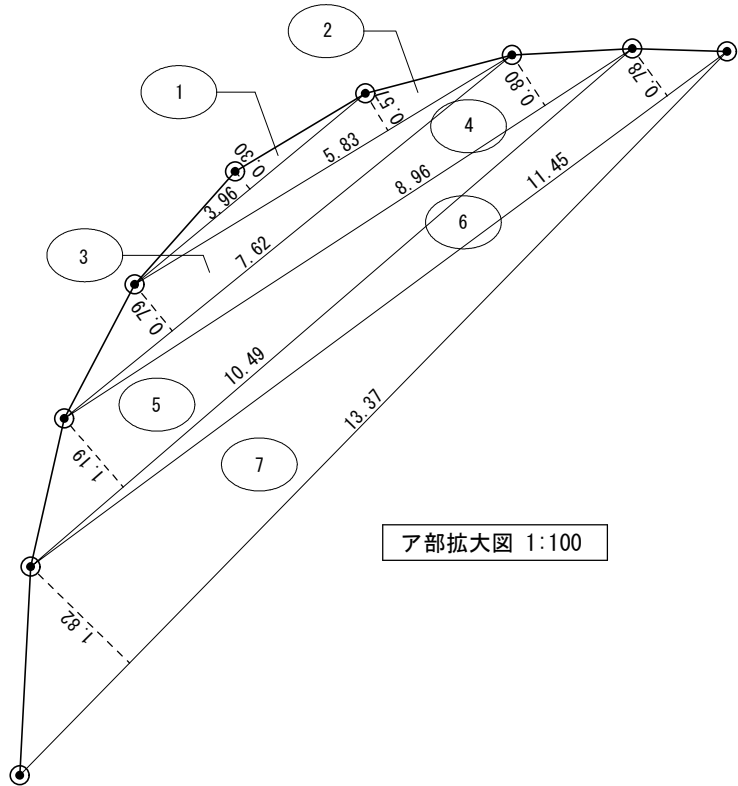
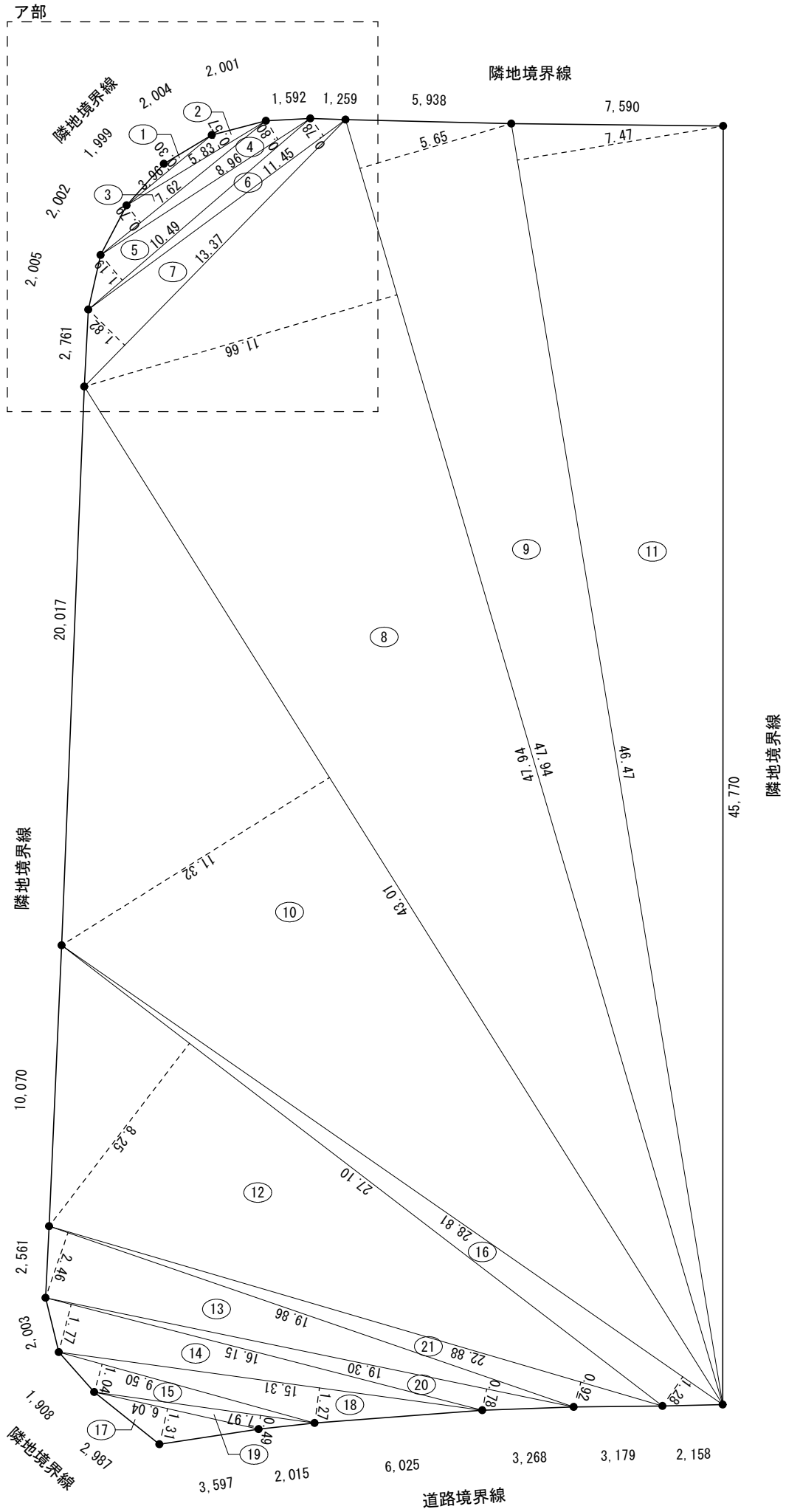
申請場所：香南市夜須町坪井1682-1番地

付近見取図

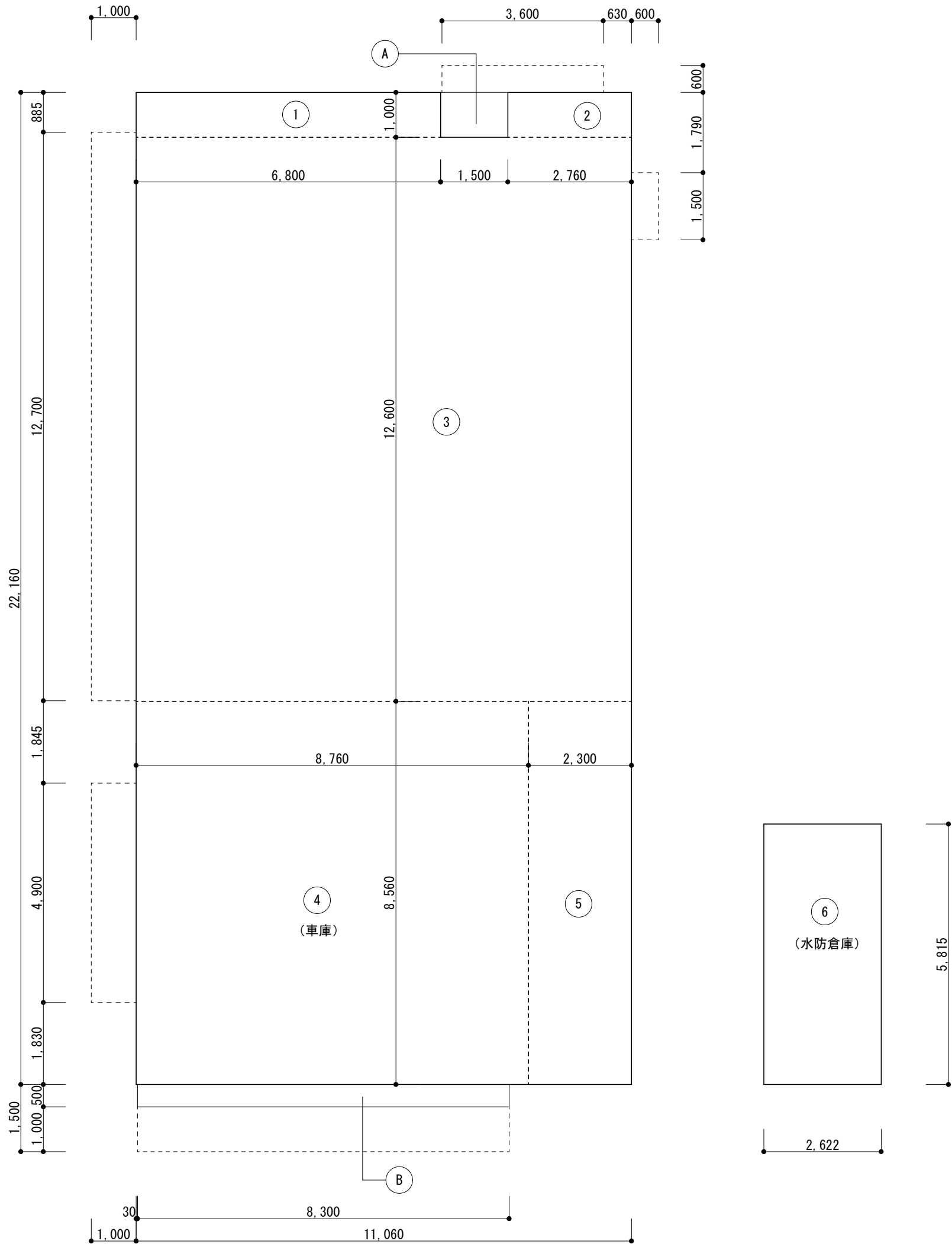
建 築 概 要					
敷地	住居表示	香南市夜須町坪井1682-1番地	構造 規模	主要用途	事務所（消防屯所）
	敷地面積	1,071.46㎡			（建築基準法）法6条第1項第三号
	用途地域	都市計画区域内（非線引き区域）			（消防法）15項
	防火地域	防火・準防火指定無し、法22条地域指定外		構造種別	S造、平屋建、新築
	前面道路	（東側）市道 吉田・行間線、幅員7.5m		主要構造部	その他建築物
	指定容積率	200%		建築面積	264.47㎡、建蔽率 24.69%
	指定建蔽率	60%		延床面積	258.82㎡（内、駐車場74.98㎡）
	斜線制限	道路斜線 適用距離20m、勾配1.5			容積対象床面積 207.06㎡、容積率 19.33%
		隣地斜線 立上り31m、勾配2.5		構造適合判定	不要（法20条第1項第三号イ）
		北側斜線 指定無し			省エネ適合判定
日影規制	指定無し	内装制限	排煙無窓居室、火気使用室、車庫		

※新設する擁壁は無し
配置図 S=1:300
[±0]：設計GLからの高さを示す（設計GL=TP+18.86）
→：排水経路を示す

摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会 社	熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号	図面番号
	・			R7.8				
	・	図 面 名	付近見取図・配置図	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700	一級建築士 大臣登録 第318143号		
	・			A2 1:300	高知県第266号	熊 沢 敬 輔		



番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	3.96	0.30	1.1880	0.59400
2	5.83	0.57	3.3231	1.66155
3	7.62	0.79	6.0198	3.00990
4	8.96	0.80	7.1680	3.58400
5	10.49	1.19	12.4831	6.24155
6	11.45	0.78	8.9310	4.46550
7	13.37	1.82	24.3334	12.16670
8	47.94	11.66	558.9804	279.49020
9	47.94	5.65	270.8610	135.43050
10	43.01	11.32	486.8732	243.43660
11	46.47	7.47	347.1309	173.56545
12	27.10	8.26	223.8460	111.92300
13	19.86	2.46	48.8556	24.42780
14	16.15	1.77	28.5855	14.29275
15	9.50	1.04	9.8800	4.94000
16	28.81	1.28	36.8768	18.43840
17	6.04	1.31	7.9124	3.95620
18	15.31	1.27	19.4437	9.72185
19	7.97	0.49	3.9053	1.95265
20	19.30	0.78	15.0540	7.52700
21	22.88	0.93	21.2784	10.63920
合 計				1,071.46480
敷 地 面 積				1,071.46 m ²

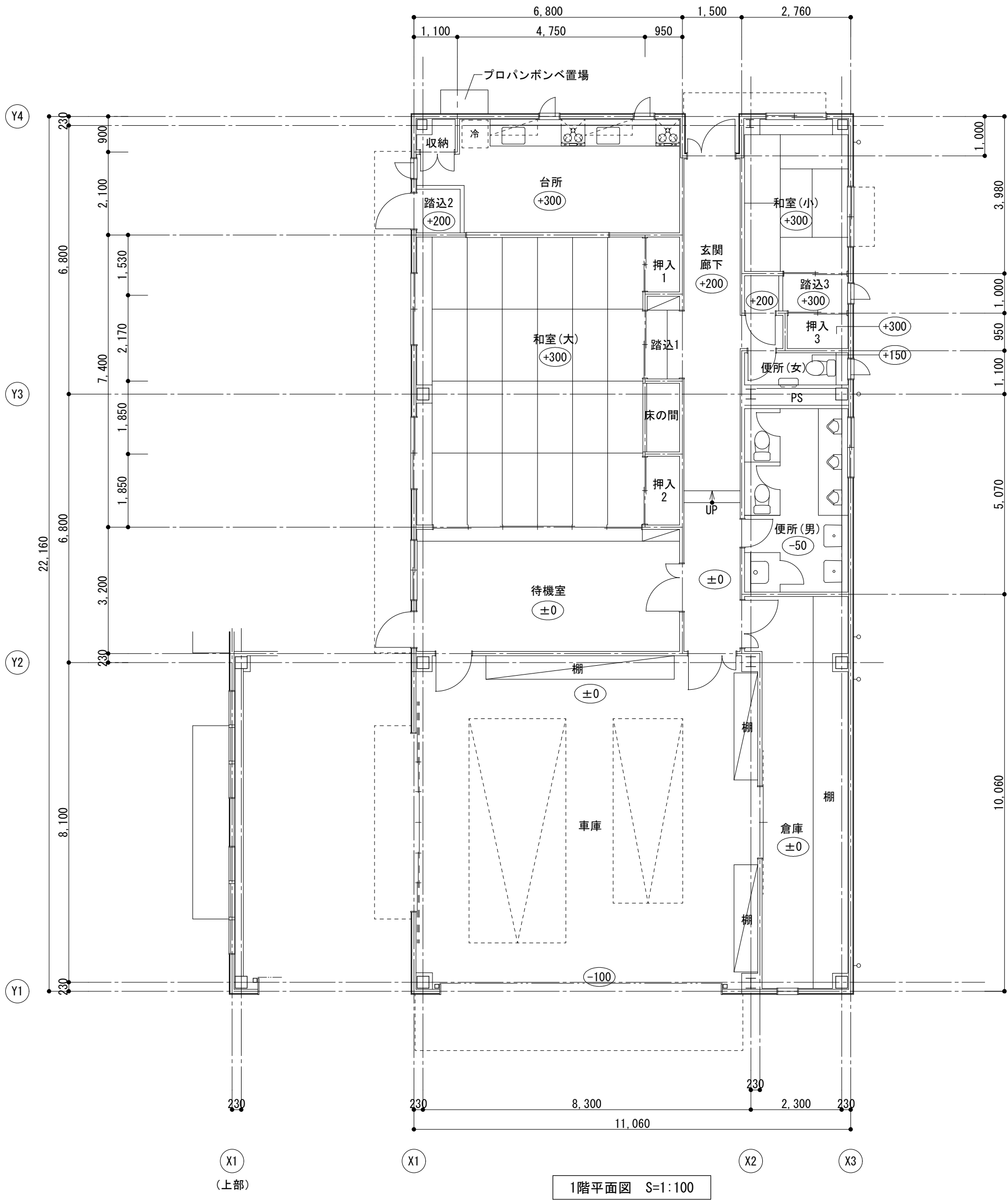


延床面積		建築面積	
①	6.80 × 1.00＝ 6.8000	Ⓐ	1.50 × 1.00＝ 1.5000
②	2.76 × 1.00＝ 2.7600	Ⓑ	8.30 × 0.50＝ 4.1500
③	11.06 × 12.60＝139.3560		
④	8.76 × 8.56＝ 74.9856		
⑤	2.30 × 8.56＝ 19.6880		
①＋②＋③＋④＋⑤＝243.58㎡		①＋②＋③＋④＋⑤＋Ⓐ＋Ⓑ＝249.23㎡	
⑥	2.62 × 5.82＝ 15.2484	①＋②＋③＋④＋⑤＋⑥＋Ⓐ＋Ⓑ＝264.47㎡	
①＋②＋③＋④＋⑤＋⑥＝258.82㎡			

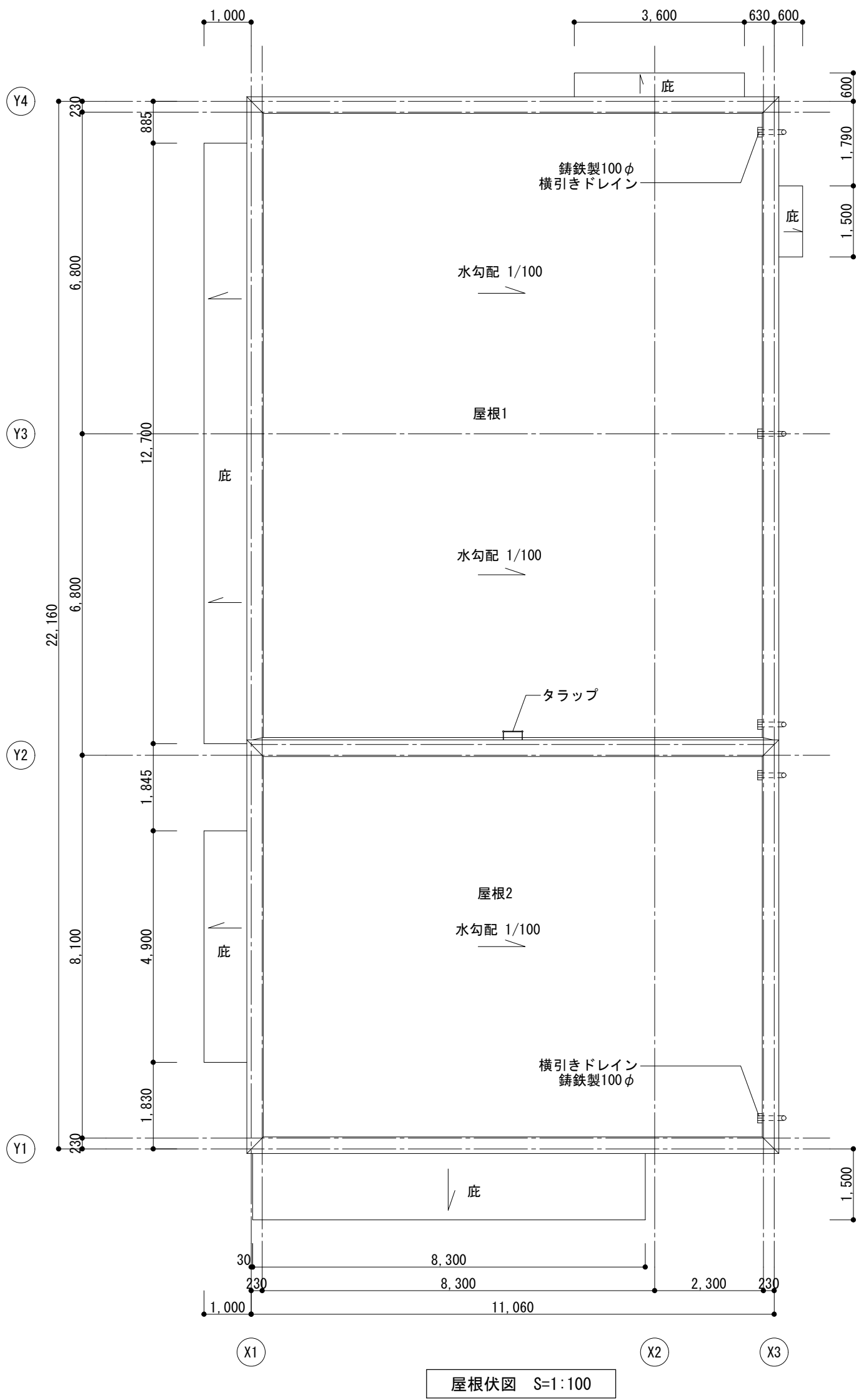
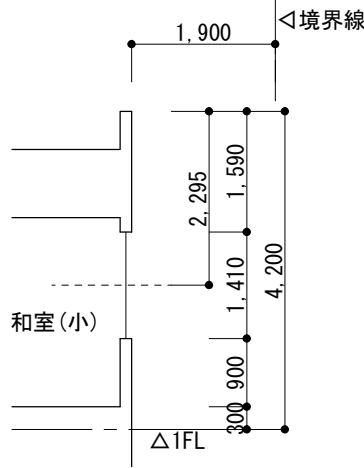
A棟										
外部仕上表	屋 根	デッキプレートt=1.2 H=75＋外断熱塩ビシート防水t=1.5（非歩行用）			樋	縦樋：カラーVP100φ				
	外 壁	押出成形セメント板t18～25（仕上塗装品）＋透湿防水シート張り								
	軒 天	ケイカル板t=6.0 EP-G塗装			断熱材	土間下　：スタイロフォームt=35（車庫下、倉庫、便所(男)下は除く） 壁　：高性能グラスウール断熱材 GWHG16-38　t＝50 屋根：硬質ウレタンフォームt=30				
	根廻り	コンクリート打放し撥水材塗布								
内部仕上表	室 名	床	巾 木	壁	内装制限	廻り縁	天 井	内装制限	天井高	備 考
	和室(大)	樹脂製乾式二重床＋パーティクルボードt=20＋畳敷きt=55	畳寄せ、雑巾摺	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス		木製	LGS下地　石こうボードt=9.5 ＋和風ビニルクロス(杉葎)		2,500	ビクチャーレール、長押、付鴨居
	押入1	木下地＋捨張合板t=9＋シナ合板t=5.5	雑巾摺	シナ合板t=5.5		木製	LGS下地　シナ合板t=5.5		2,400	中段、枕棚
	押入2	木下地＋捨張合板t=9＋シナ合板t=5.5	雑巾摺	シナ合板t=5.5		木製	LGS下地　シナ合板t=5.5		2,400	中段、枕棚
	床の間	木下地＋捨張合板t=9＋ケヤキ突板化粧合板t=5.5 UC	雑巾摺	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス		木製	LGS下地　石こうボードt=9.5 ＋和風ビニルクロス(網代)		2,400	ビクチャーレール
	踏込1	上框部：木下地＋複合70-リッg` t=15 踏込部：コンクリート直均し＋ビニル床シートt=2.0	上框部：雑巾摺 踏込部：ビニル巾木	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス		木製	LGS下地　石こうボードt=9.5 ＋和風ビニルクロス(網代)		2,500	下足箱、上がり框
	台所	樹脂製乾式二重床＋パーティクルボードt=20＋捨張合板t=12 ＋ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス (一部)石こうボードt=12.5＋9.5＋キッチンパネルt3.2	準不	塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5	準不	2,500	流し台L=1,800×2、コンロ台L=600×2 吊戸棚L=1,800×2、レンジフード×2
	収納	樹脂製乾式二重床＋パーティクルボードt=20＋捨張合板t=12 ＋ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木	石こうボードt=12.5＋ビニルクロス		塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5		2,400	棚板
	踏込2	コンクリート直均し＋ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス	準不	塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5	準不	2,600	上がり框
	待機室	コンクリート直均し＋ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス		塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5		2,800	下足箱、上がり框、踏み板
	和室(小)	樹脂製乾式二重床＋パーティクルボードt=20＋畳敷きt=55	畳寄せ、雑巾摺	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス		木製	LGS下地　石こうボードt=9.5 ＋和風ビニルクロス(杉葎)		2,500	長押、付鴨居
	押入3	木下地＋捨張合板t=9＋シナ合板t=5.5	雑巾摺	シナ合板t=5.5		木製	LGS下地　シナ合板t=5.5		2,400	中段、枕棚
	踏込3	上框部：木下地＋複合70-リッg` t=15 踏込部：コンクリート直均し＋ビニル床シートt=2.0	上框部：雑巾摺 踏込部：ビニル巾木	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス		木製	LGS下地　石こうボードt=9.5 ＋和風ビニルクロス(網代)		2,500	下足箱、上がり框
	便所（女）	コンクリート直均し＋磁器質タイル100角	タイル	(腰)耐水合板t=9＋陶器質タイル100角 (上部)耐水合板t=9＋ケイカル板t=6.0 EP-G塗装		塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5		2,400	
	便所（男）	コンクリート直均し＋磁器質タイル100角	タイル	(腰)耐水合板t=9＋陶器質タイル100角 (上部)耐水合板t=9＋ケイカル板t=6.0 EP-G塗装		塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5		2,400	トイレブース、面台
	車庫	コンクリート直均し＋防塵塗料塗り	床材立上げ	押出成形セメント板t=18～25 素地 LGS下地＋石こうボードt=12.5＋ケイカル板t=6.0 EP-G塗装	準不	－	デッキプレート見出し＋EP-G塗装	準不	4,500～4,600	棚　D＝6 0 0
	倉庫	コンクリート直均し＋防塵塗料塗り	床材立上げ	LGS下地＋石こうボードt=12.5＋ケイカル板t=6.0 EP-G塗装		塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5		2,500	棚　D＝9 0 0
	玄関・廊下	コンクリート直均し＋ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木	石こうボードt=12.5＋9.5＋ビニルクロス		塩ビ	LGS下地　化粧石こうボードt=9.5		2,500～2,700	階段部ノンスリップ

防火認定番号	品目	防火認定番号		品目	防火認定番号		備考
	ビニルクロス	準不燃	QM－0 8 2 3	ケイカル板t=6.0	不燃	NM－8 5 7 8	・樹脂製乾式二重床：フクビ化学工業(株)フリーフロアCP-F　同等品
	石こうボードt9.5	準不燃	QM－9 8 2 8				・室内、天井裏に使用する仕上材、塗料、合板類、接着剤等は全てホルムアルデヒド等級区分F☆☆☆☆とする。
	石こうボードt12.5	不燃	NM－8 6 1 2				
	化粧石こうボードt9.5	準不燃	QM－0 5 2 4				
	押出成形セメント板t18～25	不燃	NM－5 1 8 0　神島化学工業(株)「ラムダ18シリーズ」同等品				
	EP-G塗装	準不燃	QM－9 8 1 6				
	キッチンパネルt3.2	不燃	NM－0 2 6 1　(株)LIXIL「サンウォーレ　パールシリーズ」同等品				

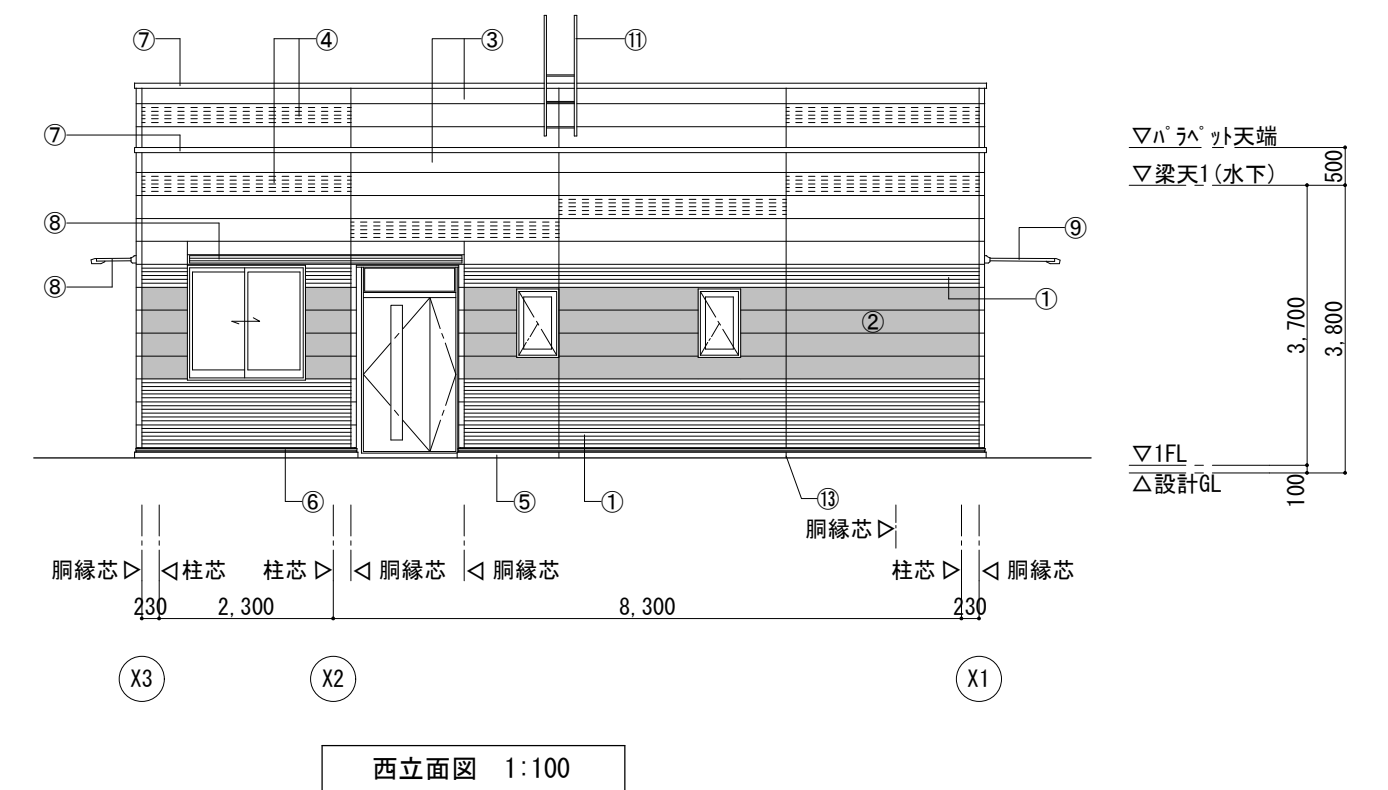
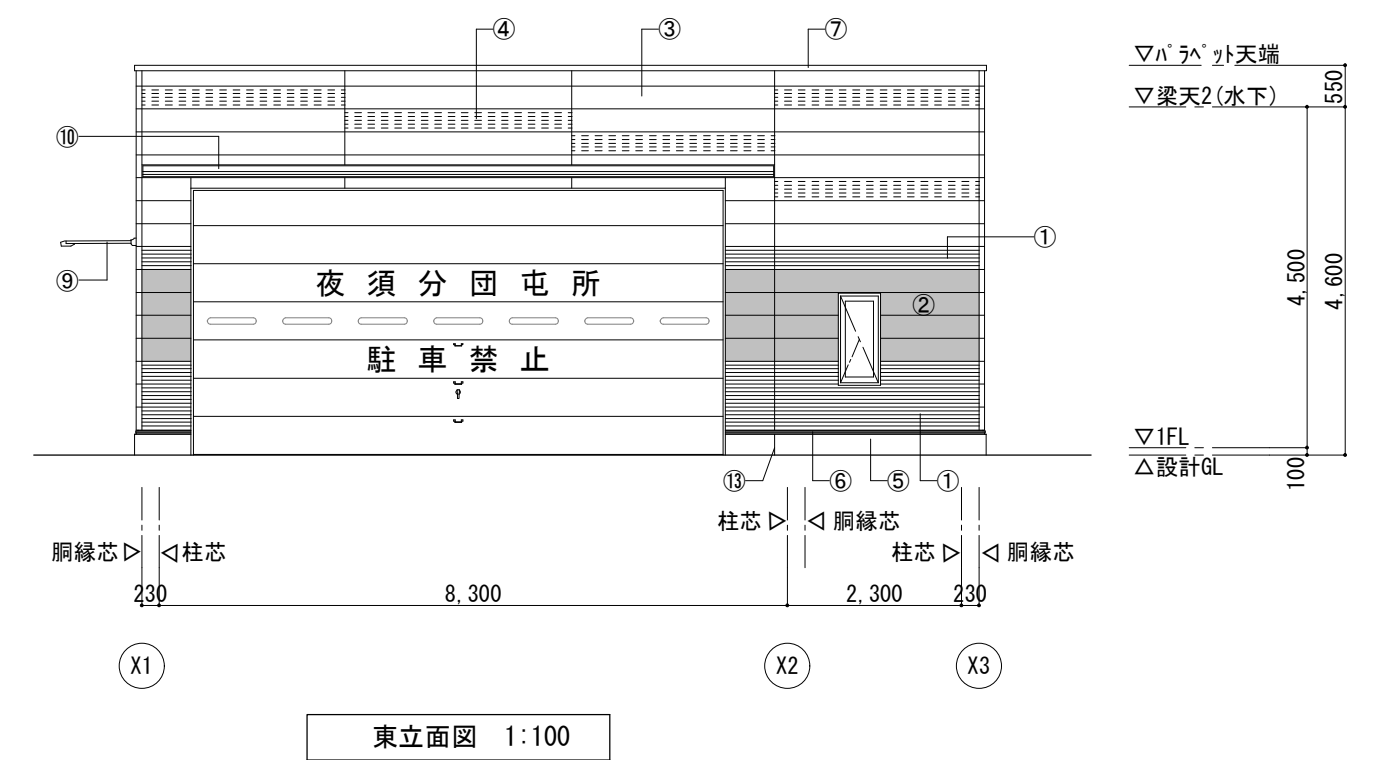
摘要	・	工事名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年	月	有限会社 熊沢構造設計事務所	構造設計一級建築士　第8611号 一級建築士　大臣登録　第318143号 熊沢敬輔	図面番号
	・			R7.8				
	・	図面名	仕上表	縮	尺			
	・			—				



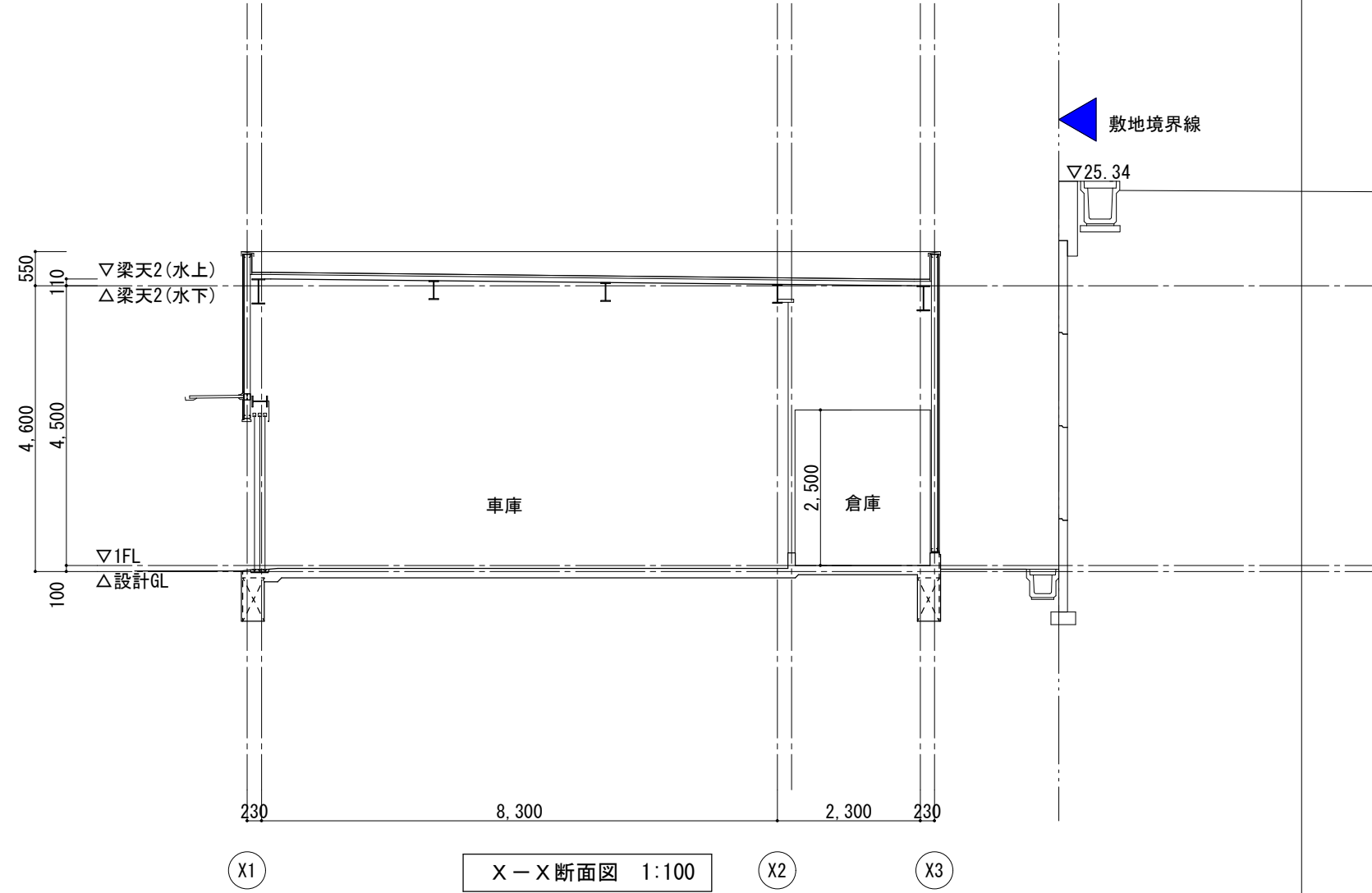
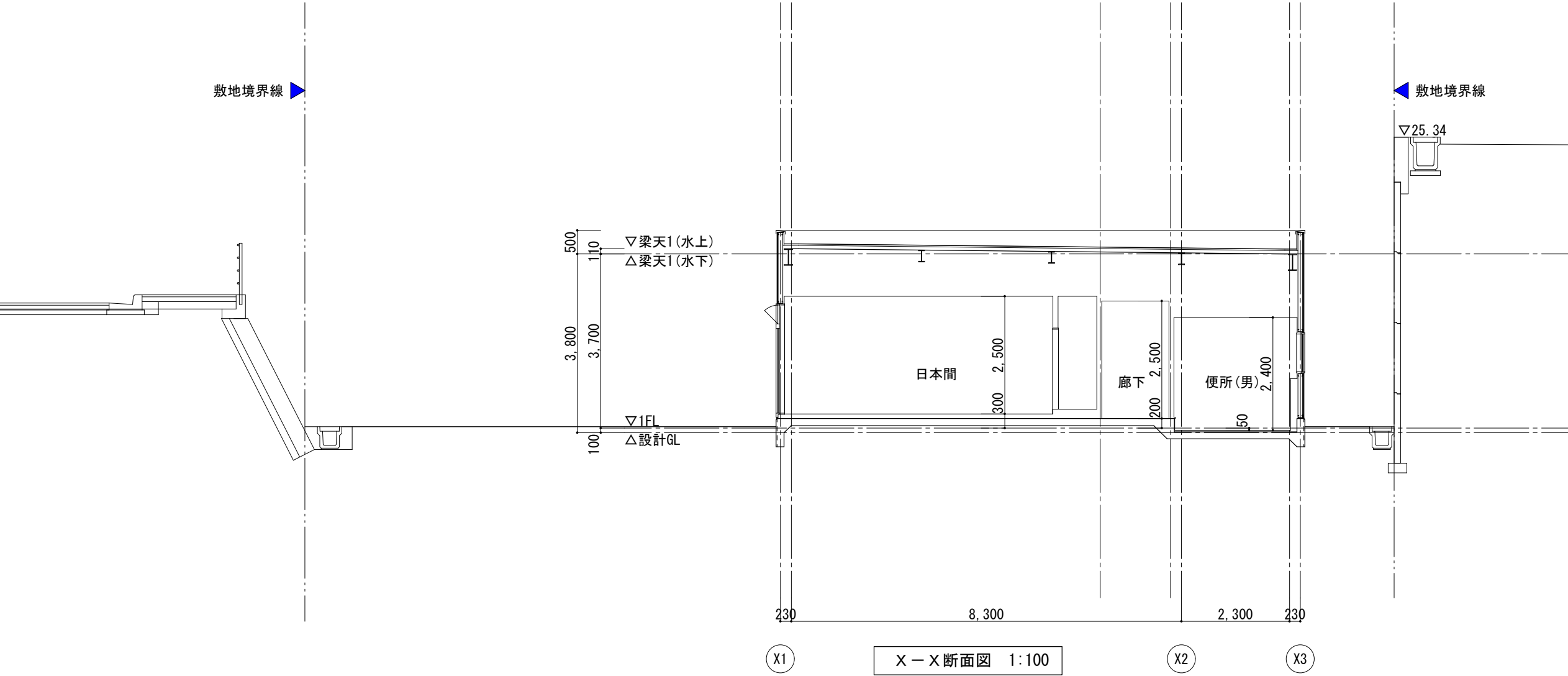
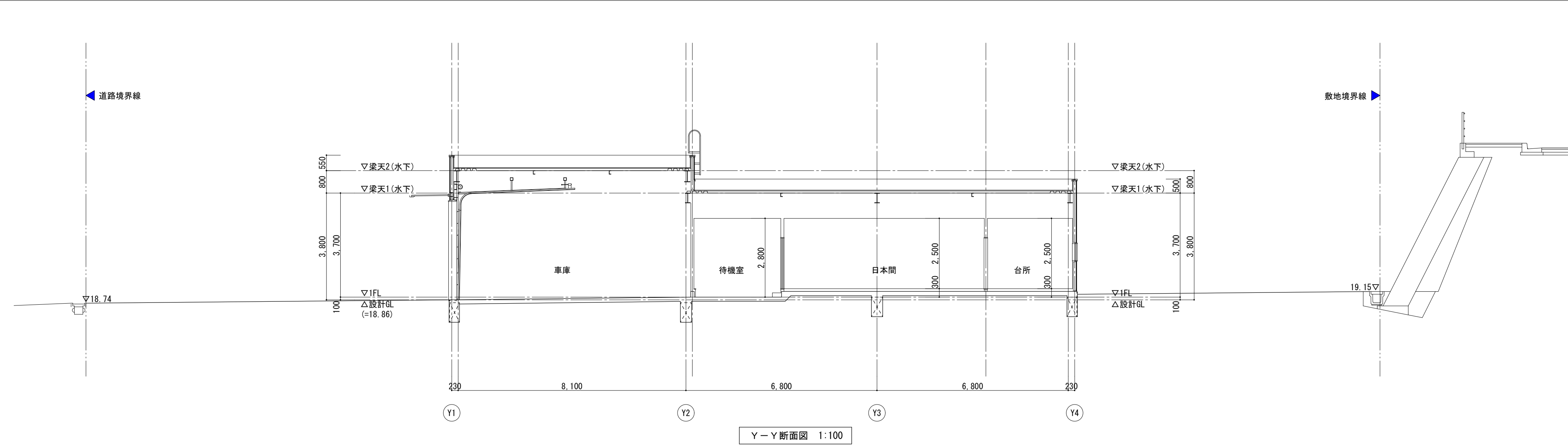
採光補正係数
 $d \div h \times 10 - 1 = 1,900 \div 2,295 \times 10 - 1 = 7.27$
∴採光補正係数は全て1.0とする。



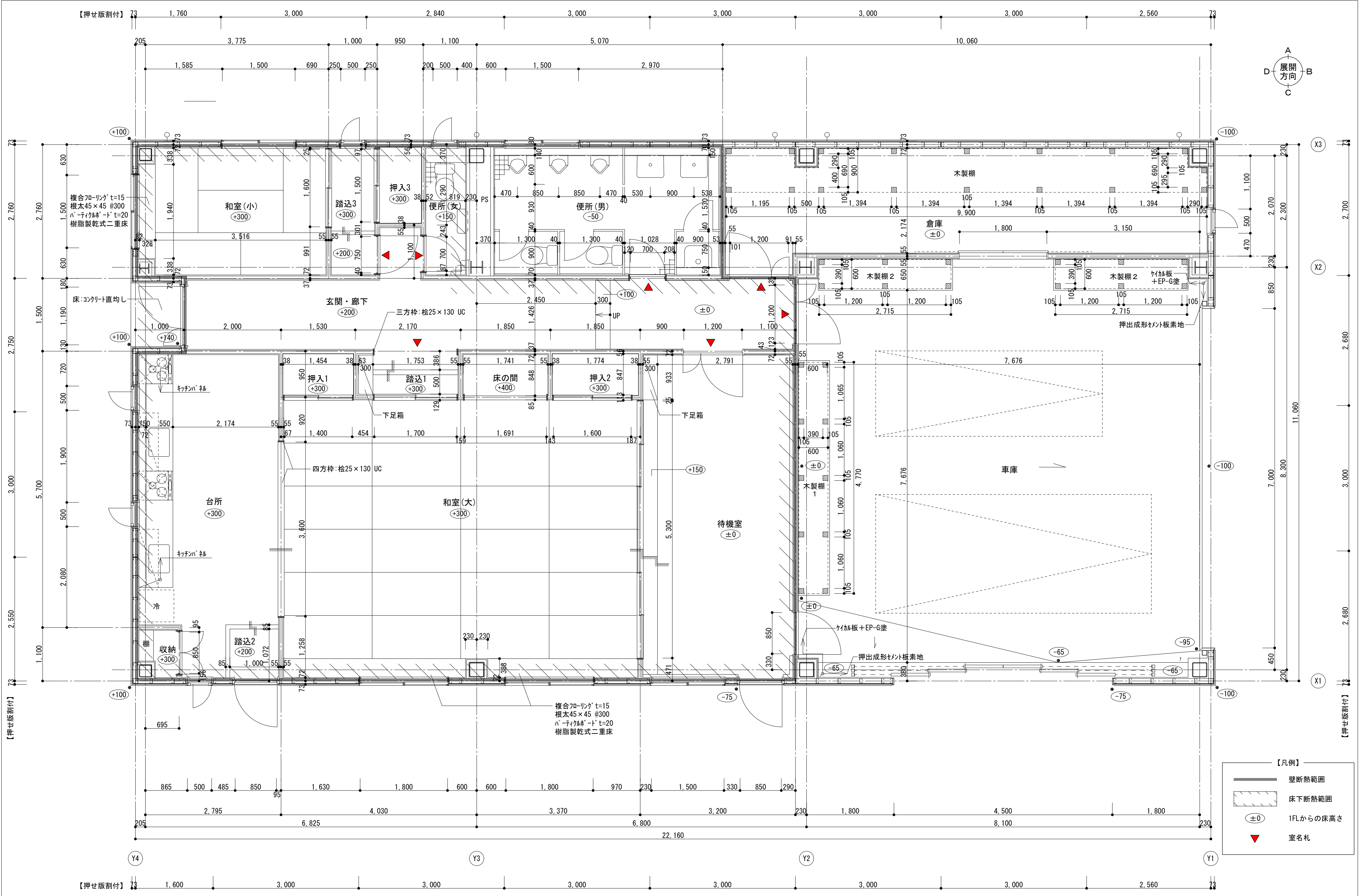
A L V S 表																
室名	和室（大）			室名	待機室			室名	台所			室名	和室（小）			
A	7.40×5.85+1.85×0.95=45.05㎡			A	3.20×6.80=21.76㎡			A	3.00×6.80−0.90×1.10=19.41㎡			A	3.98×2.76=10.99㎡			
L	AW-2×2：3.24×2=6.48㎡ > 45.05÷20=2.26㎡ ○ K			L	AW-1：2.11㎡ > 21.76÷20=1.09㎡ ○ K			L	AW-3+AW-4×2：0.55+0.40×2=1.35㎡ > 19.41÷20=0.98㎡ ○ K			L	AW-1×2：2.11×2=4.22㎡ > 10.99÷20=0.55㎡ ○ K			
V	AW-2×2：1.62×2=3.24㎡ > 45.05÷20=2.26㎡ ○ K			V	AW-1+SD-2：1.05+0.43=1.48㎡ > 21.76÷20=1.09㎡ ○ K			V	AW-3+AW-4×2：0.55+0.40×2=1.35㎡ > 19.41÷20=0.98㎡ ○ K			V	AW-1×2：1.05×2=2.10㎡ > 10.99÷20=0.55㎡ ○ K			
S	AW-2×2：0.71×2=1.42㎡ > 45.05÷50=0.91㎡ ○ K			S	AW-1+SD-2：0.23+0.43=0.66㎡ > 21.76÷50=0.44㎡ ○ K			S	AW-3+AW-4×2：0.15×3=0.45㎡ > 19.41÷50=0.39㎡ ○ K			S	AW-1×2：0.45×2=0.90㎡ > 10.99÷50=0.22㎡ ○ K			
摘要	・			工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）			年 月 日		有限 熊沢構造設計事務所			構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊沢敬輔		図面番号 A-15	
	・							R7.8								
	・			図 面 名	平面図・屋根伏図			縮 尺		高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号						
	・							A2 1:100								
・																



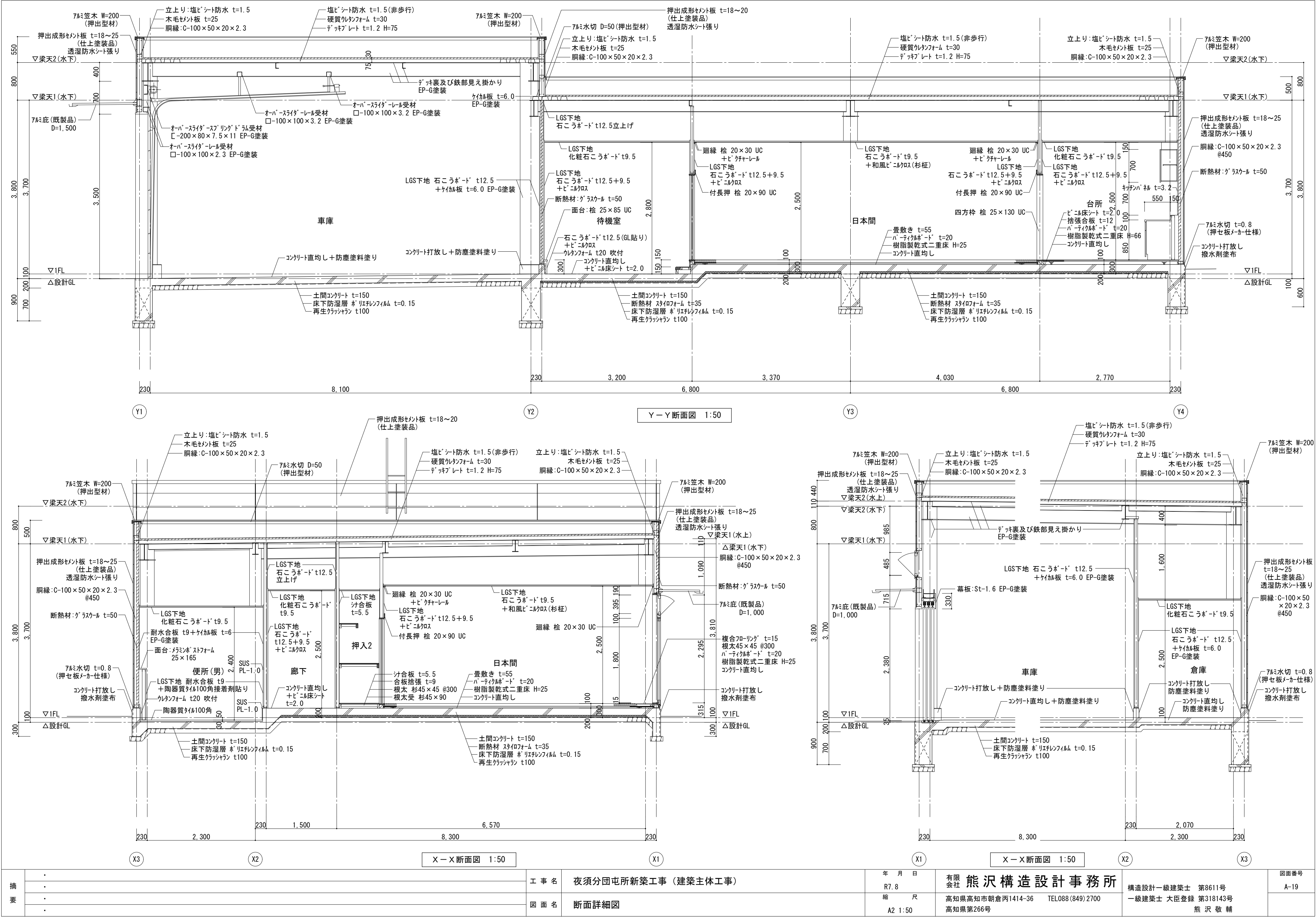
①	押出成形セメント版 t=25 リブ付 仕上塗装品 (神島化学工業(株)5M ² L25-10S シリコングリーン同等品)	⑥	7M ² 水切(押せ版メーカ仕様) t=0.8	⑪	ステンレス製タラップ				
②	押出成形セメント版 t=18 フラット 仕上塗装品 (神島化学工業(株)5M ² L18-8F オーク同等品)	⑦	7M ² 笠木(押出型材) W=350	⑫	縦樋: カラ-VP100φ				
③	押出成形セメント版 t=18 フラット 仕上塗装品 (神島化学工業(株)5M ² L18-3コ シリコングリーン同等品)	⑧	7M ² 庇(既製品) D=600 (三方樋付)	⑬	誘発目地 20×10				
④	押出成形セメント版 t=20 リブ付 仕上塗装品 (神島化学工業(株)5M ² L20-8F シリコングリーン同等品)	⑨	7M ² 庇(既製品) D=1,000 (三方樋付)	⑭					
⑤	コンクリート打放し+ウレタン系撥水剤塗布	⑩	7M ² 庇(既製品) D=1,500 (三方樋付)	⑮					
摘要				工 事 名	夜須分団屯所新築工事 (建築主体工事)	年 月 日	有 限 公 司 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号
						R7.8			A-16
				図 面 名	立面図	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		
						A2 1:100			



摘要	・	工事名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7. 8	有限 会社 熊沢構造設計事務所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-17
	・						
	・						
	・						
		図面名	断面図	縮 尺 A2 1:100	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		

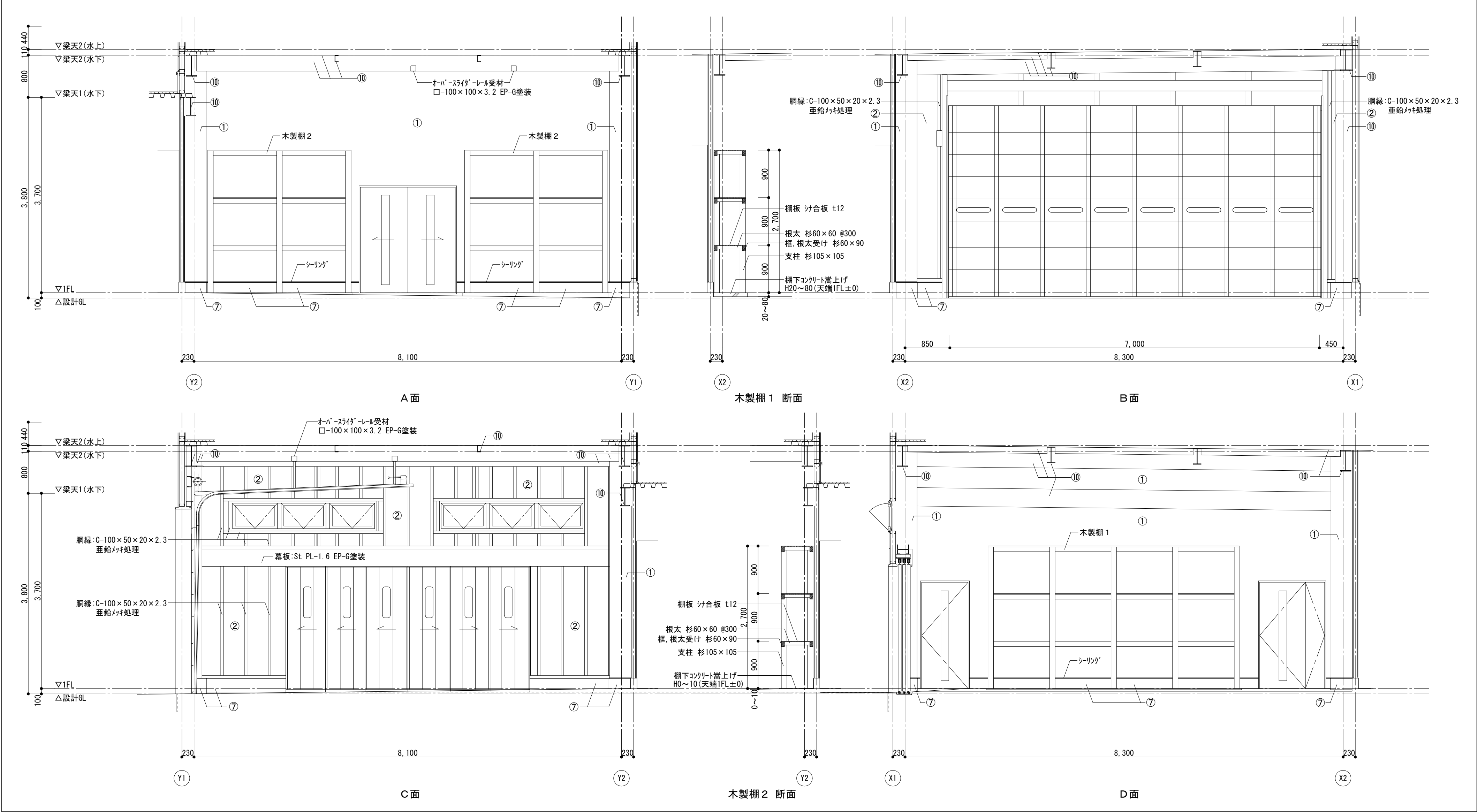


摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7. 8	有 限 会 社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-18
	・						
	・						
	・						
		図 面 名	平面詳細図	縮 尺 A2 1:50	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		



摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7.8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号	図面番号 A-19
	・						
	・	図 面 名	断面詳細図	縮 尺 A2 1:50	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号	一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	
	・						

車庫



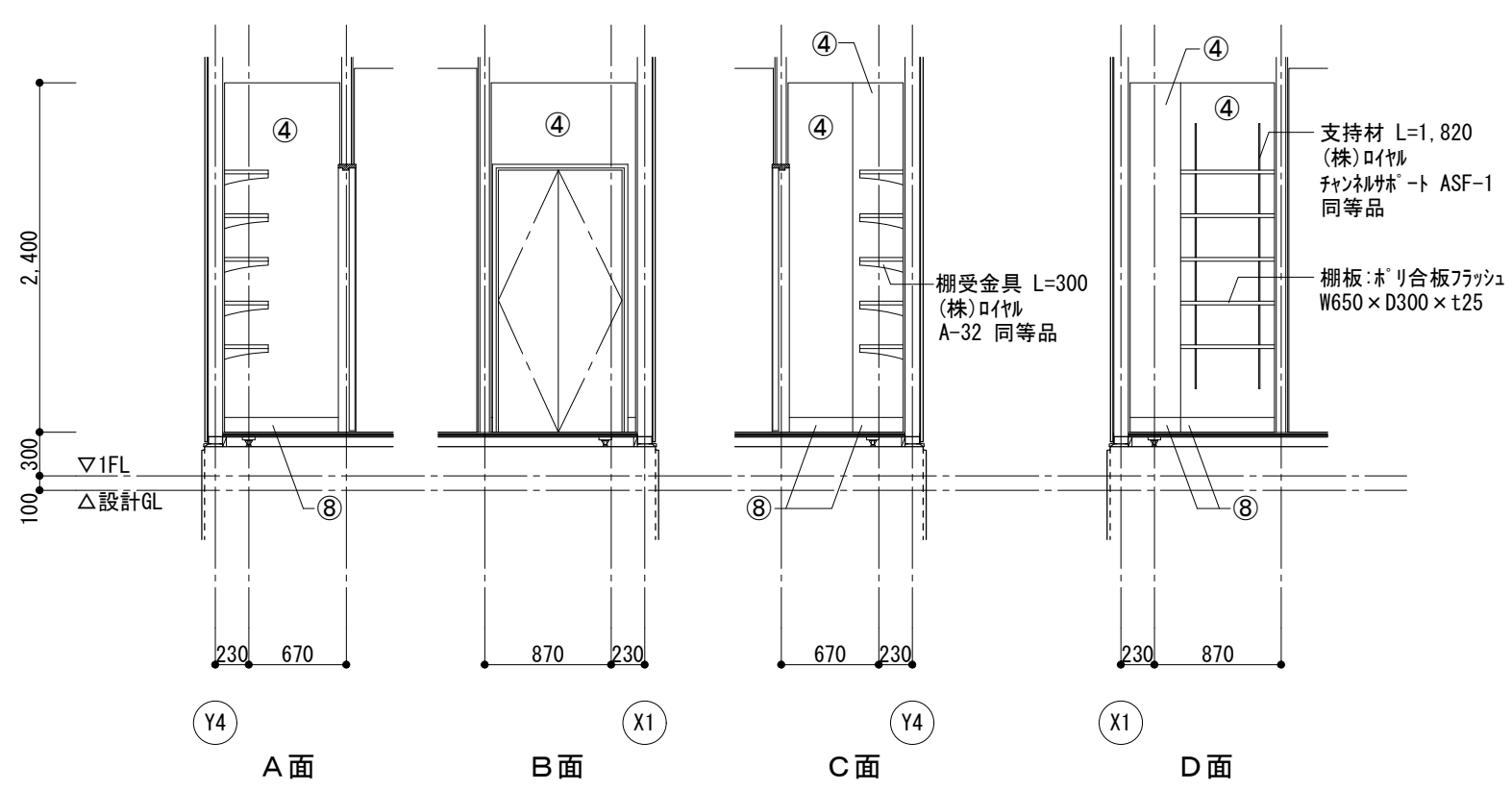
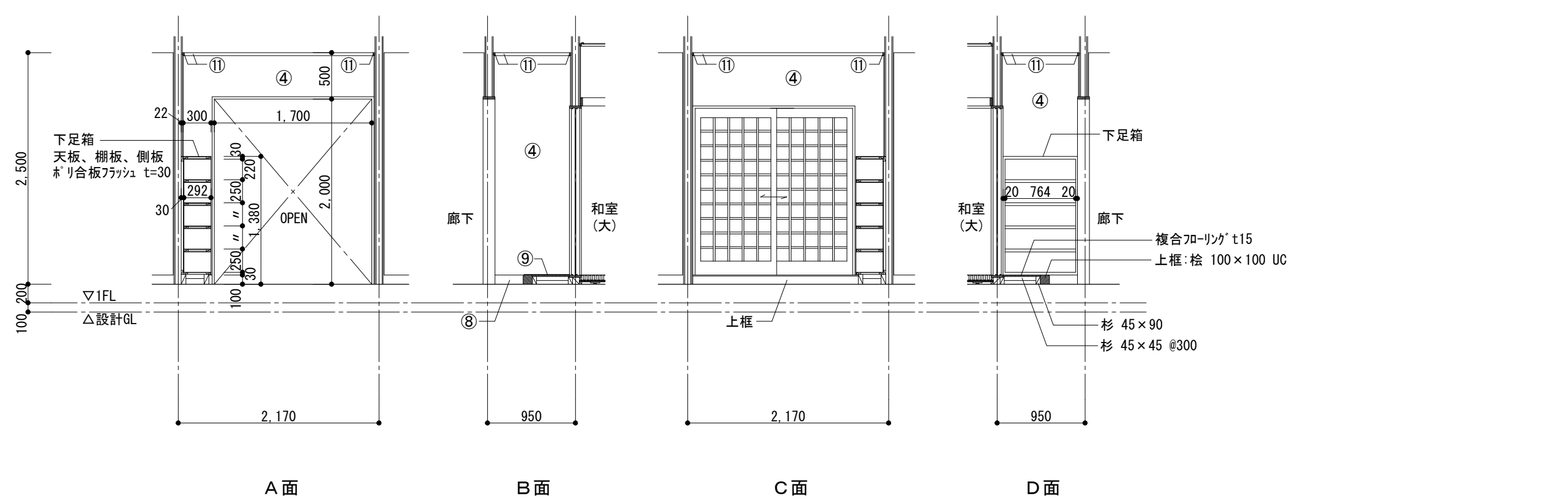
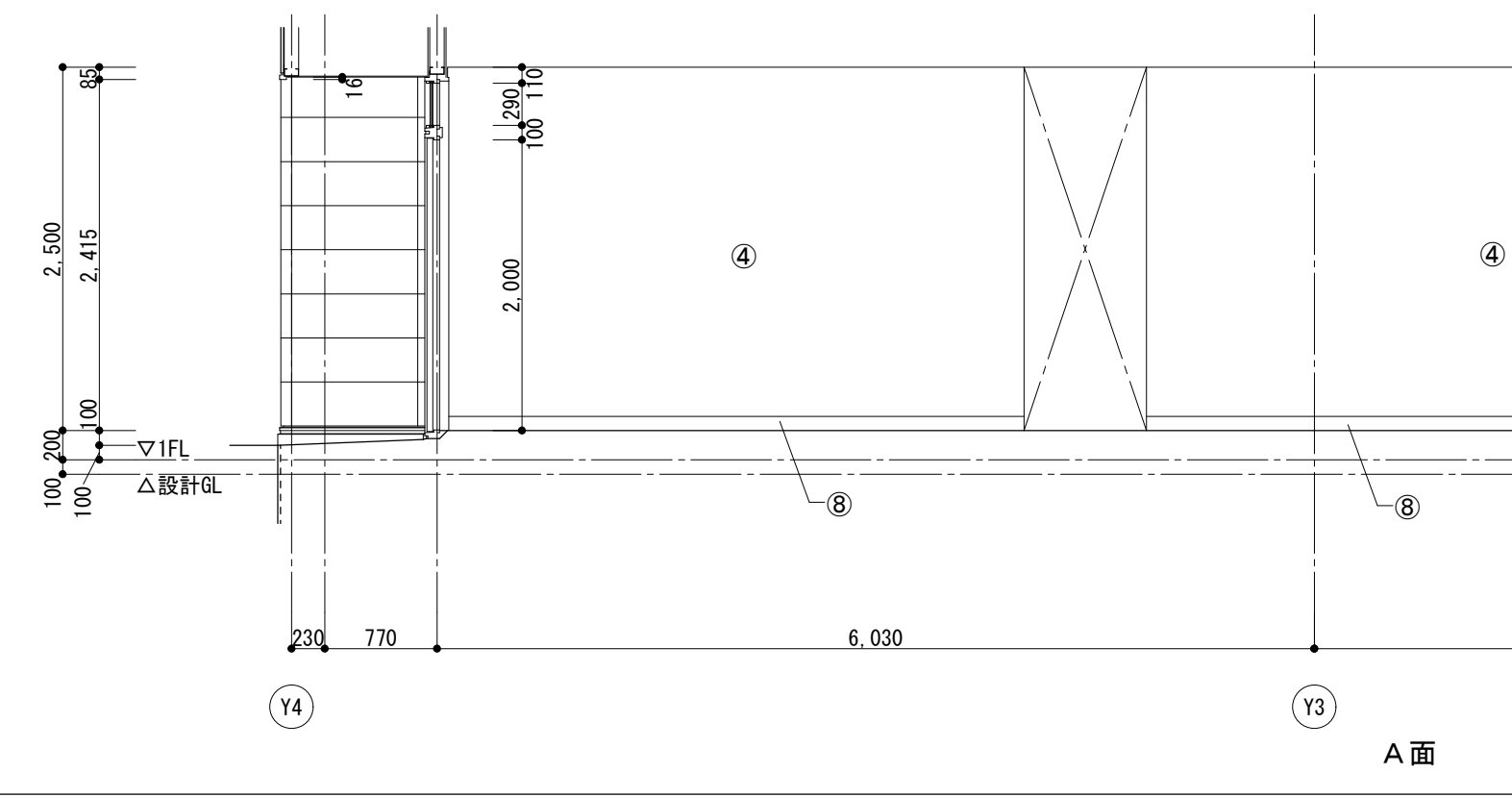
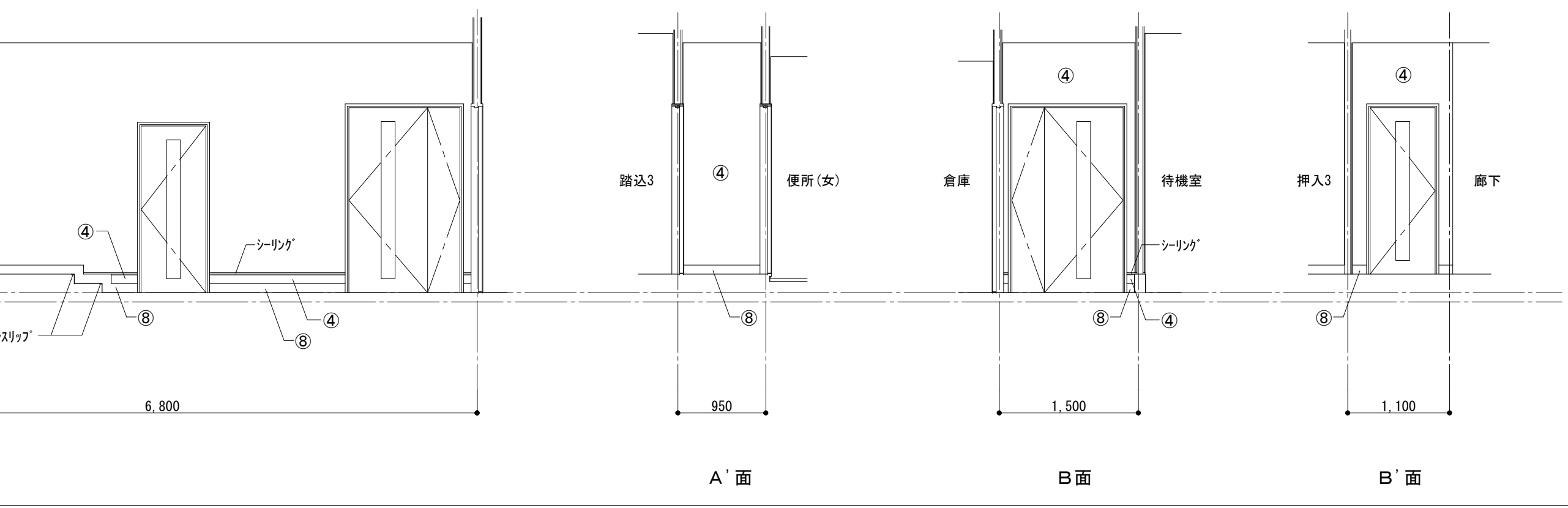
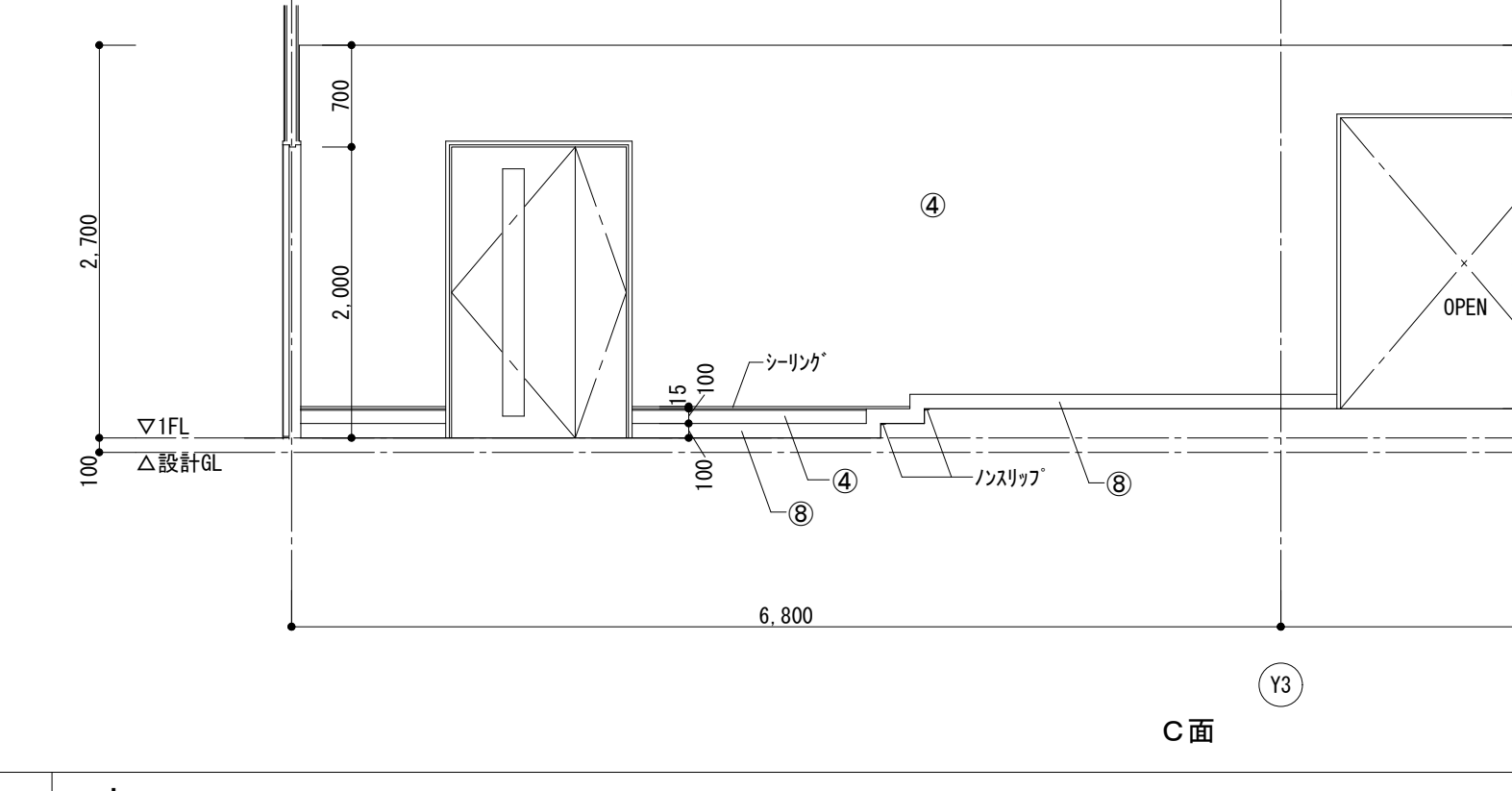
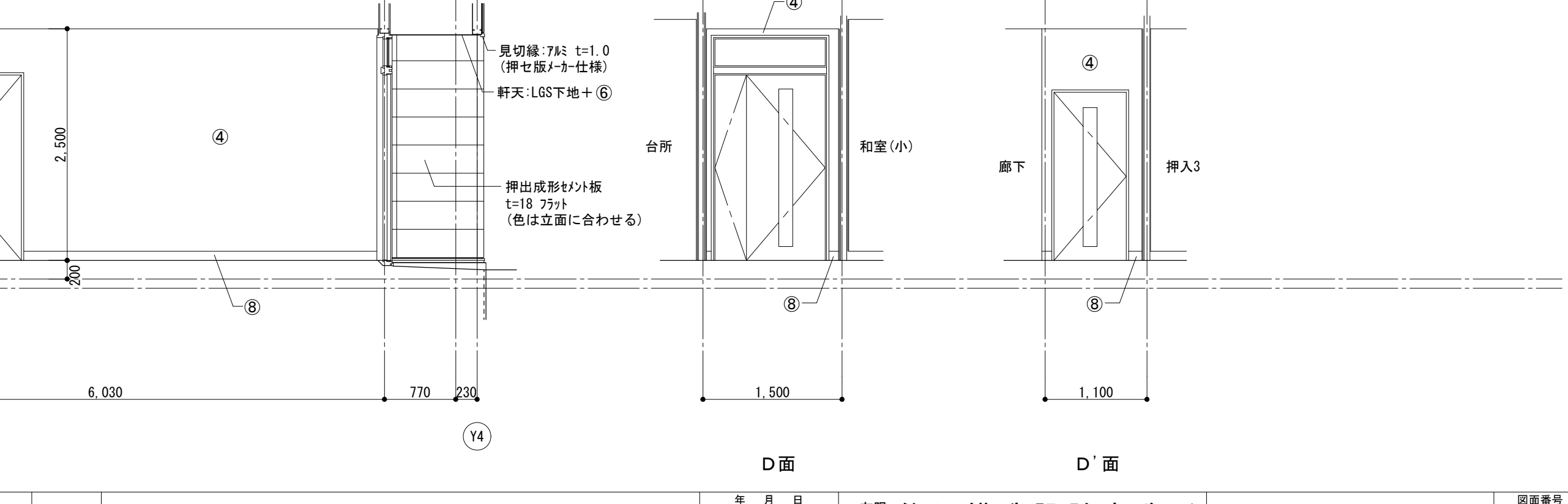
凡例（展開図共通）

番号	仕上	番号	仕上	番号	仕上
①	ケイム板 t=6.0+EP-G塗装	⑦	防塵塗料塗り	⑬	付長押 桧20×90 UC
②	押出成形セメント板 素地	⑧	t=10巾木 H=100	⑭	付鴨居 桧10×25 UC
③	陶器質タイル 100角	⑨	雑巾摺 桧8×15		
④	t=10タイル	⑩	鉄部見え掛かり EP-G塗装		
⑤	サ合板 t=5.5	⑪	木廻縁 桧20×30 UC		
⑥	キッチンパネル t=3.2	⑫	木廻縁 桧20×30 UC+t=10クッション材		

摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有 限 会 社	熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号	図面番号
	・			R7.8				A-20
	・	図 面 名	展開図(1)	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号	一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔		
	・			A2 1:50				

倉庫																																												
倉庫				待機室																																								
待機室				和室(大)																																								
D面				A面				B面																																				
<table><tr><td rowspan="4">摘要</td><td colspan="3">・</td><td rowspan="4">工 事 名</td><td colspan="3" rowspan="4">夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）</td><td rowspan="5">年 月 日 R7. 8</td><td rowspan="4">有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所</td><td rowspan="5">構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔</td><td rowspan="5">図面番号 A-21</td></tr><tr><td colspan="3">・</td></tr><tr><td colspan="3">・</td></tr><tr><td colspan="3">・</td></tr><tr><td colspan="3">縮 尺 A2 1:50</td><td colspan="3">図 面 名 展開図(2)</td><td colspan="3">縮 尺 A2 1:50</td><td colspan="3">高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号</td></tr></table>												摘要	・			工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）			年 月 日 R7. 8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-21	・			・			・			縮 尺 A2 1:50			図 面 名 展開図(2)			縮 尺 A2 1:50			高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		
摘要	・			工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）			年 月 日 R7. 8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-21																																	
	・																																											
	・																																											
	・																																											
縮 尺 A2 1:50			図 面 名 展開図(2)			縮 尺 A2 1:50			高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号																																			

和室(大)				押入1					
床の間				押入2					
台所									
摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）			年 月 日	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-22
	・	図 面 名	展開図(3)			R7.8			
	・					縮 尺			
	・					A2 1:50			

収納				踏込1				
								
玄関・廊下								
								
玄関・廊下								
								
摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社	熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	図面番号	
	・							
	・							
	・							
縮 尺		図 面 名	展開図 (4)	縮 尺		高知県高知市朝倉丙1414-36 高知県第266号	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	
A2 1:50				TEL088 (849) 2700				

和室(小)

2,500
900
1,410
180
複合70-リング t15
杉 45×45 @300
パネライクボード t20
▽1FL
△設計GL
230
3,750
Y4
A面
踏込3
④
⑪
⑬
⑭
玄関廊下
踏込3
④
⑪
⑬
⑭
3,750
230
Y4
C面
④
⑪
⑬
⑭
2,300
230
X2
D面
④
⑪
⑬
⑭
2,300
230
X3
B面
④
⑪
⑬
⑭
2,300
230
X3
X2

Architectural drawings of the entrance (踏込3) showing four elevations: A面, B面, C面, and D面. The drawings include dimensions, material specifications, and structural details.

Dimensions and Materials:

- Overall height: 2,500
- Overall width: 1,000 (A面), 2,300 (B面, D面), 1,000 (C面)
- Materials: 杉45 × 45 @300, 杉45 × 90, 上框: 桧 100 × 100 UC, 複合フローリング t15
- Structural details: 押入3, 廊下, 和室 (小), 廊下
- Level markers: ▽1FL, △設計GL

Section Labels:

- A面 (Left side elevation)
- B面 (Front elevation, between X3 and X2)
- C面 (Right side elevation)
- D面 (Back elevation, between X2 and X3)

[illegible]

便所(女)

The drawings show the following details:

- A面 (Front):** Shows the entrance with a door (①) and a window (③). Dimensions: 1,100 (width), 2,400 (height). Labels: 天井裏 石こうボード t12.5 立上げ, 面台 アルミボートフォーム 25×315, 押入3, ③, 100, 150, 150, 1,100, 1,300, 2,400, △設計GL, ▽1FL.
- B面 (Side):** Shows the side wall with a window (③) and a door (①). Dimensions: 2,300 (width), 2,300 (height). Labels: 天井裏 石こうボード t12.5 立上げ, 見切:SUS PL-1.0 HL, 玄関廊下, ③, シーリング, 120, 150, 150, 2,300, 2,300, X3, X2.
- C面 (Side):** Shows the side wall with a window (③) and a door (①). Dimensions: 1,100 (width), 1,100 (height). Labels: 天井裏 石こうボード t12.5 立上げ, 見切:SUS PL-1.0 HL, 玄関廊下, ③, シーリング, 1,100, 1,100, 1,100, 1,100, X2, X3.
- D面 (Back):** Shows the back wall with a window (③) and a door (①). Dimensions: 2,300 (width), 2,300 (height). Labels: 天井裏 石こうボード t12.5 立上げ, 見切:SUS PL-1.0 HL, 玄関廊下, ③, シーリング, 下枠:SUS, 250, 800, 250, 1,100, 2,300, 2,300, X2, X3.

摘要	.	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号
	.			R7.8			A-24
	.	図 面 名	展開図(5)	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		
	.			A2 1:50			

便所(男)

Architectural drawings of the men's toilet (便所(男)) showing four views: A面 (Front), B面 (Side), C面 (Side), and C'面 (End). The drawings include dimensions, material specifications, and structural details.

A面 (Front View): Shows the front elevation with a total width of 5,070 and a total height of 2,400. It features a window at the top left, a counter (面台) made of aluminum and foam (25 x 165), and a partition board (隔て板) made of plywood (トイレット同材). The floor level is indicated as 1FL (1st Floor Level) and the design level is 50. The drawing is labeled Y3 at the bottom left.

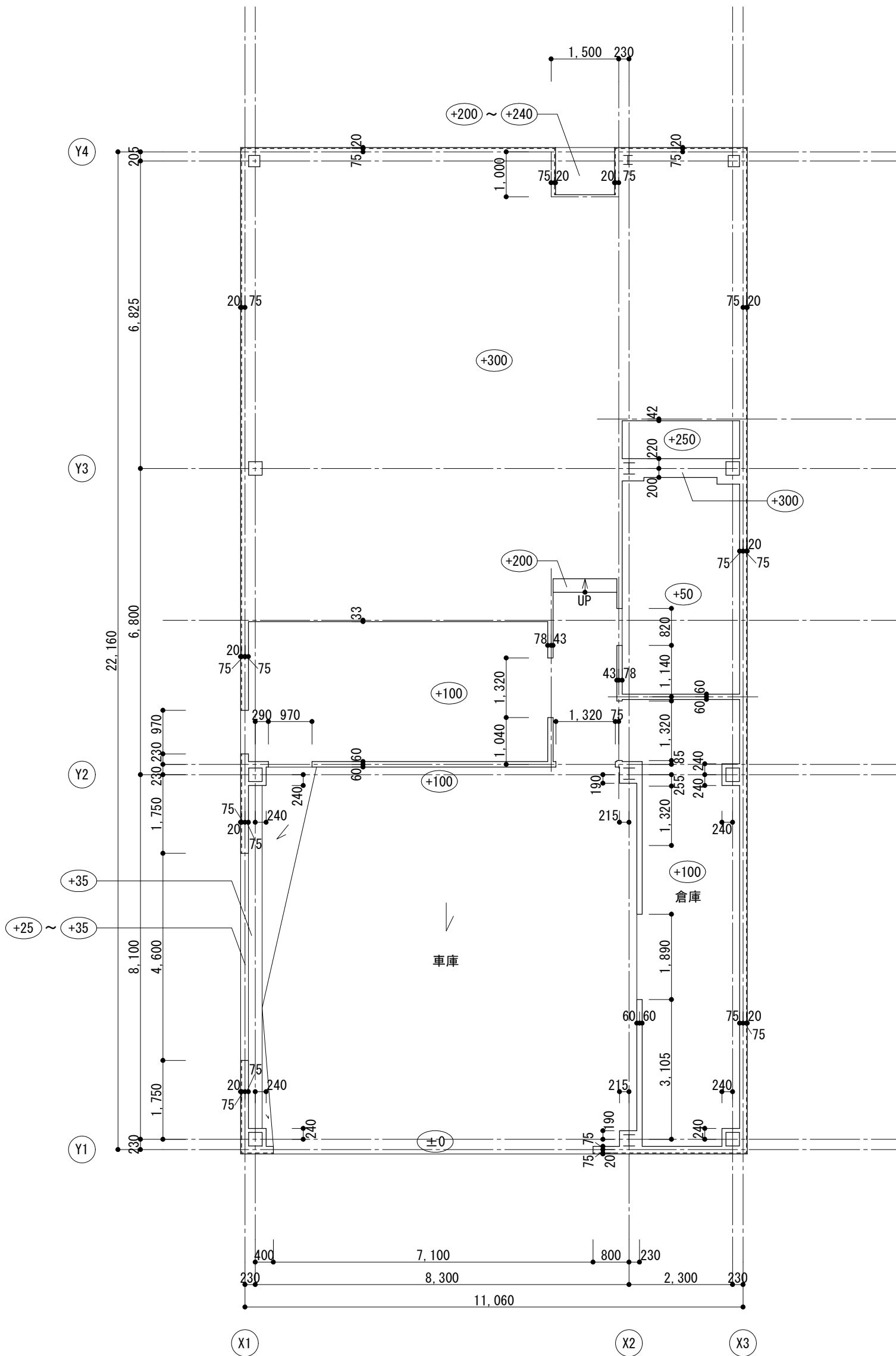
B面 (Side View): Shows the side elevation with a total width of 2,300 and a total height of 2,400. It features a counter (面台) made of aluminum and foam (25 x 165), a partition board (隔て板) made of plywood (トイレット同材), and a door (玄関廊下). The floor level is indicated as 1FL (1st Floor Level) and the design level is 50. The drawing is labeled X3 and X2 at the bottom left.

C面 (Side View): Shows the side elevation with a total width of 5,070 and a total height of 2,400. It features a counter (面台) made of aluminum and foam (25 x 165), a partition board (隔て板) made of plywood (トイレット同材), and a door (玄関廊下). The floor level is indicated as 1FL (1st Floor Level) and the design level is 50. The drawing is labeled Y3 at the bottom left.

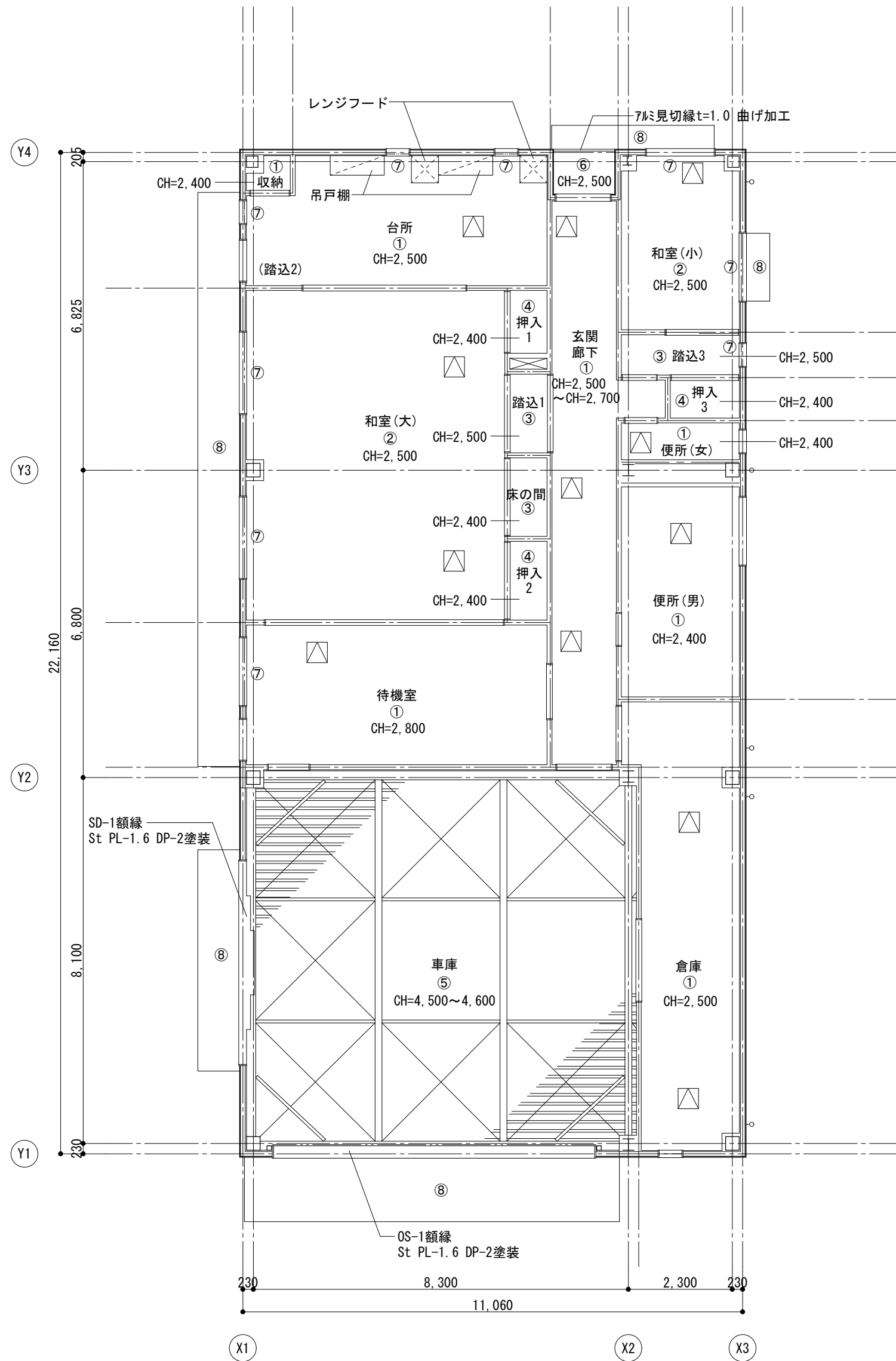
C'面 (End View): Shows the end elevation with a total width of 5,070 and a total height of 2,400. It features a partition board (隔て板) made of plywood (トイレット同材) and a door (玄関廊下). The floor level is indicated as 1FL (1st Floor Level) and the design level is 50. The drawing is labeled Y3 at the bottom left.

[illegible]

摘 要	.	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号
	.			R7.8			A-25
	.	図 面 名	展開図(6)	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		
	.			A2 1:50			



RC立上り伏図 S=1:100

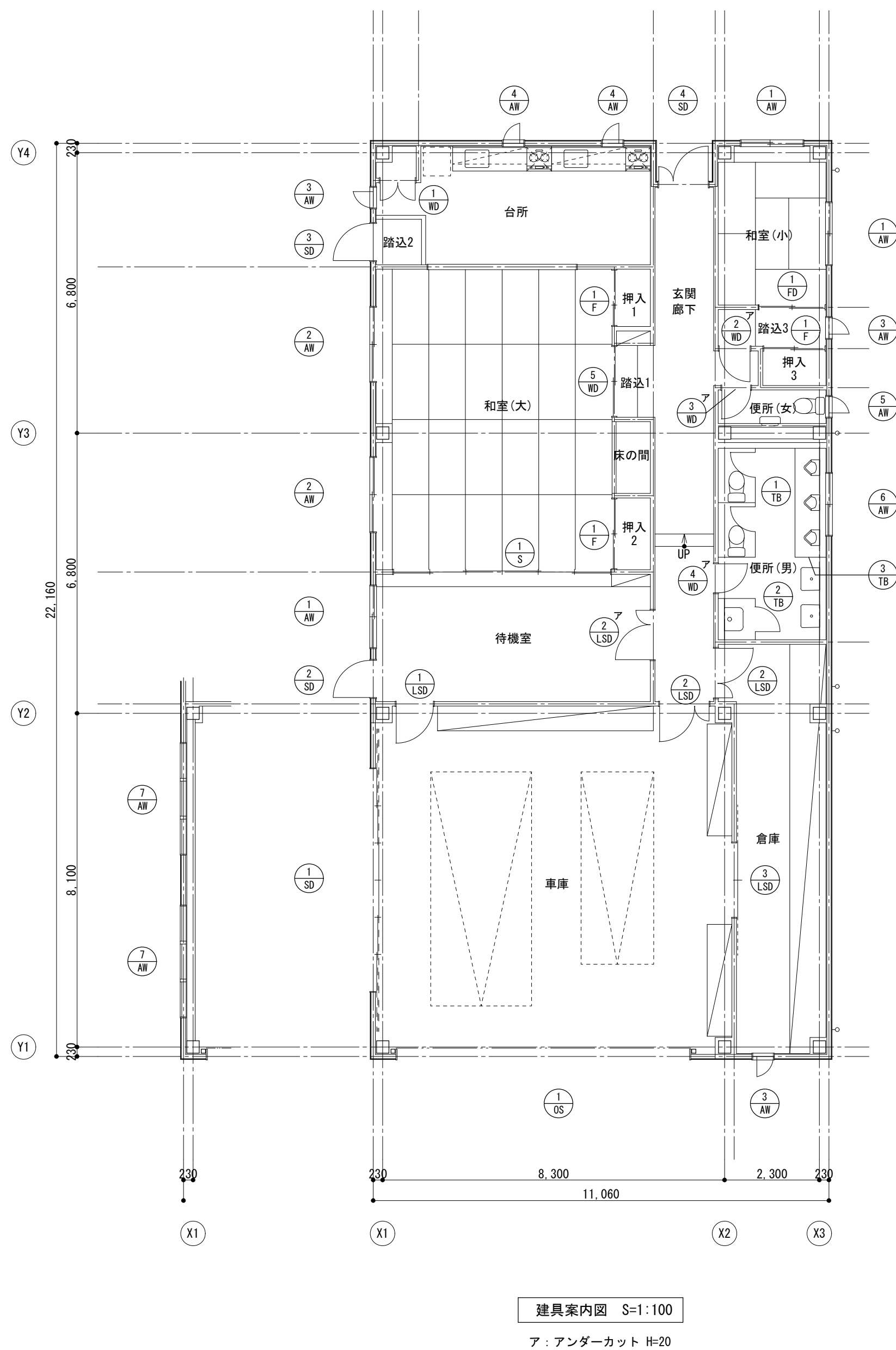


天井伏図 S=1:100

△ : 天井点検口450角を示す。

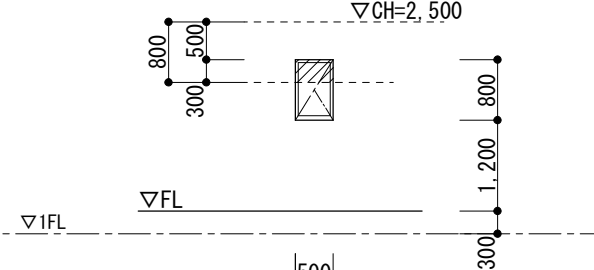
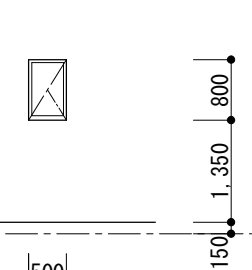
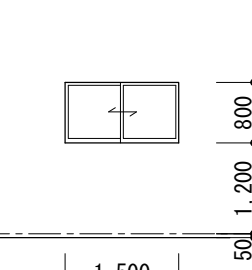
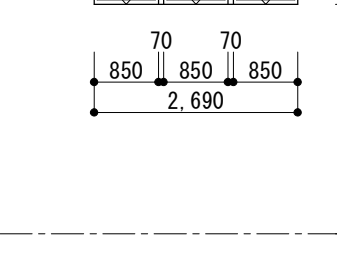
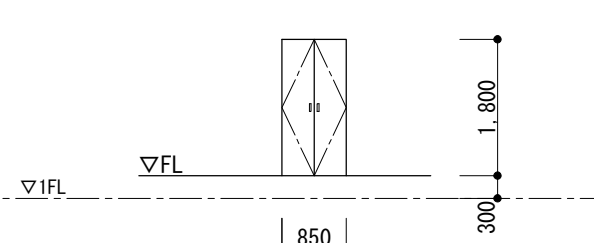
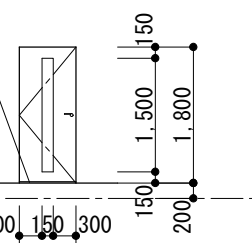
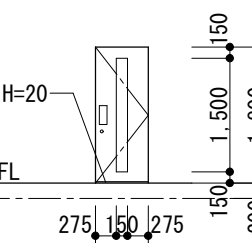
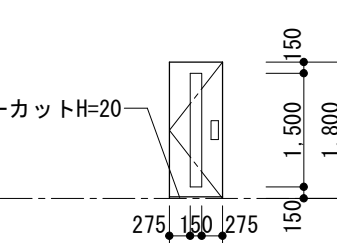
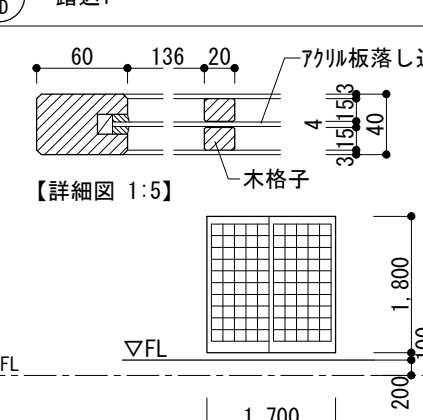
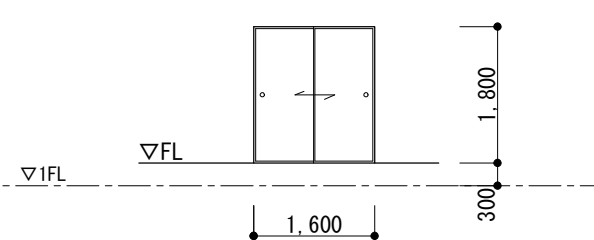
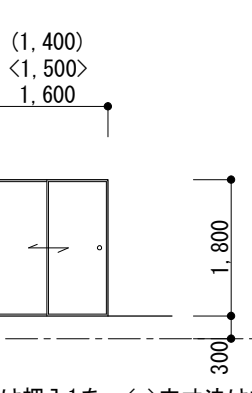
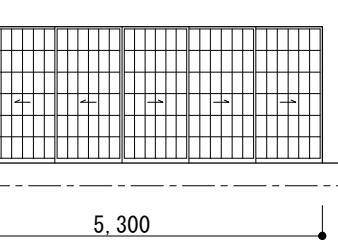
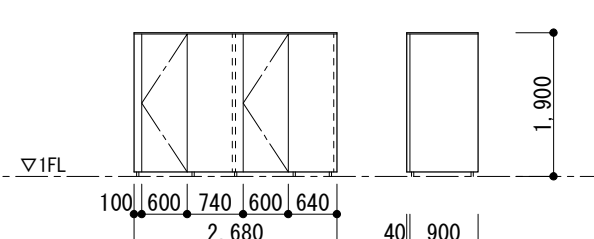
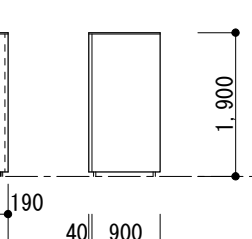
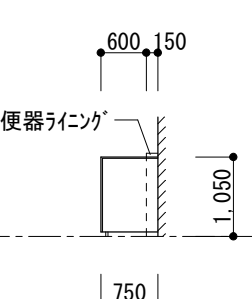
記号	仕 上
①	化粧石膏ボードt=9.5
②	石膏ボードt=9.5+和風ビニルクロス(杉証)
③	石膏ボードt=9.5+和風ビニルクロス(網代)
④	シナ合板t=5.5
⑤	デッキ裏 EP-G塗装
⑥	ケイカル板t=6.0 EP-G塗装
⑦	ロールスクリーン (額縁付け)
⑧	7mm庇(既製品)

摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社	熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号	図面番号
	・			R7.8				
	・	図 面 名	RC立上り伏図・天井伏図	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号	一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔		
	・			A2 1:100				

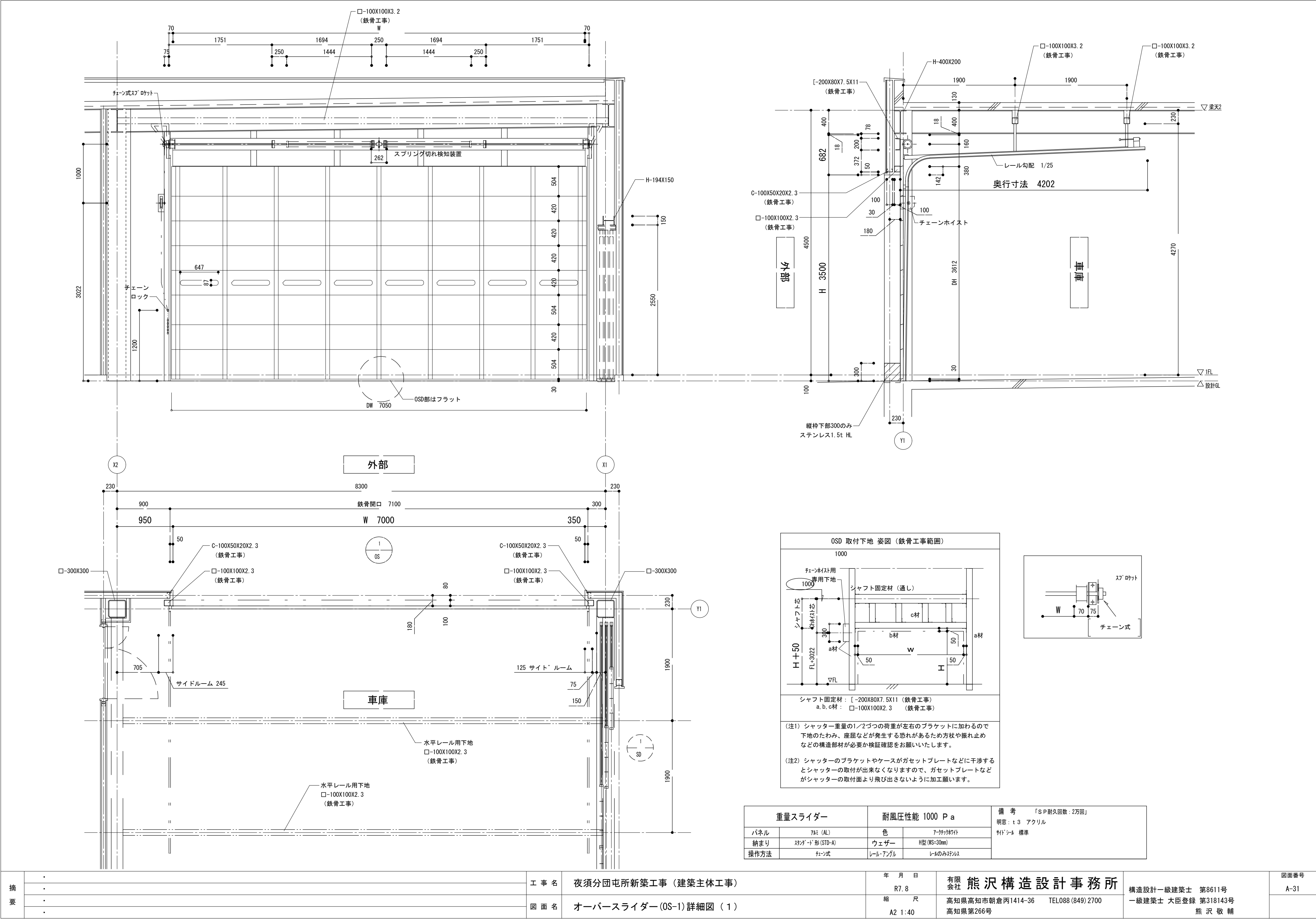


番号	1 OS	車庫	1箇所	1箇所	1 SD	車庫	1箇所			
形状 寸法										
形 式	オーバースライダー 手動チェーン式(スタンダード型)				三連引分けハンガードア					
見 込	枠: 265				扉: 60、枠: 145					
材質・仕上	本体: 7㉿ 熱硬化性㉿ リス㉿樹脂塗料、枠: St(縦枠足下300まではSUS)DP-2塗装				扉、枠共: St(縦枠足下300まではSUS)DP-2塗装					
ガラス	小窓: アクリル t3				小窓: アクリル t3					
付属金物	付属金物一式、サイドシール、鍵付				付属金物一式、防塵仕様、鍵付					
備 考	耐風圧: 1,000Pa、文字: カッティングシート貼				耐風圧: 1,000Pa					
番号	2 SD	待機室	1箇所	3 SD	踏込2(台所)	1箇所	4 SD	玄関・廊下	1箇所	
形状 寸法	※排煙有効面積: 0.85×0.51=0.43m² ※換気有効面積: 0.85×0.51=0.43m²			※排煙有効面積: 0.85×0.31=0.26m²						
形 式	片開きドア+上部外倒し排煙窓(傾倒角45度以上)			片開きドア+上部外倒し排煙窓(傾倒角45度以上)			親子開きドア+上部FIX窓			
見 込	扉: 40、枠: 100、額縁: 65			扉: 40、枠: 100、額縁: 65			扉: 40、枠: 100、額縁: 65			
材質・仕上	扉、枠、額縁共: St(縦枠足下300まではSUS)DP-2塗装			扉、枠、額縁共: St(縦枠足下300まではSUS)DP-2塗装			扉、枠、額縁共: St(縦枠足下300まではSUS)DP-2塗装			
ガラス	小窓: アクリル t3、排煙窓: FL4+A12+FL4			小窓: アクリル t3、排煙窓: FL4+A12+FL4			小窓: アクリル t3、FIX窓: FL4+A12+FL4			
付属金物	レバーハンドル錠、ドアローザー、排煙カバー、戸当り、SUS丁番			レバーハンドル錠、ドアローザー、排煙カバー、戸当り、SUS丁番			レバーハンドル錠、ドアローザー、戸当り、SUS丁番、フラス落し			
備 考	SAT、下枠SUS			SAT、下枠SUS			SAT、下枠SUS			
番号	1 LSD	待機室	1箇所	2 LSD	待機室、倉庫、車庫	3箇所	3 LSD	倉庫	1箇所	
形状 寸法				アンダーカットH=20 (待機室のみ)						
形 式	片開きドア			親子開きドア			引分けハンガードア			
見 込	扉: 36、枠: 130			扉: 36、枠: 130			扉: 36、枠: 130			
材質・仕上	扉: 化粧鋼板、枠: St SOP塗装			扉: 化粧鋼板、枠: St SOP塗装			扉: 化粧鋼板、枠: St SOP塗装			
ガラス	小窓: アクリル t3			小窓: アクリル t3			小窓: アクリル t3			
付属金物	レバーハンドル錠、ドアローザー、戸当り、ビレットヒンジ			レバーハンドル錠、ドアローザー、戸当り、ビレットヒンジ、フラス落し			小窓: アクリル t3 ドアハンドル、ロッド錠、吊金物一式			
備 考	吝摺: SUS			吝摺: SUS			吝摺: SUS			
番号	1 AW	待機室、和室(小)	3箇所	2 AW	和室(大)	2箇所	3 AW	台所、踏込3(和室(小))、倉庫	3箇所	
形状 寸法	※排煙有効面積: 0.75×0.31=0.23m²【待機室】 0.75×0.61=0.45m²【和室(小)】 ※採光有効面積: 1.50×1.41=2.11m² ※換気有効面積: 0.75×1.41=1.05m² ※()内寸法は待機室を示す			※排煙有効面積: 1.8×0.395=0.71m² ※採光有効面積: 1.80×1.80=3.24m² ※換気有効面積: 0.90×1.80=1.62m² ※()内寸法は待機室を示す			※排煙有効面積: 0.5×0.30=0.15m² ※採光有効面積: 0.5×1.10=0.55m² ※換気有効面積: 0.5×1.10=0.55m² ※()内寸法は倉庫を示す			
形 式	引き違い窓			引き違い窓+上部外倒し排煙窓(傾倒角45度以上)			縦すべり出し窓			
見 込	70(半外付けタイプ)			70(半外付けタイプ)			70(半外付けタイプ)			
材質・仕上	7㉿ 電解着色			7㉿ 電解着色			7㉿ 電解着色			
ガラス	FL4+A12+FL4			FL4+A12+FL4			FL4+A12+FL4【台所、踏込3】、型板4【倉庫】			
付属金物	付属金物一式、網戸			付属金物一式、網戸、排煙カバー			付属金物一式、網戸			
備 考	額縁: St-105×25 SOP【待機室】、桧105×25 UC【和室(小)】			額縁: 桧105×25 UC			額縁: St-105×25 SOP【台所、倉庫】、桧105×25 UC【踏込3】			

摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 R7.8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号	図面番号 A-27
	・						
	・	図 面 名	建具案内図・建具表(1)	縮 尺 A2 1:100	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号	一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	
	・						

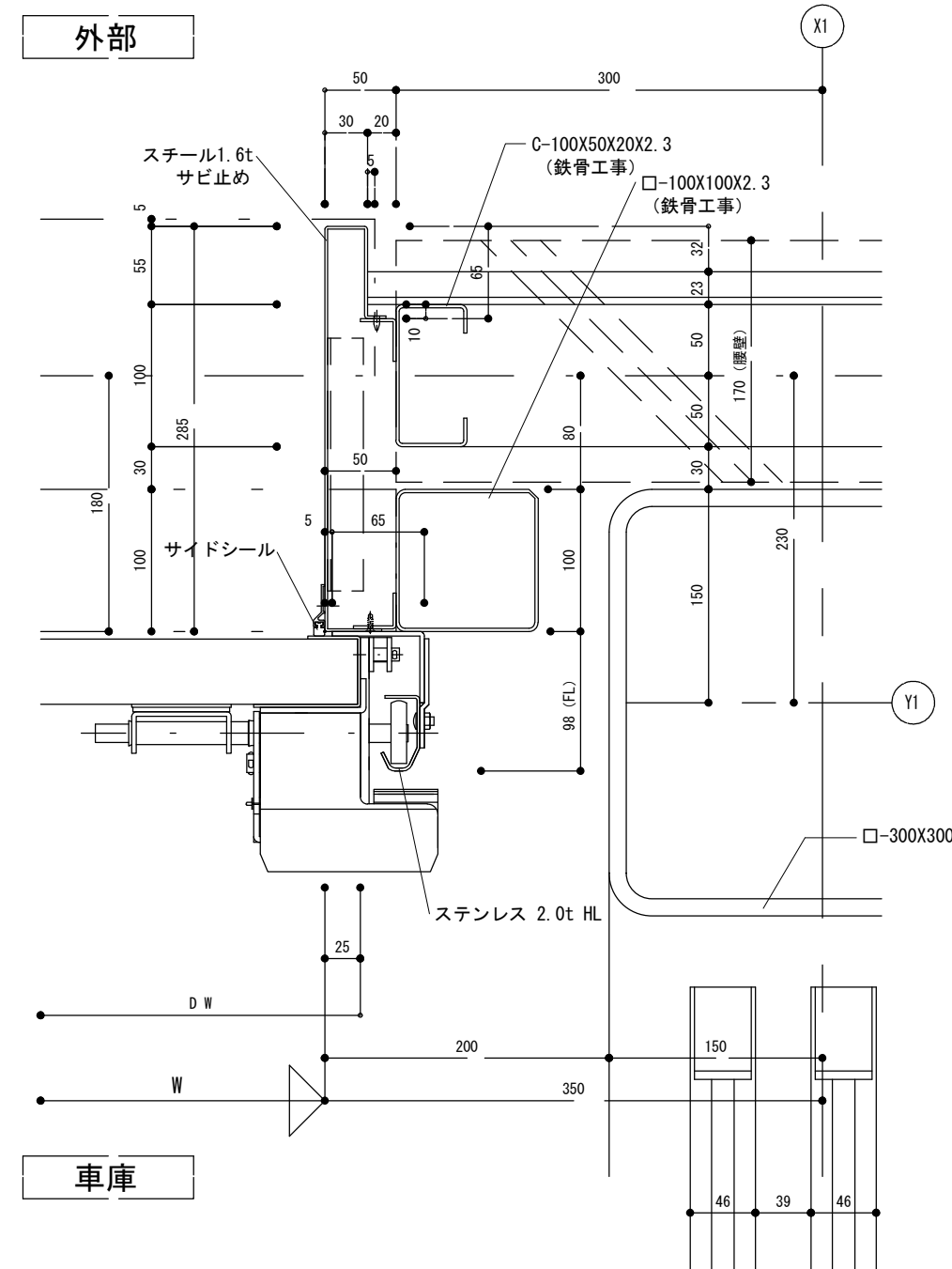
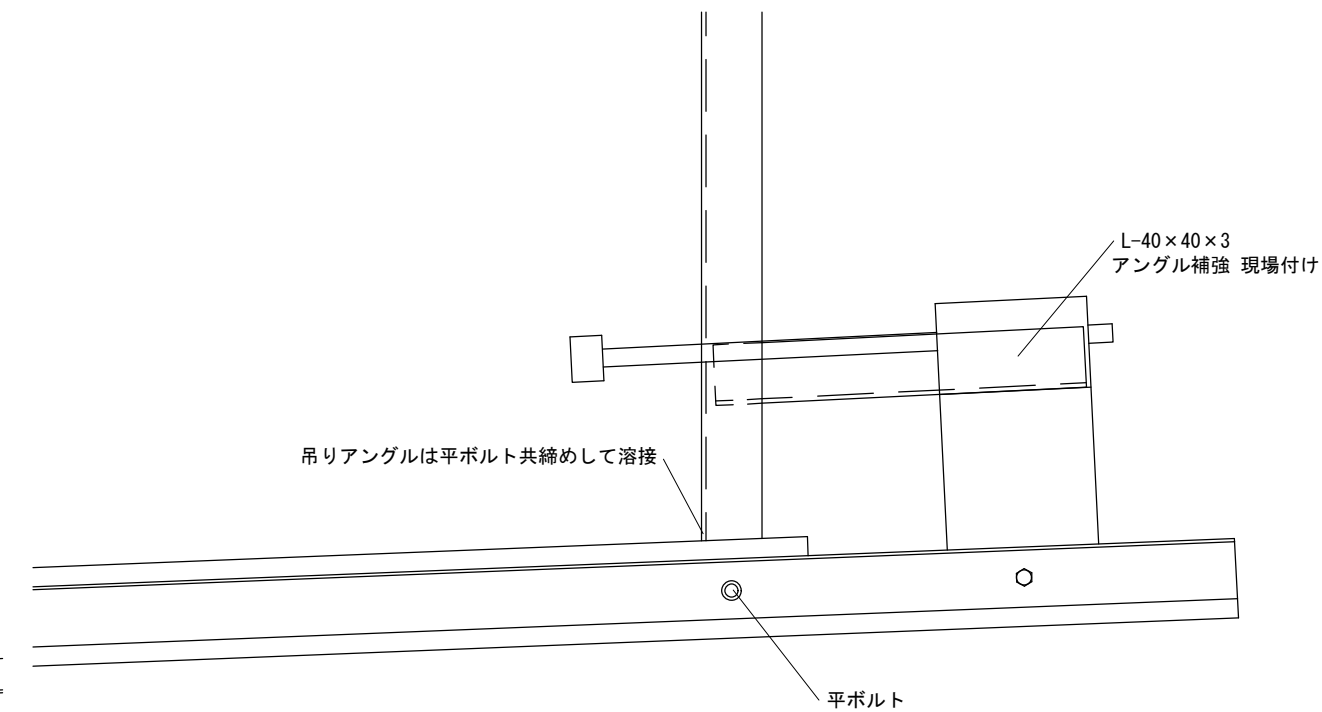
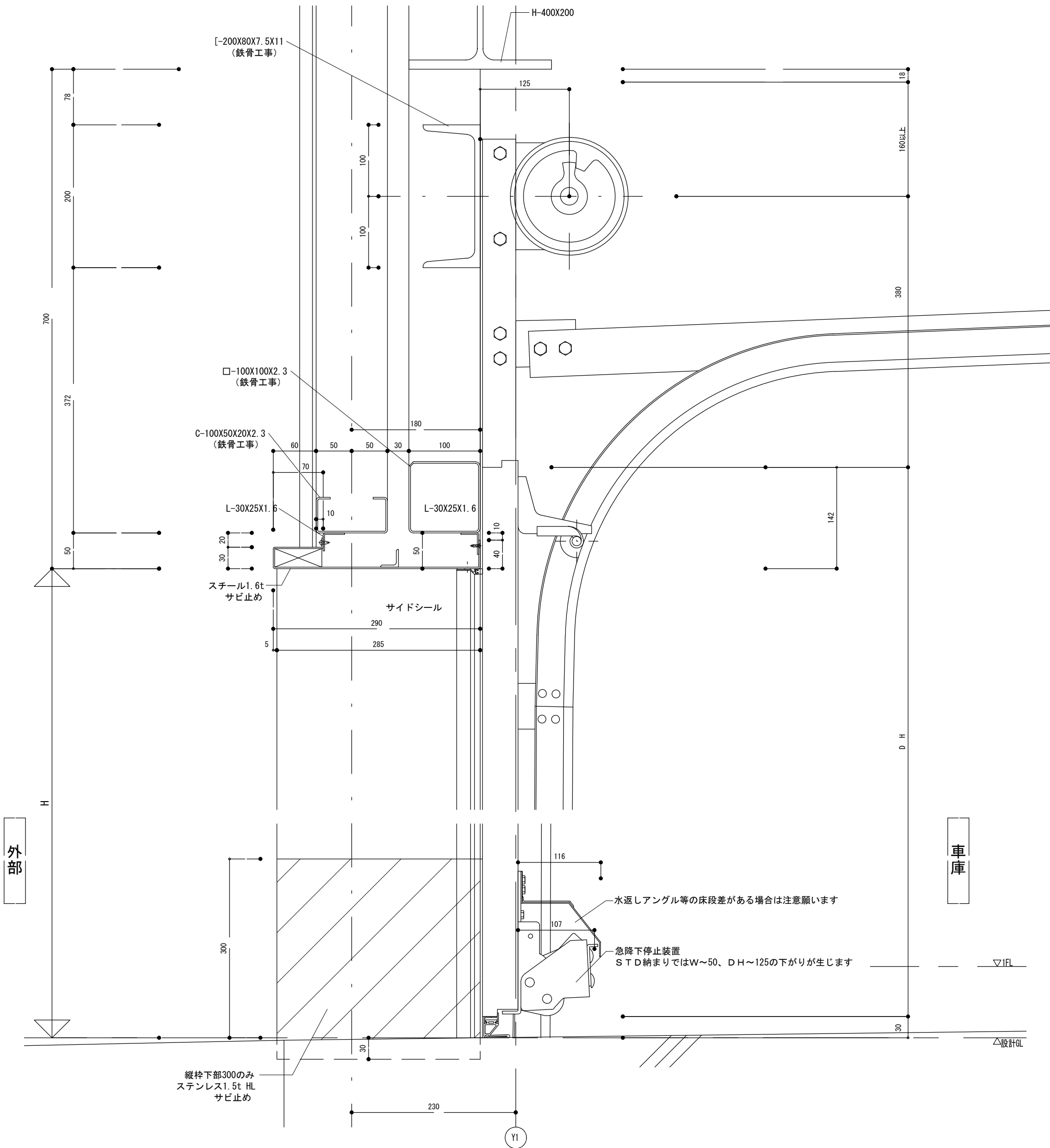
番号		4 AW	台所	2箇所	5 AW	便所(女)	1箇所	6 AW	便所(男)	1箇所	7 AW	車庫上部	2箇所	※※	※	※箇所	※※	※	※箇所		
形状 寸法		※排煙有効面積：0.5×0.30=0.15m2 ※採光有効面積：0.5×0.80=0.40m2 ※換気有効面積：0.5×0.80=0.40m2																			
																					
		▽IFL				▽IFL				▽IFL				▽IFL				▽FL			
形 式		縦すべり出し窓				縦すべり出し窓				引き違い窓				三連外倒し排煙窓							
見 込		70（半外付けタイプ）				70（半外付けタイプ）				70（半外付けタイプ）				70（半外付けタイプ）							
材質・仕上		7mm 電解着色				7mm 電解着色				7mm 電解着色				7mm 電解着色							
ガラス		FL4+A12+FL4				型板4				型板4				網入型板6.8							
付属金物		付属金物一式、網戸				付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式、排煙オペレーター							
備 考		額縁：St-105×25 SOP				額縁：St-105×25 SOP				額縁：St-105×25 SOP				—							
番号		1 WD	台所	1箇所	2 WD	踏込3	1箇所	3 WD	便所(女)	1箇所	4 WD	便所(男)	1箇所	5 WD	踏込1	1箇所	※※	※	※箇所		
形状 寸法																					
		▽IFL				▽IFL				▽IFL				▽IFL				▽FL			
		850				300				750				700				1,700			
形 式		両開き戸				片開き戸				片開き戸				片開き戸				引き違い格子戸			
見 込		扉：40、枠：120				扉：40、枠：130				扉：40、枠：130				扉：40、枠：135				扉：40、枠：130			
材質・仕上		扉：ポリ合板フラッシュ、枠：桧 UC				扉：ポリ合板フラッシュ、枠：桧 UC				扉：ポリ合板フラッシュ、枠：桧 EP-G				扉：ポリ合板フラッシュ、枠：桧 EP-G				扉、枠共：桧 UC			
ガラス		—				アクリル t3(乳白色)				アクリル t3(乳白色)				アクリル t3(乳白色)				アクリル t3(落し込み)			
付属金物		掘込引手、スライド丁番、マグネットキャッチ				ビレットピンジ、レバーハンドル錠、戸当り、アームストッパー				ステンレス丁番、ドアローザー、サムターン表示錠、押板、引手				ステンレス丁番、ドアローザー、押板、引手				掘込引手、戸車、引き違い錠			
備 考		—				—				非常解錠装置付、下枠SUS				下枠SUS				—			
番号		1 FD	和室(小)	1箇所	1 F	押入1, 2, 3	3箇所	1 S	和室(大)	1箇所	※※	※	※箇所	※※	※	※箇所	※※	※	※箇所		
形状 寸法																					
		▽IFL				▽IFL				▽IFL				▽FL				▽FL			
		1,600				300				5,300											
形 式		引き違い襖戸				引き違い襖				三連引き分け障子											
見 込		扉：30、枠：130				扉：20、枠：105				扉：30、枠：130											
材質・仕上		新鳥の子襖紙、戸枠：ガッシュ塗、枠：桧 UC				新鳥の子襖紙、戸枠：ガッシュ塗、枠：桧 UC				戸、枠共：桧 UC 強化障子紙貼り											
ガラス		—				—				—											
付属金物		掘込引手				掘込引手				掘込引手											
備 考		—				—				—											
番号		1 TB	便所(男)	1箇所	2 TB	便所(男)	1箇所	3 TB	便所(男)	1箇所	※※	※	※箇所	※※	※	※箇所	※※	※	※箇所		
形状 寸法																					
		▽IFL				▽IFL				▽IFL				▽FL				▽FL			
		100 600 740 600 640 40 900				150 600 190 40 900				750											
形 式		トイレベース				トイレベース				トイレベース											
見 込		40				40				40											
材質・仕上		メラミン化粧板				メラミン化粧板				メラミン化粧板											
ガラス		—				—				—											
付属金物		SUS笠木、SUS枠・ト、ガラス・ティビジ、戸当り帽子掛け 表示付スライドロック(非常解錠付)、付属金物一式				SUS笠木、SUS枠・ト、ガラス・ティビジ 付属金物一式				SUS笠木、SUS枠・ト 付属金物一式											
摘 要	・								工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）				年 月	R7.8		有限 会社 熊沢構造設計事務所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-28		
	・								図 面 名	建具表(2)				縮 尺	A2 1:100						
	・																				
	・																				

ハット詳細図 1:10				玄関及び柱型廻り詳細図 1:10							
壁～床取合詳細図1 1:10		壁～床取合詳細図2 1:10		壁～床取合詳細図3 1:10		壁～床取合詳細図4 1:10		壁～床取合詳細図5 1:10		壁～床取合詳細図6 1:10	
摘要				工 事 名		夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）		年 月 日		有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	
				図 面 名		部分詳細図(1)		縮 尺		高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号	
								構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔		図面番号 A-29	

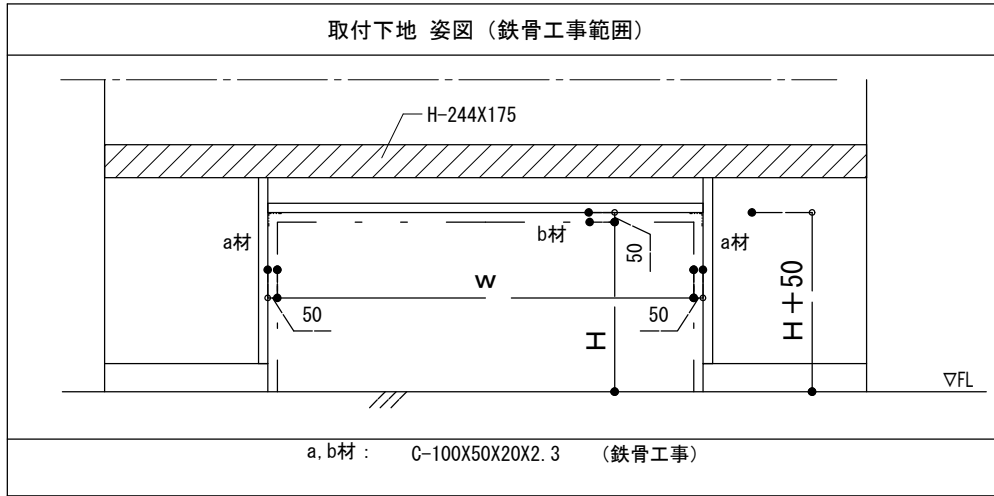
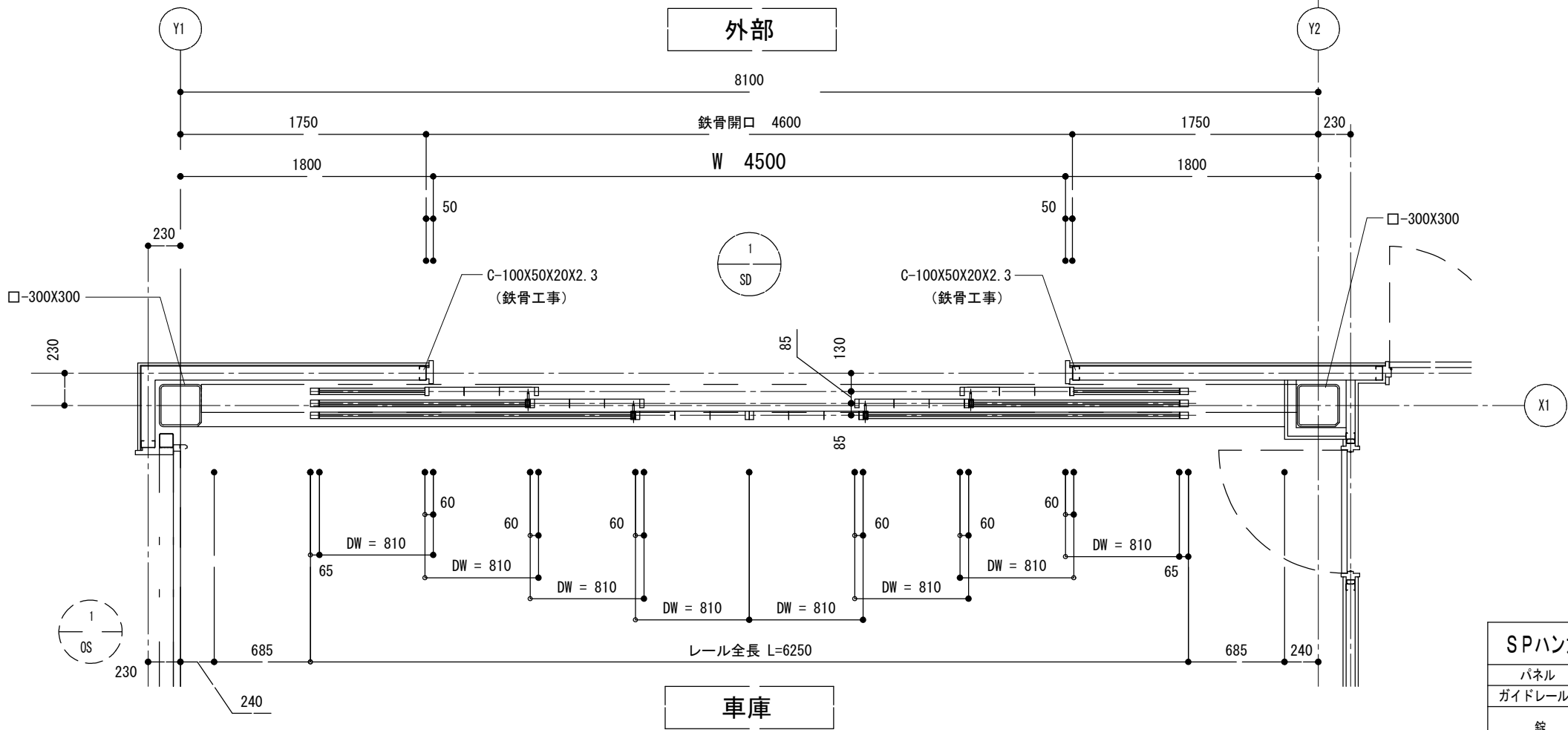
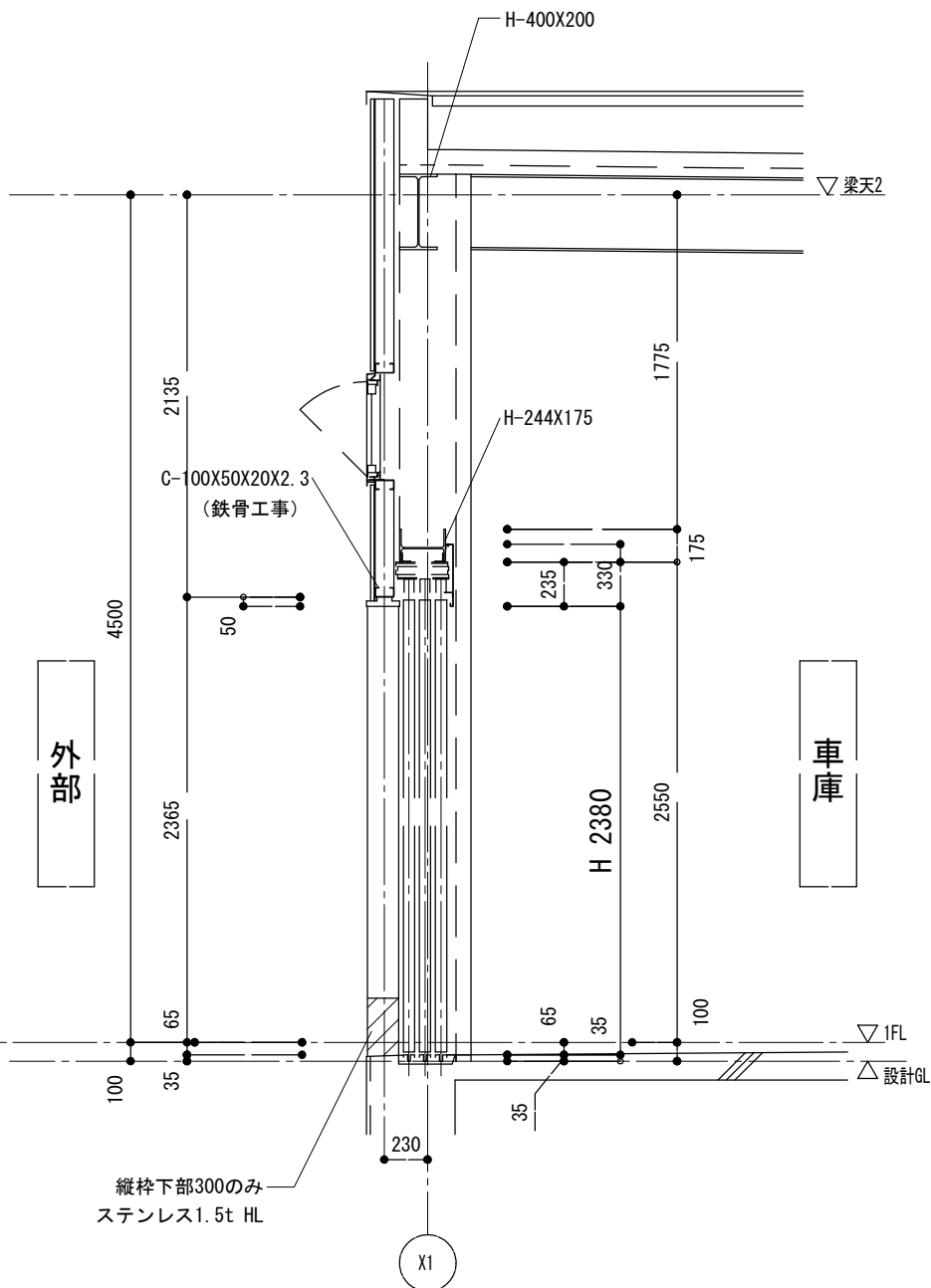
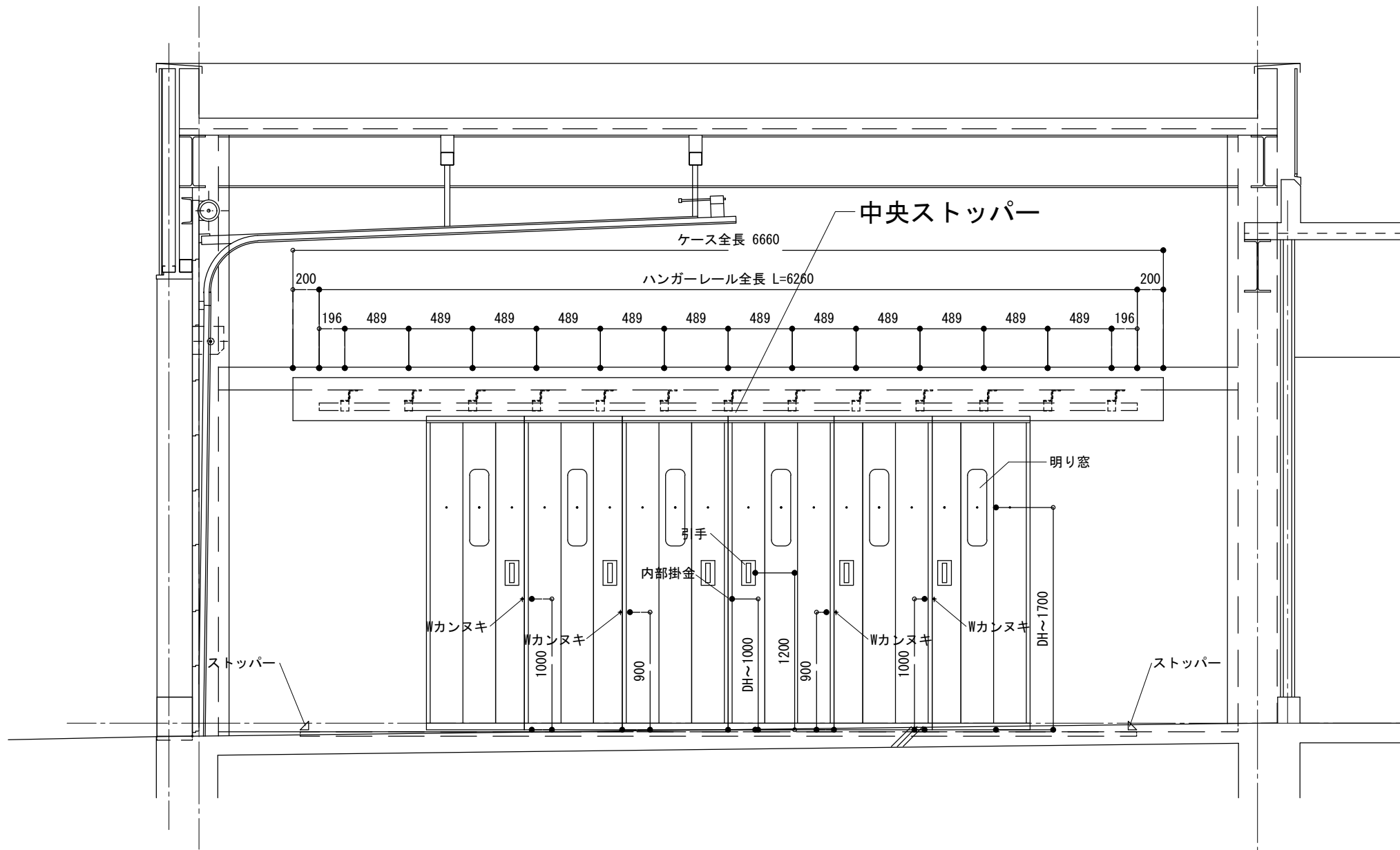


重量スライダー		耐風圧性能 1000 Pa		備 考「SP耐久回数：2万回」 明窓：t 3 アクリル サッシ：標準
パネル	7R2 (AL)	色	7-チタニウム	
納まり	スタンダード形 (STD-A)	ウェザー	H型 (WS=30mm)	
操作方法	チェーン式	レール・アングル	レールのみスライド	

摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社 熊沢構造設計事務所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-31
	・			R7.8			
	・	図 面 名	オーバースライダー (OS-1) 詳細図（１）	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088 (849) 2700 高知県第266号		
	・			A2 1:40			



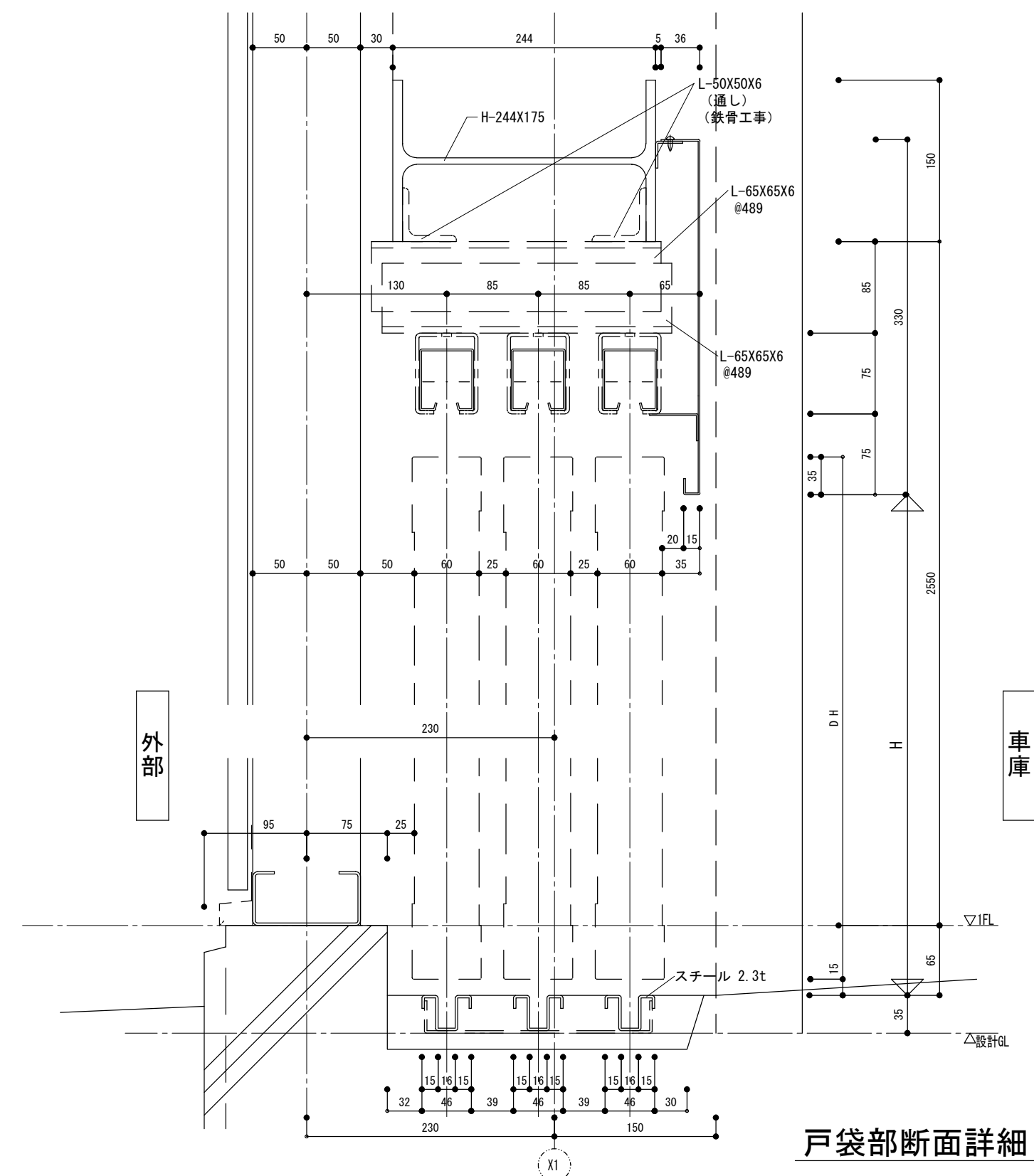
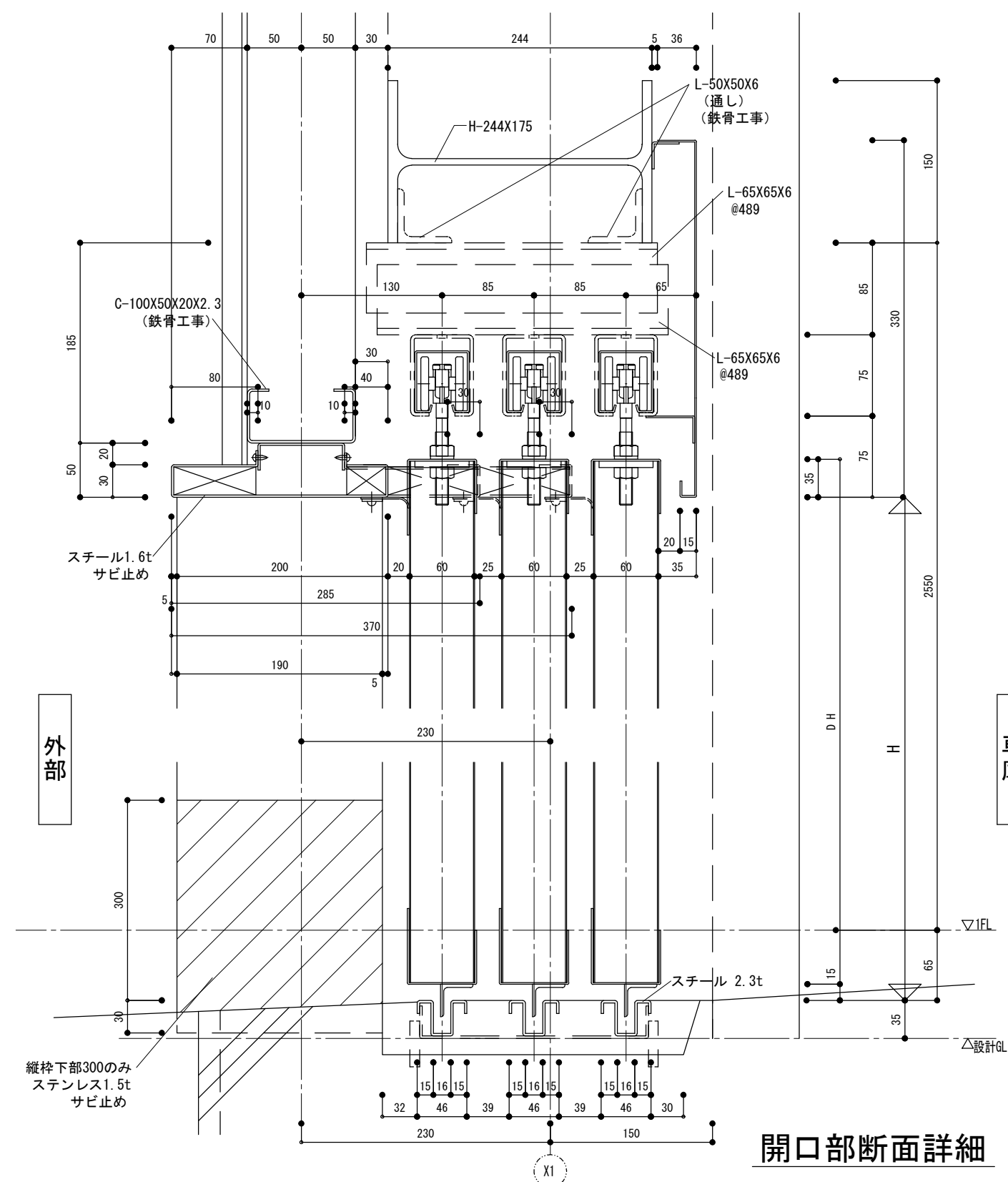
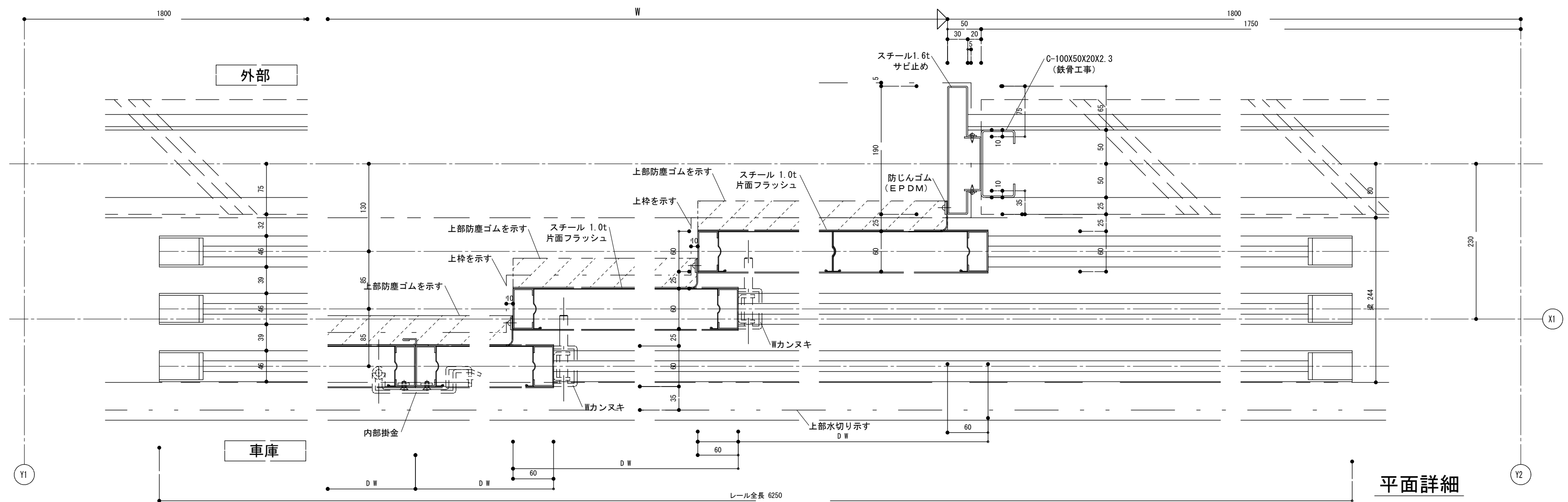
摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7. 8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-32
	・						
	・						
	・						
		図 面 名	オーバースライダー（OS-1）詳細図（2）	縮 尺 A2 1:5	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088 (849) 2700 高知県第266号		



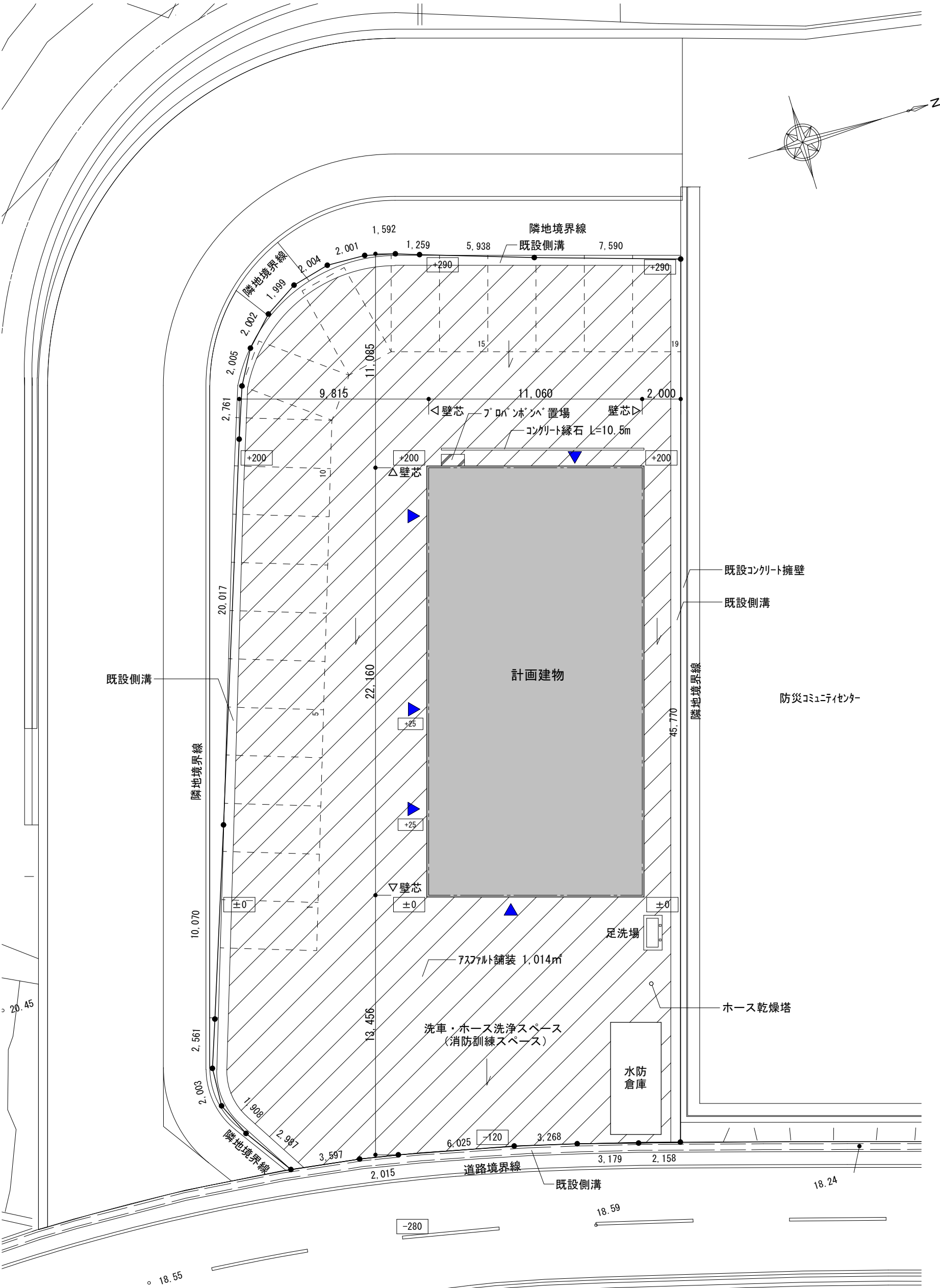
※中央戸当りは扉1枚につき1つ必要です。但し、片引きの場合は戸尻部分には不要です。
中央戸当りが付く場合は、吊り金具ピッチが変更になるため注意願います。

SPハンガードア		金具品名	メーカー品番	備 考	オプション
		ハンガーレール	ダイケン N20		・防塵ゴム付き
パネル	スチール1.0t	ハンガーローラー	ダイケン N20		・明り窓付 (アクリル3t)
ガイドレール	スチール	ブラケット	ダイケン N20		
錠		中央戸当り	ダイケン N20		
		両面引手	当社標準		

摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会 社	熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号	図面番号 A-33
	・			R7. 8				
	・	図 面 名	ハンガードア (SD-1) 詳細図（ 1 ）	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088 (849) 2700 高知県第266号	一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔		
	・			A2 1:40				



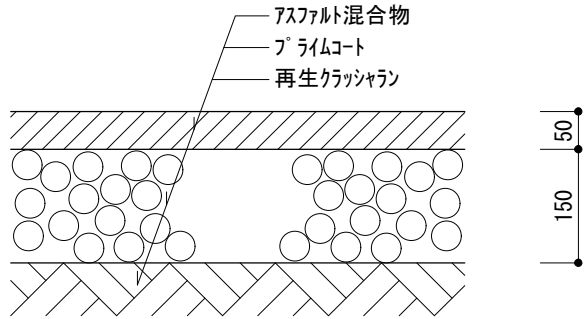
摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会 社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-34
	・			R7.8			
	・	図 面 名	ハンガードア(SD-1)詳細図（２）	縮 尺			
	・			A2 1:5			



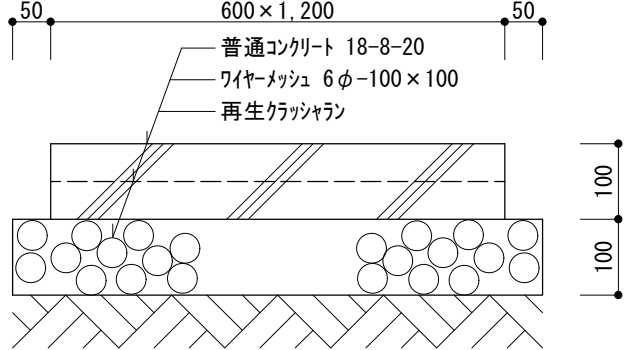
外構平面図 S=1:200

±0 : 設計GLからの高さを示す
(設計GL=TP+18.86)

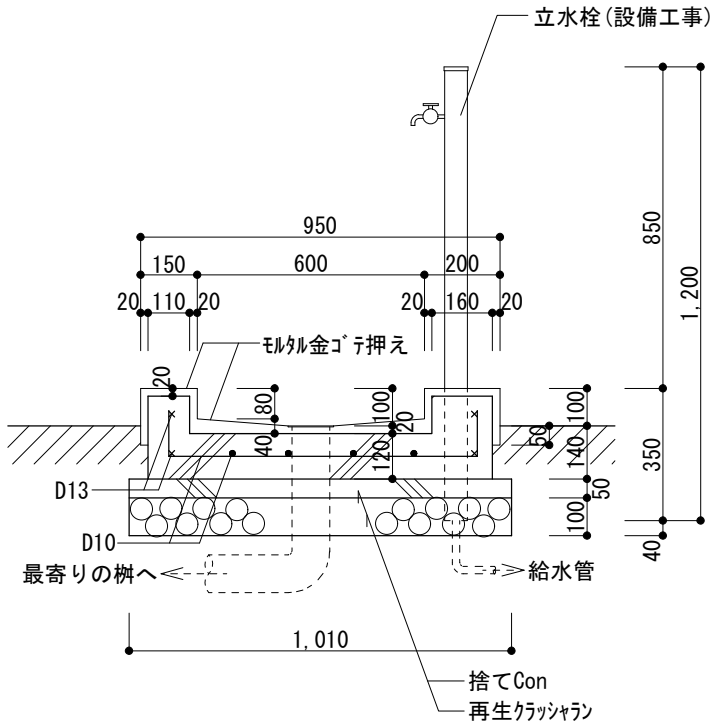
アスファルト舗装 1:10



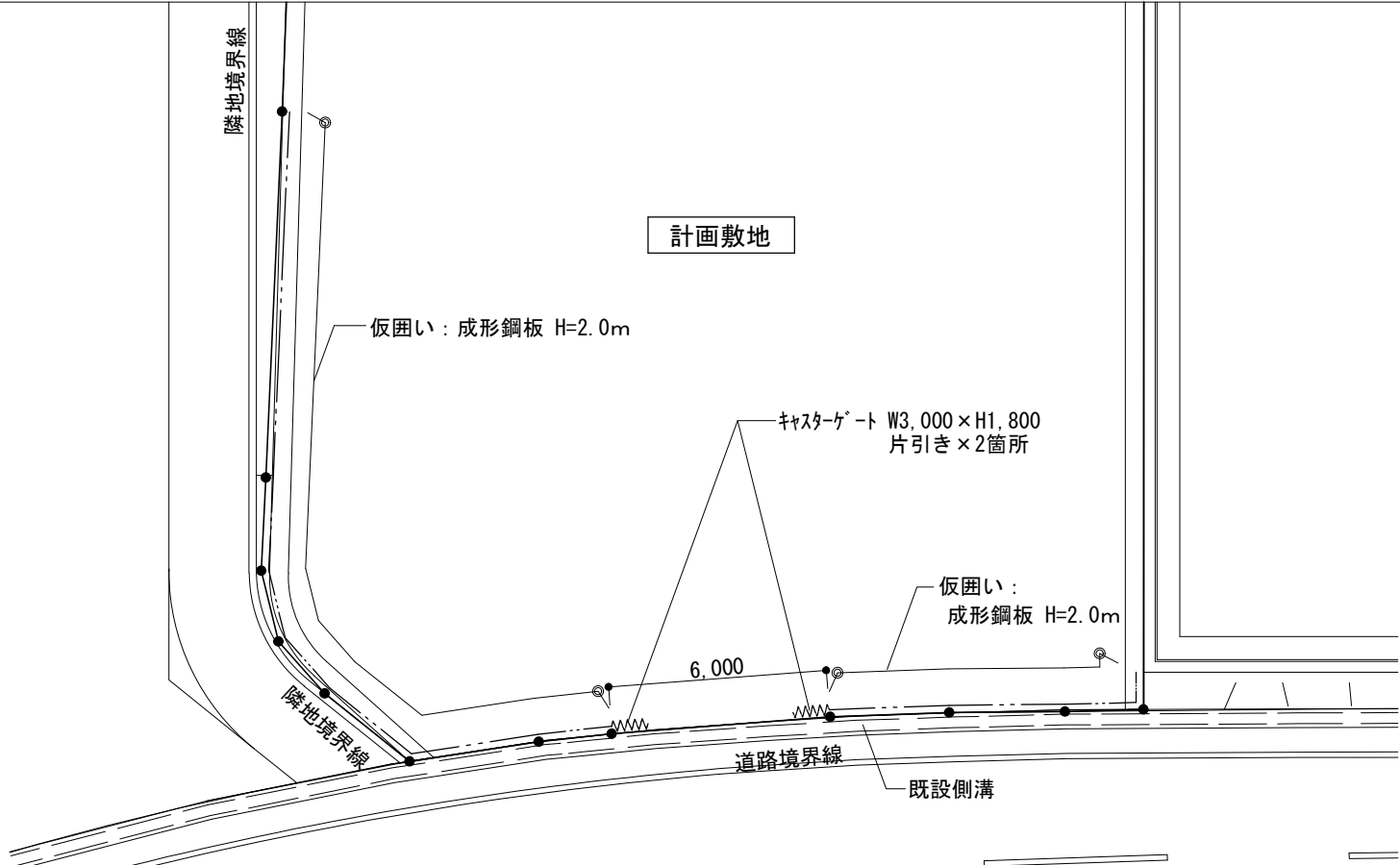
ブロック舗装 置場 1:10



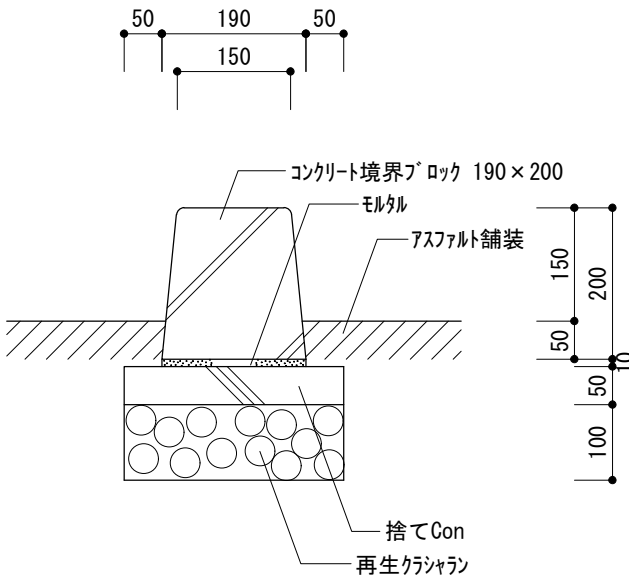
足洗場 1:20



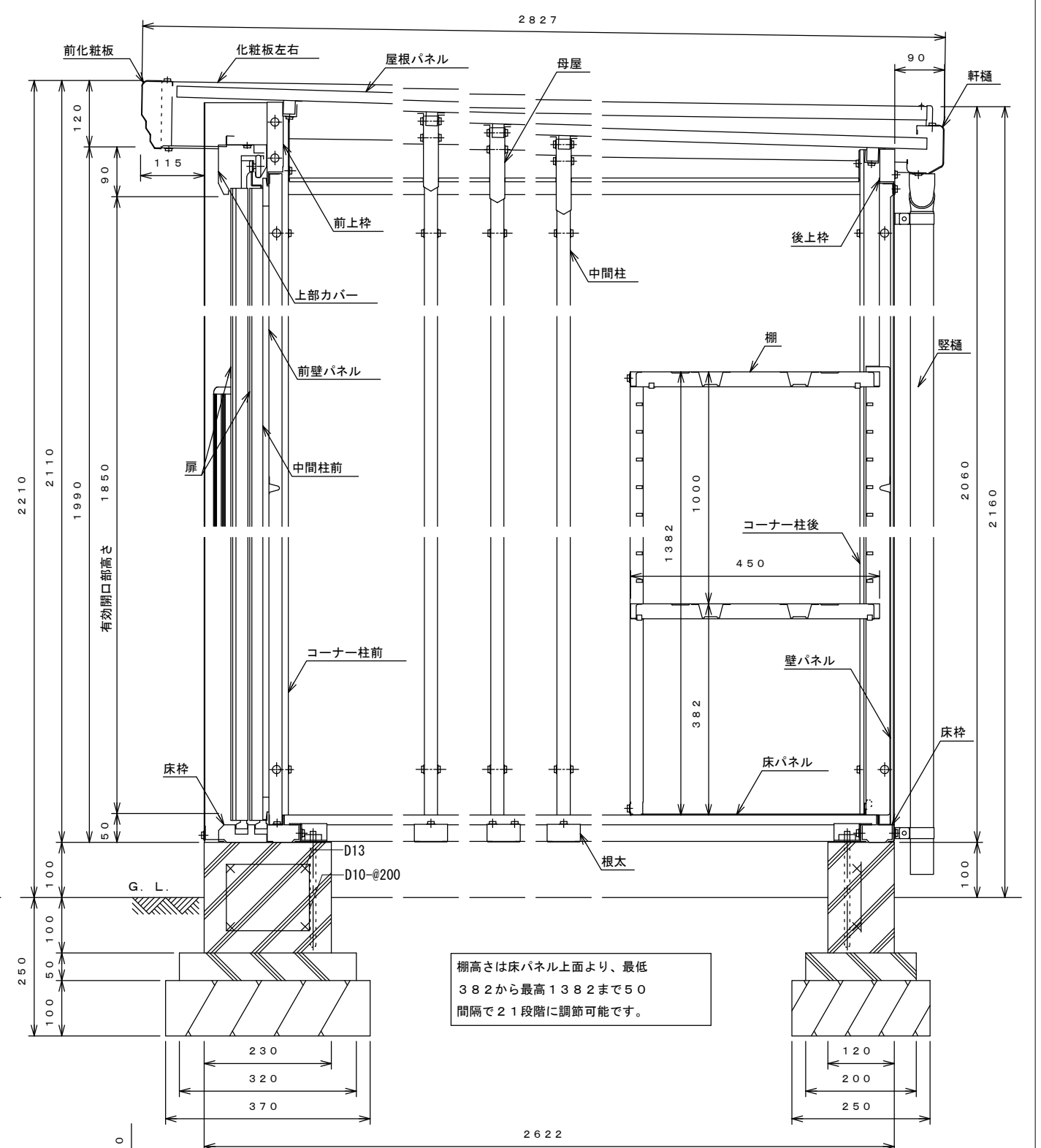
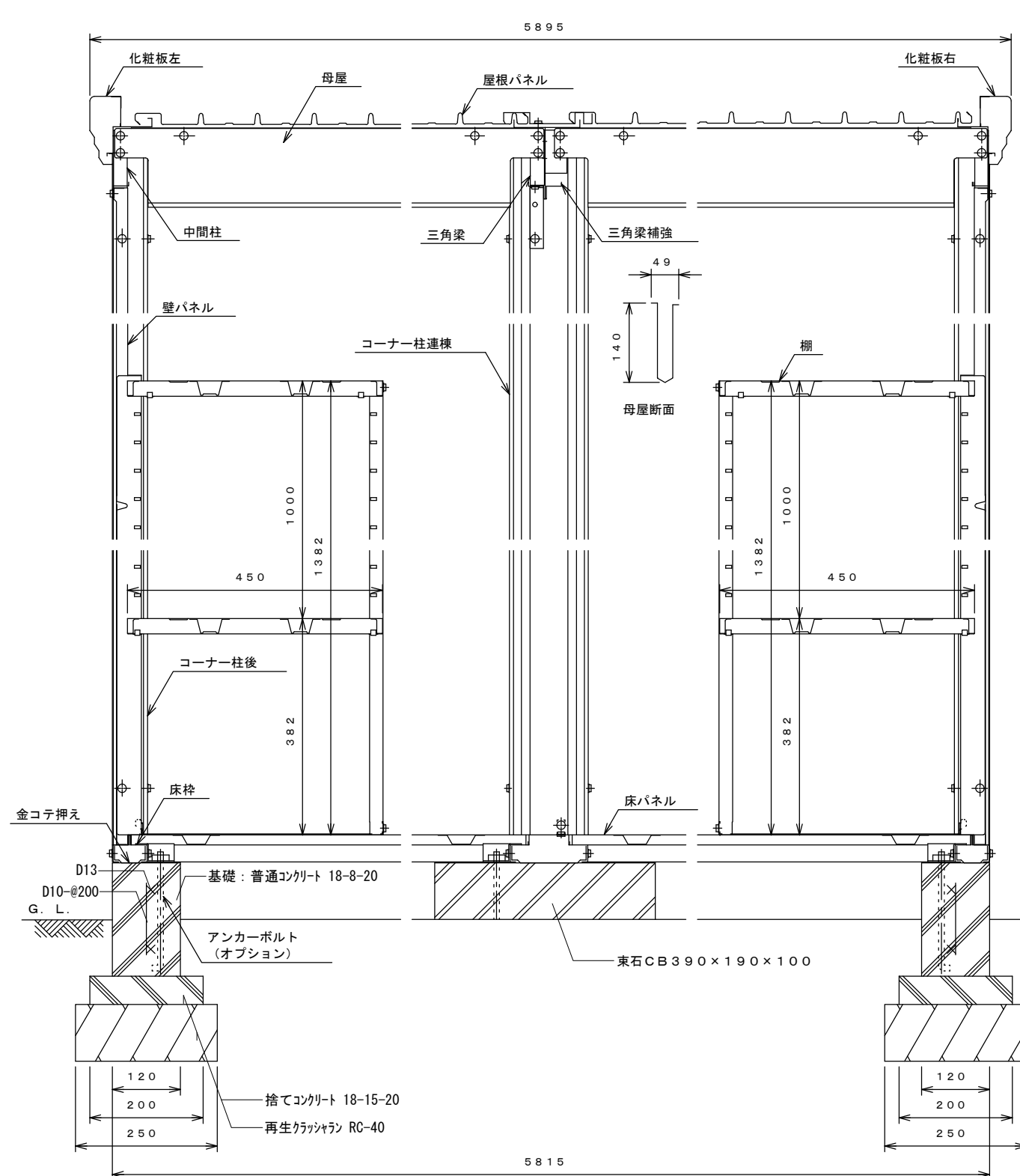
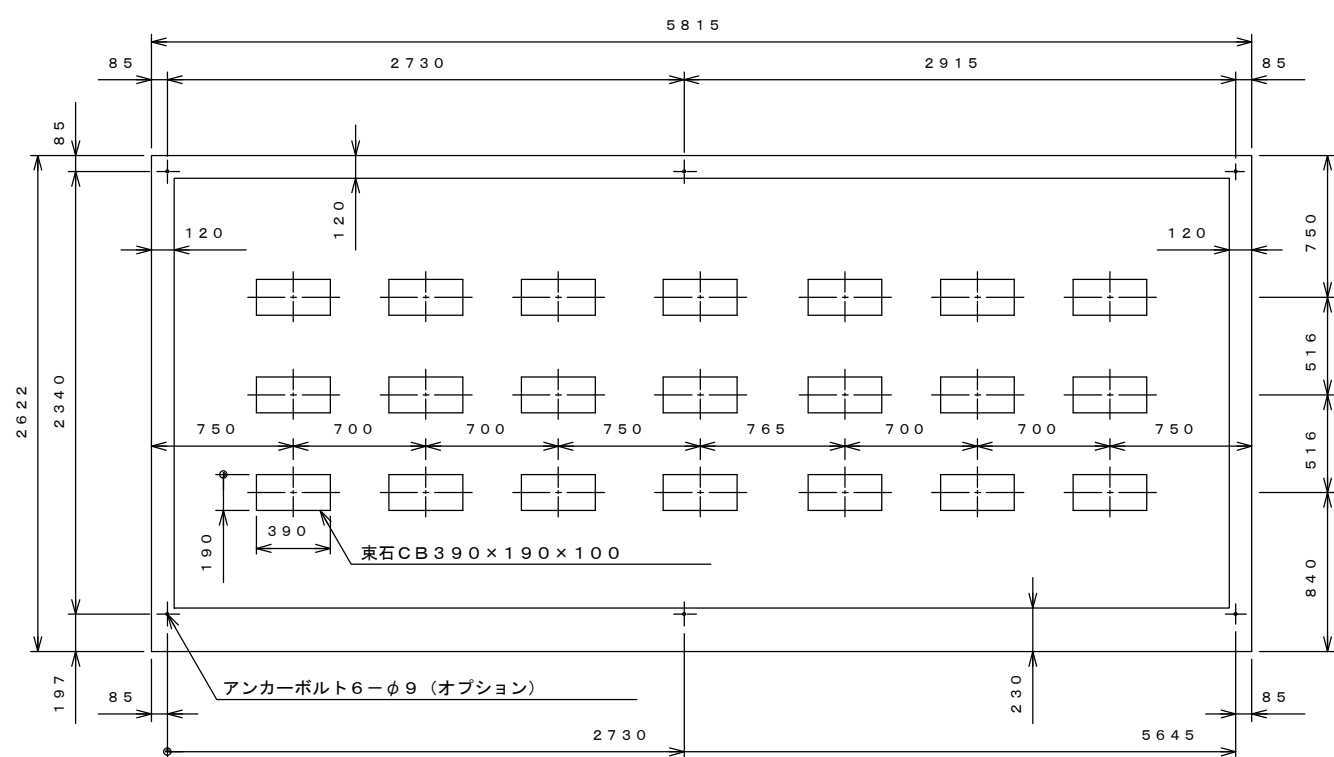
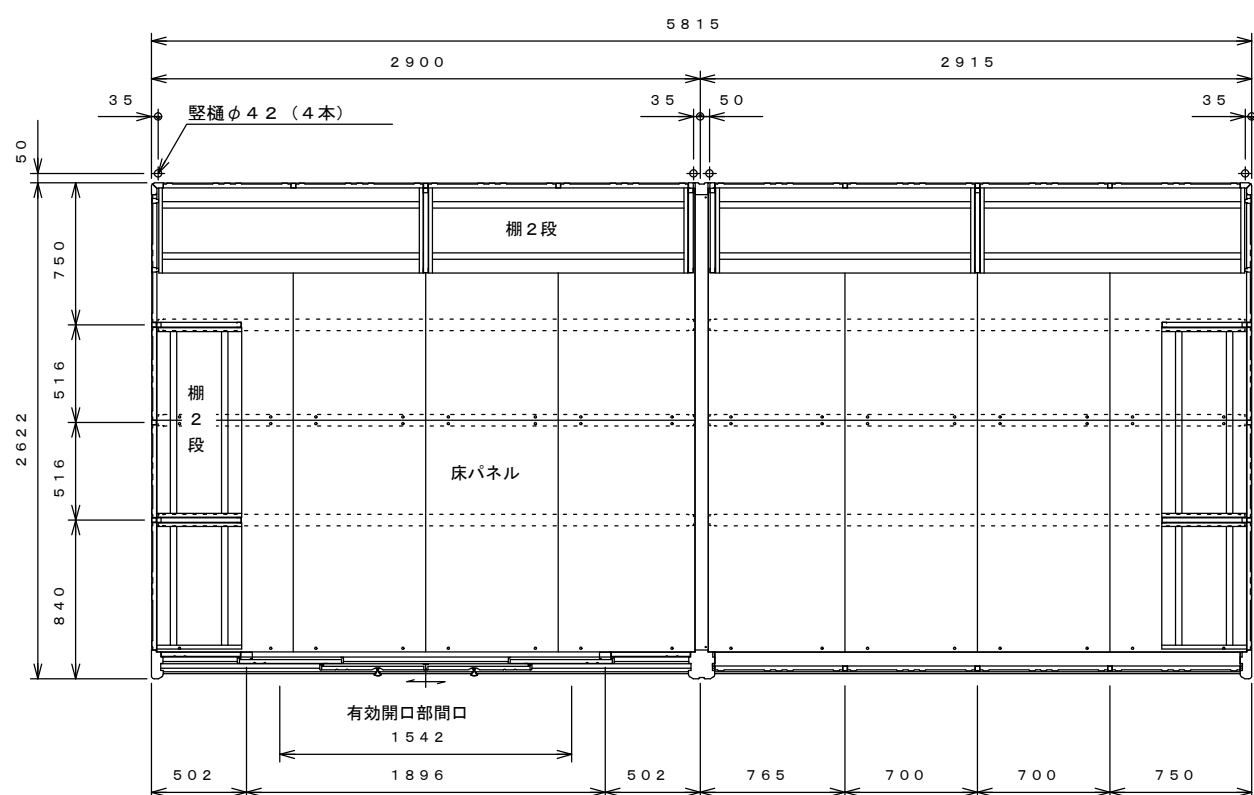
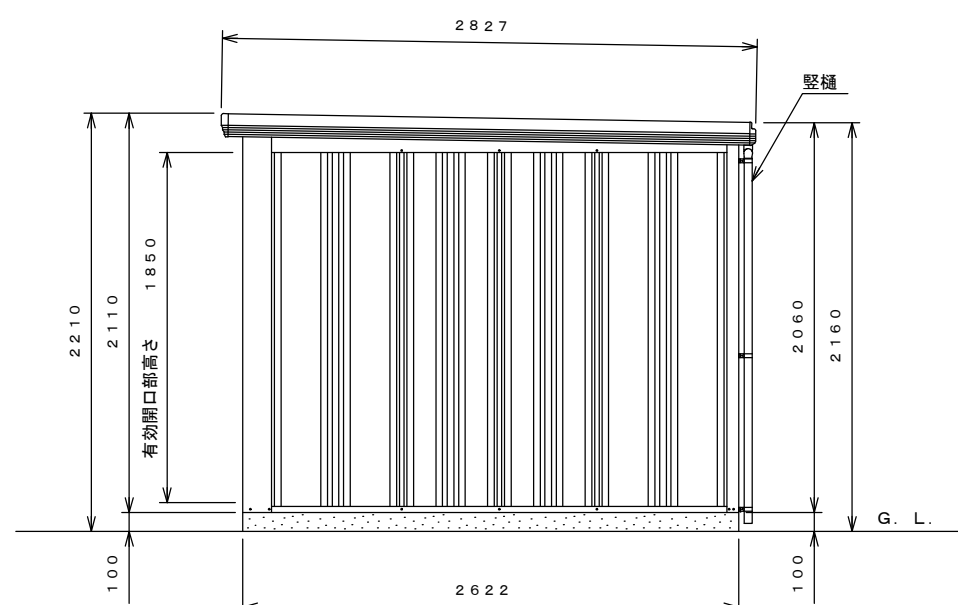
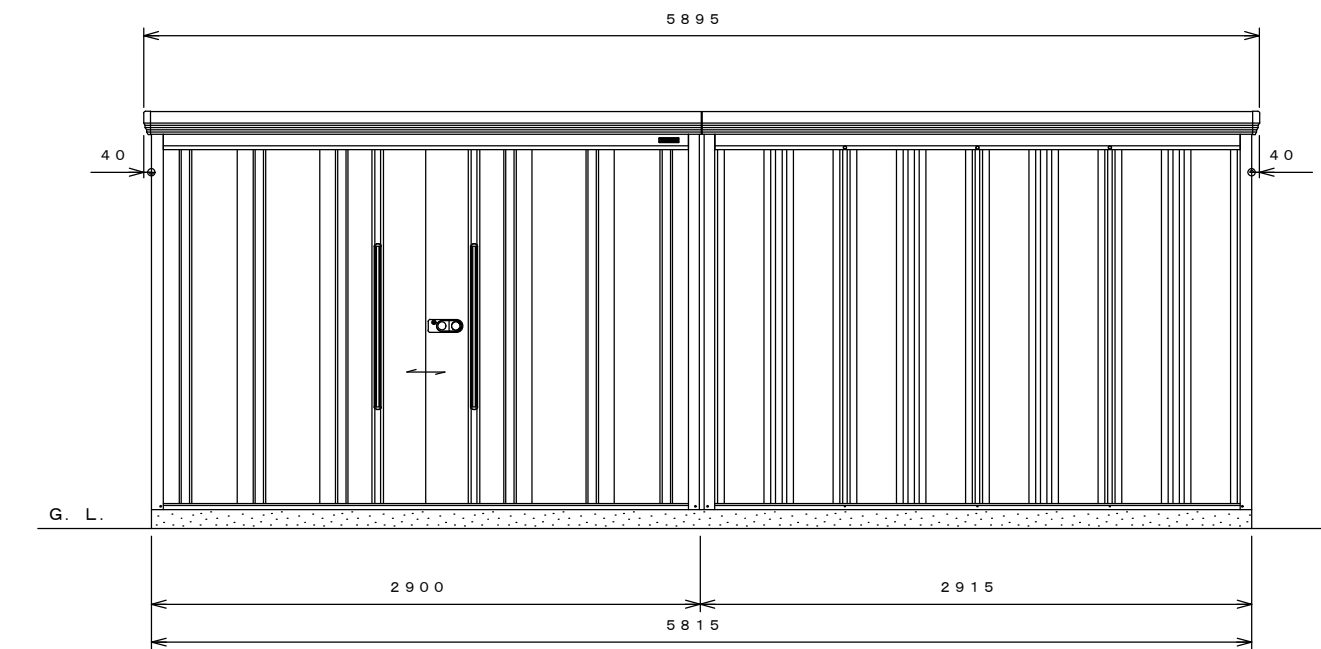
仮設計画図 1:200



コンクリート縁石 1:10



摘要	・	工事名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年月日 R7.8	有限会社 熊沢構造設計事務所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊沢敬輔	図面番号 A-35
	・						
	・						
	・						
		図面名	外構平面図・詳細図	縮尺 A2 1:300	高知県高知市朝倉丙1414-36 高知県第266号	TEL088(849)2700	



品 名	サ イ ズ	材 質	仕 上 げ
床枠	t 1. 0	Z A M	ポリエステル系樹脂塗装
根太	t 0. 8	〃	〃
コーナー柱 前	t 0. 6	〃	ポリエステル系樹脂塗装
コーナー柱 後	t 0. 8	〃	〃
コーナー柱連棟	t 0. 8	亜鉛鉄板	〃
中間柱 前	t 0. 8	Z A M	〃
中間柱左右後	t 1. 2	〃	〃
後上枠	t 0. 8	〃	〃
母屋	t 1. 0	〃	〃
三角梁	t 1. 2	亜鉛鉄板	〃
三角梁補強	t 1. 2	〃	〃
化粧板左右	t 0. 6	Z A M	〃
前上枠	t 1. 0	〃	〃
壁パネル	t 0. 4	亜鉛鉄板	〃
前壁パネル	t 0. 5	〃	〃
前化粧板	t 0. 6	Z A M	〃
軒樋	t 0. 6	〃	〃
屋根パネル	t 0. 4	ガルバリウム鋼板	ポリエステル系樹脂ロールコート
床パネル	t 1. 0	亜鉛鉄板	ポリエステル系樹脂塗装
扉	t 0. 6	〃	〃
上部カバー	t 0. 6	Z A M	〃
棚	t 0. 6	亜鉛鉄板	〃
竖樋	φ 4 2	A A S 樹脂	〃

注. 前壁パネルと扉はメタリック塗装の場合、仕上げはアクリル系樹脂塗装となります。

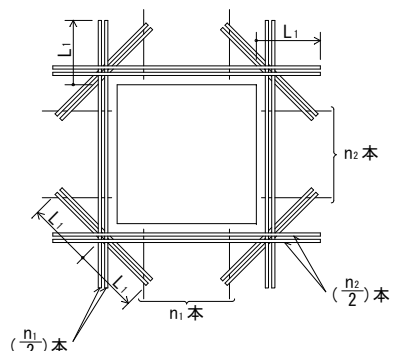
注1：扉は左棟、右棟の入れ替えできます。
注2：上記の側面断面図は扉側を示しています。
注3：床下が土間の場合、排水処理を施すこと。

摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 A-36
	・			R.7.8			
	・	図 面 名	水防倉庫詳細図図	縮 尺			
	・			A2 1:40 1:10			

建物概要等		1.4 記号等		構造関係共通図(配筋標準図)		鉄筋の加工		(イ) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d（軽量コンクリートの場合は50d）と表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。		表3.4 鉄筋の投影定着の長さ			
1. 建物概要等		図面で使用する記号等は、表1.1～表1.8、図1.1を標準とする。		1 鉄筋の加工		鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。		(イ) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。 ただし、スラブ筋で D16以下の場合及び壁筋の場合は除く。		(注) 1. La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。） 2. Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持小梁及び片持スラブを除く。） 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。			
構造概要		表1.1 異形鉄筋の断面表示記号		表1.2 各階伏図における記号		表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径		表3.2 隣り合う継手の位置		鉄筋の投影定着の長さ			
構造種別		区分 径 D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32 建築 ○ × ∅ ○ ○ ⊙ ⊗ ⊙		記号 説明 記号 説明 S [※] スラブの配筋種別 ⊕ 杭の位置 ◇ スラブ厚さ ● 試験杭の位置 ○ 階段の配筋種別 ▨ 打増しの範囲 D [※] 土間コンクリート ⊠ スラブ開口 ▤ コンクリートブロック壁（CB壁） ⊕ ポーリング位置 ▨ 梁・スラブの上がり下がり範囲 (±) FLからの上がり下がり EW○○ 耐力壁の種別 W○○ 一般壁の種別 EKW○○ 片持スラブ形階段を受け、かつ 片持スラブ形階段を受け、 耐力壁の種別 KWO○○ かつ一般壁の種別 ERW○○ 土圧を受け、かつ耐力壁の種別		折曲げ内法直径(D) SD295、SD345 SD390 呼び名 D16 以下 D19 ～ D38 D19 ～ D38		フックありの場合 フックなしの場合 ガス圧接継手・溶接継手 カッパラー					
耐震構造方式		⊙ 直接基礎 ⊙ 独立 ・ 連続 ・ ベタ ・ ・ 杭基礎（・ 場所打ちコンクリート杭 ・ 既製コンクリート杭 ・ 鋼管杭 ・ ）		適用箇所は 図示による（ ）		180° 135° 90° 135°及び90° (幅止め筋)		重ね継手 ガス圧接継手 機械式継手		鉄筋の投影定着の長さ			
基礎方式		⊙ 直接基礎 ⊙ 独立 ・ 連続 ・ ベタ ・ ・ 杭基礎（・ 場所打ちコンクリート杭 ・ 既製コンクリート杭 ・ 鋼管杭 ・ ）		適用箇所は 図示による（ ）		3d 以上 4d 以上 5d 以上		鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
耐震安全性の分類		・ I類(1.5) ・ II類(1.25) ・ III類(1.0)						表3.3 鉄筋の定着の長さ		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
2. 構造設計条件等		計算方法		X方向 Y方向 備 考				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
許容応力度計算（令第82条各号+令第82条の4）【ルート1】		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
許容応力度等計算【ルート2】		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
保有水平耐力計算【ルート3】		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
限界耐力計算		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
その他の計算法（ ）		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
構造計算適合性判定機関（ ）		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
特別な検証法（時刻歴応答解析による）		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
大臣認定（認定番号）		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
指定性能評価機関（ ）		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
評価 ・ 高層評価 ・ 免震評価 ・ その他		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
（評価番号）		X方向 Y方向		X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する				鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。			
外力等		設計用一次固有周期（ 0.138 ）秒 地震地域係数(Z) Z= 0.10 ・ 0.9 ・ 0.8 ・ 0.7 地盤の種別 第(II)種地盤 Tc=(0.6)秒 標準せん断力係数 X方向 Y方向 一次設計 C0=(0.3) C0=(0.3) 二次設計 C0=() C0=() 風圧力(施行令第87条) 地表面粗度区分 基準風速(V0) 速度圧(q) ・ I・II⊙III・IV (38)m/s 1.035 N/m ² 風圧力(施行令第82条の4) 地表面粗度区分 基準風速(V0) 速度圧(q) ・ I・II⊙III・IV (38)m/s 1.725 N/m ² 区域 ・ 多雪区域 ・ 多雪区域以外 (特定緩勾配屋根 ・ 有 ・ 無) 設計垂直積雪量 (10)cm 単位荷重 (20)N/m ² /cm 積雪荷重 垂直積雪量の低減 ・ 低減する ⊙低減しない 積載荷重等 図示()による		備考						鉄筋の定着		鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。	
3. 軽微な変更への対応（あらかじめの検討）		施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更等（位置の変更） 施工誤差を考慮して構造耐力上支障がない検討が行われている部分 ・ くいのみずれを考慮した検討 許容誤差（ ）mm以内 ・ はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討 ・ 小ばりの位置の変更を見込んだ大ばり等の検討 ・ 大きさの変更を見込んだスラブ等の検討（屋根板版含む） ・ 壁開口の位置の変更を見込んだ検討 ・ スラブの開口及び段差の変更を見込んだ検討 ・ 間柱の位置の変更を見込んだ検討		現場溶接 全周溶接 全周現場溶接 引出線 基準線 引出線 基準線 (折線) 60° 60° 60° ※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。		表1.8 溶接の補助記号 区分 補助記号 現場溶接 全周溶接 全周現場溶接 断続溶接の長さ及び間隔 断続溶接の長さ L - P		表1.5 高力ボルト径の記号 区分 径 M12 M16 M20 M22 M24 高力ボルト(F10T、S10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト(F81相当)		表1.6 普通ボルト径の記号 区分 径 M12 M16 M20 M22 M24 普通ボルト			
構造関係共通事項		1 総則		1.1 適用範囲		1.2 優先順位		1.3 用語の定義		4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
1.1 適用範囲		(1) 構造関係共通事項は、総則、構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図、耐震改修標準図、木造標準図）から構成される。 (2) 構造関係共通図（配筋標準図）は、鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。 (3) 構造関係共通図（鉄骨標準図）は、鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。 (4) 建築構造図に特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。		1.2 優先順位		(1) 設計図書の内容のうち配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。 1. 構造図 2. 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図、耐震改修標準図、木造標準図）		1.3 用語の定義		(1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。 柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。			
1.2 優先順位		(1) 設計図書の内容のうち配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。 1. 構造図 2. 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図、耐震改修標準図、木造標準図）		1.3 用語の定義		(1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。 柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。		4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔		(1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。 柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。			
1.3 用語の定義		(1) 構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通事項以外の図面をいう。 (2) 異形鉄筋の径（本文、図、表において「D、d」で示す）は、呼び名に用いた数値とする。 (3) 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。		(1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。 柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。		4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔		(1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。 柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。		4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			
構造関係共通事項（その1）		令和4年版		高知県土木部建築課		有限会社 熊沢構造設計事務所		図面番号		S-01			
令和7年8月		高知県高知市朝倉内1414-36 TEL088(849)2700		高知県第266号		構造設計一級建築士 第8611号		一級建築士 大臣登録 第318143号		熊沢 敬輔			
夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）		令和5年7月改正		熊沢 敬輔									

9.3 スラブ等の補強

(1) スラブ開口部の補強
スラブ開口部の補強方法は、構造図による。構造図になければ、(7) (イ)による。
(7) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9. 8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (φ=2L₁) シングルを上下筋の内側に配筋する。



(4) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(2) 屋根スラブの補強
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9. 9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

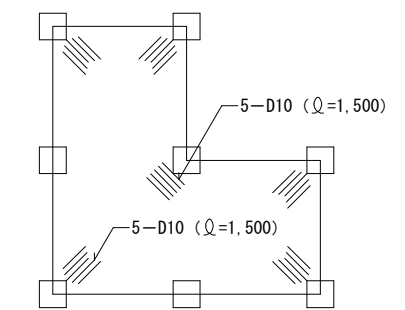


図9. 9 出隅及び入隅部の補強配筋

(2) 土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9. 10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブで S形の配筋によるものをいう。

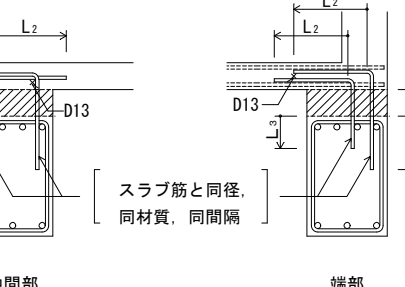


図9. 10 打継ぎ補強配筋

(4) 土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9. 11による。

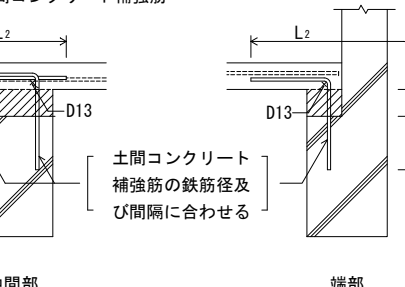


図9. 11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10. 1及び図10. 1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10. 1 片持スラブ形階段の配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

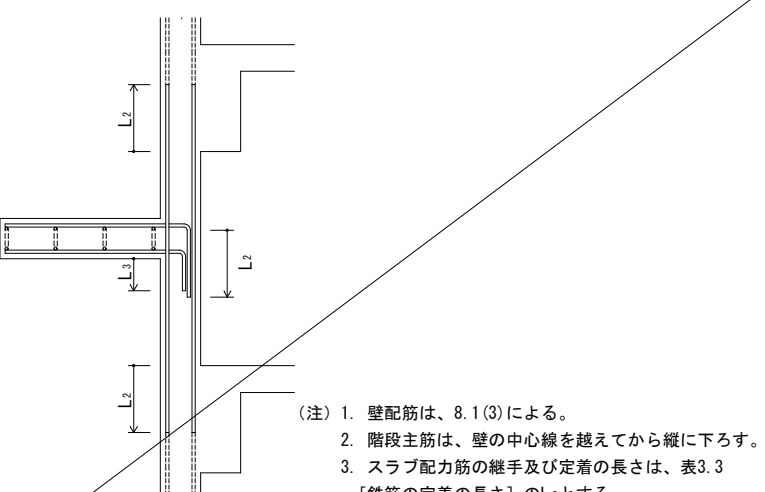


図10. 1 片持スラブ形階段配筋の定着

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は構造図による。二辺固定スラブ形階段の配筋は表10. 2並びに図10. 2及び図10. 3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。ただし、構造図になければ、二辺固定スラブ形階段は現場打ちコンクリート部材とする。

表10. 2 二辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB1	D13-200φ
KB2	D13-150φ
KB3	D13-100φ
KB4	D13, D16-150φ
KB5	D16-150φ
KB6	D16-125φ
KB7	D16-100φ

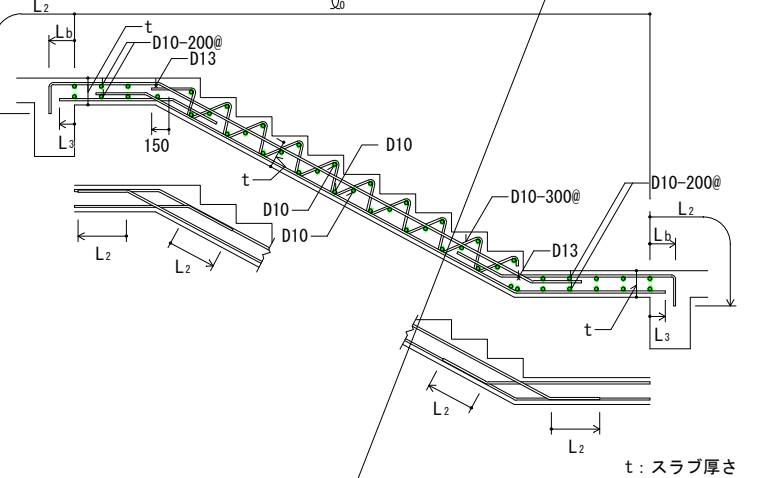


図10. 2 二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)

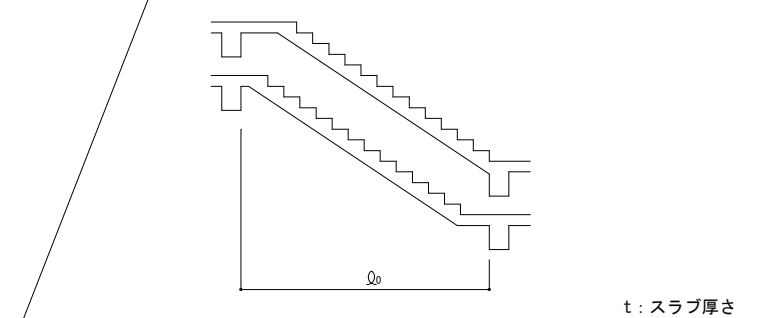


図10. 3 二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

11.1 梁貫通孔

(1) 梁貫通孔は、次による。
(7) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11. 1による。
(4) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
(7) 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部においては、梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲には孔を設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
(2) 孔は、柱面から原則として、1. 5D 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
(4) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の 3倍以上とする。
(2) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(4) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11. 2による。
(7) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、かつ、構造図に特記された場合は、補強を省略することができる。
(7) 溶接金網の余長は、1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
(2) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に 4箇所以上溶接する。
(7) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
(7) 他の開孔を設けない範囲は、図11. 3による。

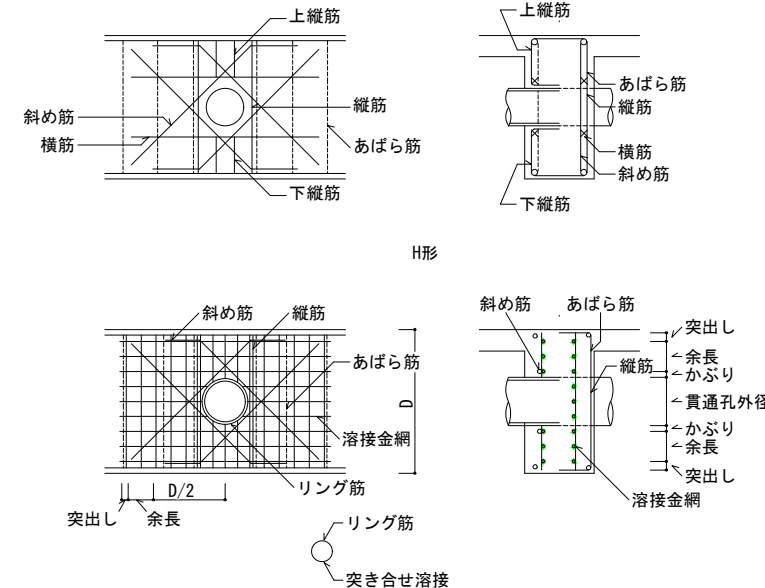


図11. 1 梁貫通孔補強筋の名称等

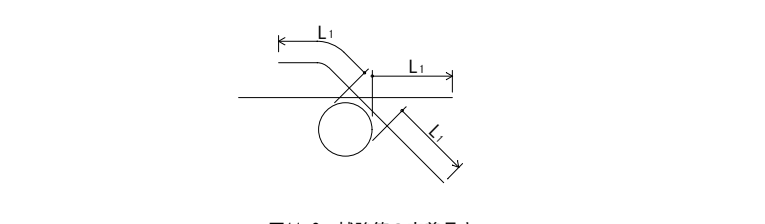


図11. 2 補強筋の定着長さ

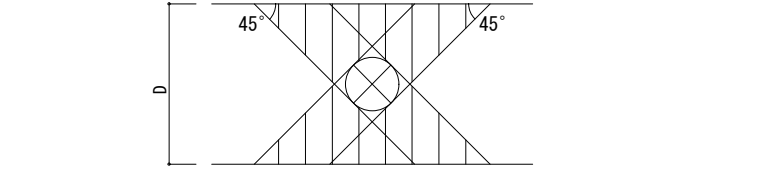


図11. 3 他の開孔を設けない範囲

(2) 梁貫通孔の補強形式は表11. 1～表11. 3により、配筋種別は構造図による。

表11. 1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

(注) は、一般部分のあばら筋を示す。

表11. 2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100φ	
M4	6-2-D13		

(注) は、一般部分のあばら筋を示す。

表11. 3 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100φ	
MH7	4-2-D19			

(注) は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

(1) 控壁は、次による。
(7) 控壁の配置は、構造図による。
(イ) 配筋は、図11. 4による。

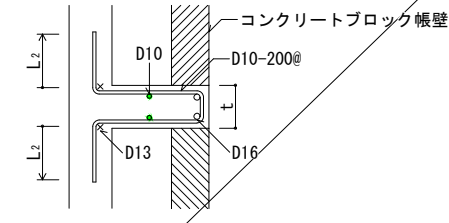


図11. 4 控壁の配筋 (水平、垂直とも)

(2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11. 5による。

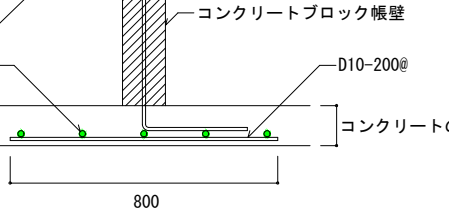


図11. 5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 パラベット

パラベットの先端補強筋は図11. 6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

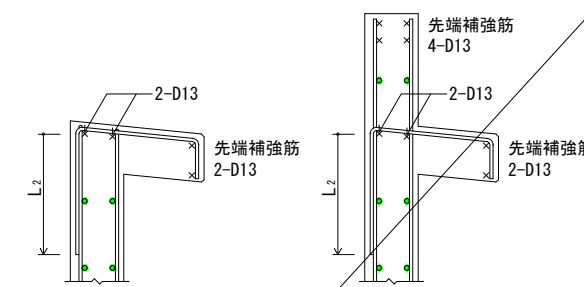
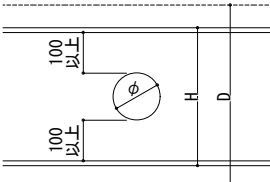


図11. 6 パラベットの先端補強筋

1-6 梁貫通孔補強

(1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。
(7) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
(4) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で 2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で 3倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度（単位：mm）

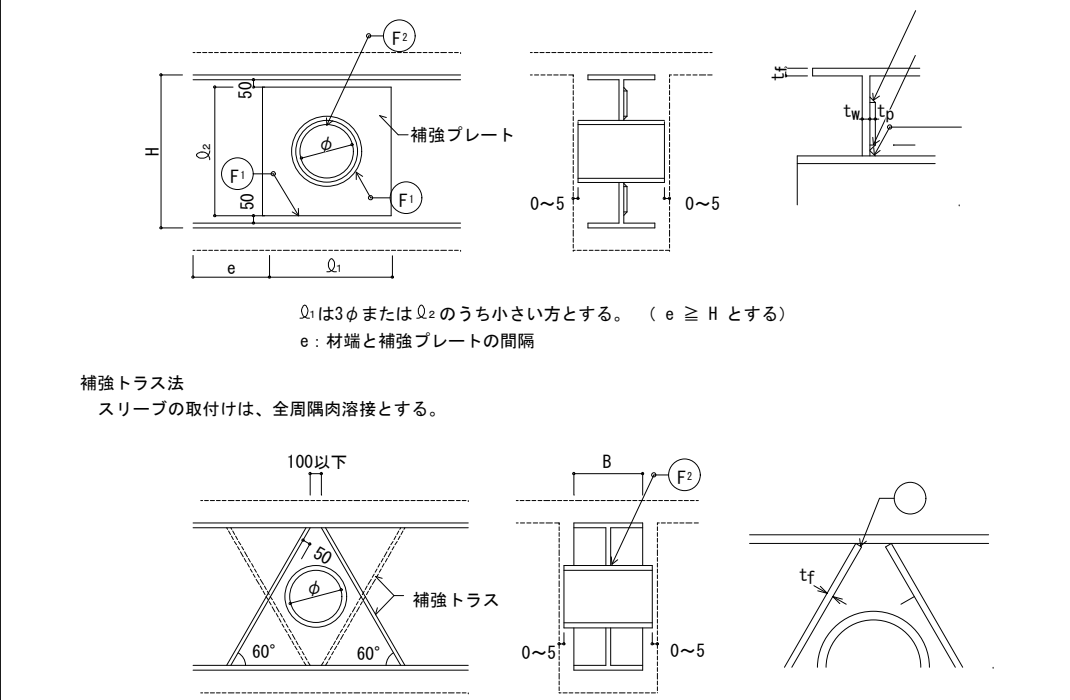


H：鉄骨せい
D：はりせい
φ：貫通孔内径寸法
(φ ≤ H/2かつφ ≤ D/3)

(2) 貫通孔の補強方法は、構造図による。
補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法

(7) 補強プレートが16mm以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
(4) 補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。



1-7 その他

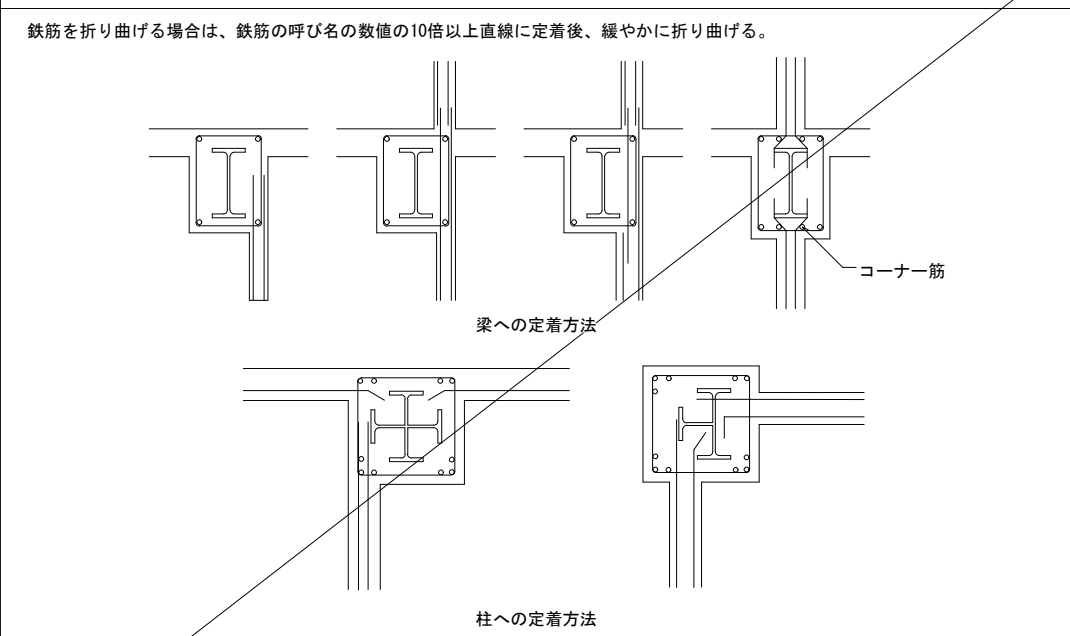
(1) 広幅平鋼の取り扱いについて
BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは、PL表記であっても FB又はPLとする。

(2) フィラープレートの材質
フィラープレートを使用する場合、材質はSS400とする。

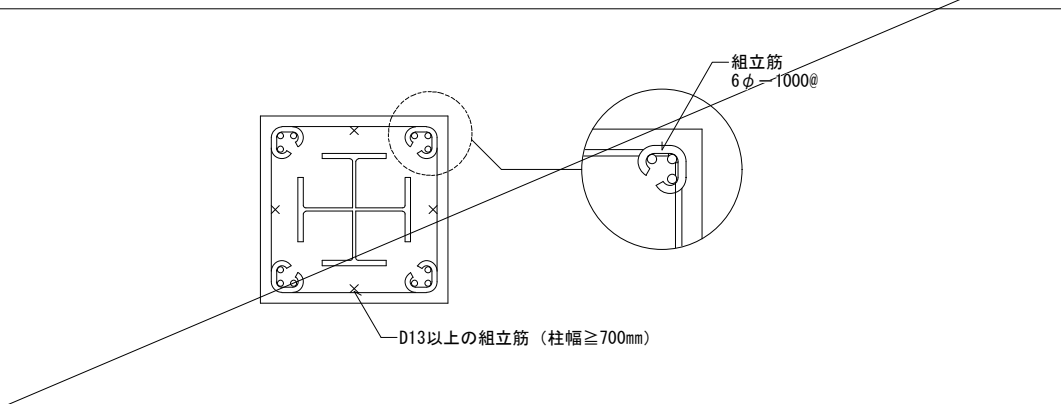
(3) BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートの適用幅及び厚さは下表による。

		厚さ										
		6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
幅	100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	300		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	350		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	400		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	450					○	○	○	○	○	○	○
500					○	○	○	○	○	○	○	

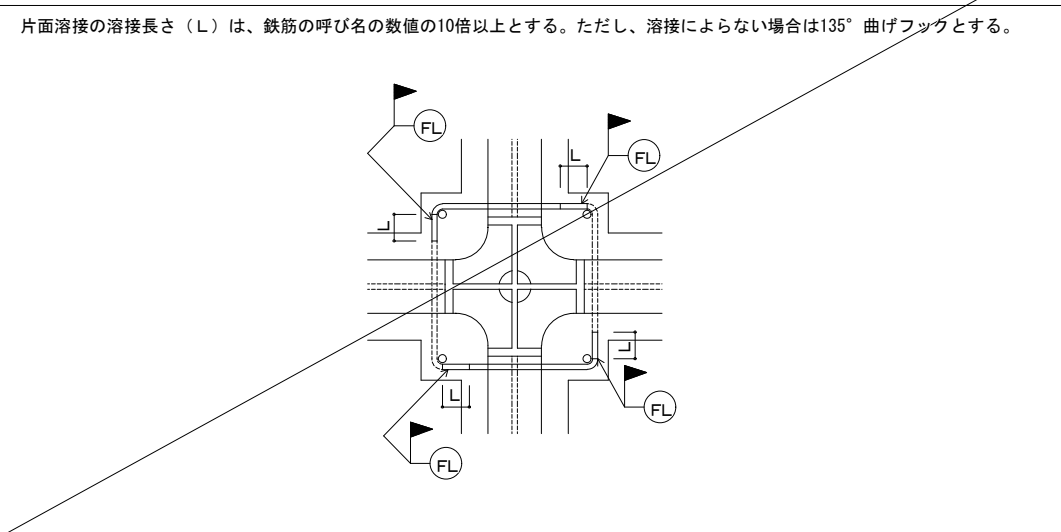
1-8 壁筋の周辺部材への定着



1-9 柱組立筋



1-10 仕口部内の帯筋の加工及び組立

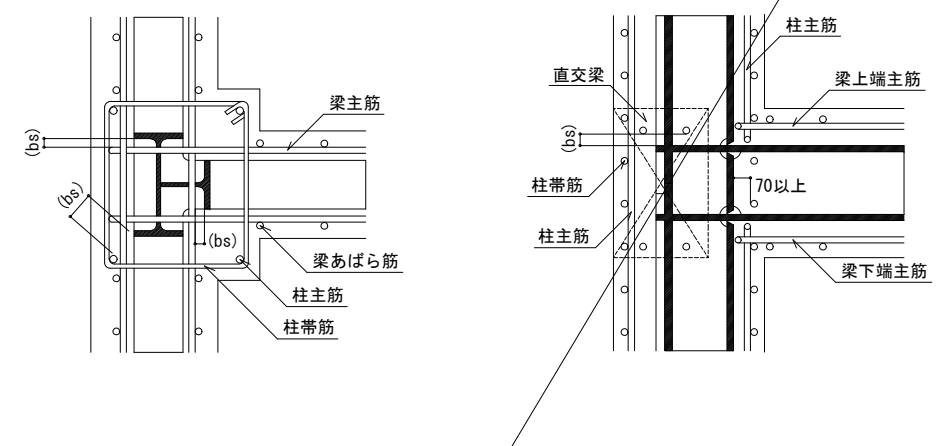


1-11 鉄筋貫通孔の径及び位置

鉄筋の貫通孔径の最大値は、下表による。

	（単位：mm）							
鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。



小梁下端主筋が貫通する場合

小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：mm）

(bs)：主筋と平行する鉄骨とのあき

1. 工法概要

1.1 構成部材

① アンカーボルト
② 注入座金
③ Mナット
④ ベースバックグラウト(グラウト材)
⑤ 定着座金
⑥ テンプレート

⑦ フレームポスト
⑧ フレームベース
⑨ ステコンアンカー(コンクリートアンカー)
⑩ ベースプレート

(注)上記①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑥～⑨は現場状況により仕様異なる場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要

グラウトロート
グラウト材
注入座金
注入栓(枕木等)

2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235 STKR400	
295	BCR295 TSC295	●

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質
SN490B [JIS G 3136]

形状 (イ) 形状 (ハ)

3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト) [建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料]

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

呼び	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	基準強度(N/mm ²)
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

単位 mm

注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

3.3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

単位 mm

3.4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

適用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	SS400
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

単位 mm

3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

単位 mm

3.6 フレームベース

i) Aタイプ

ii) Cタイプ

iii) 特Cタイプ

3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

タイプ	h寸法	W	J寸法
Aタイプ	90以上	50	50
Cタイプ※	90以上	65, 50	50
特Cタイプ	90以上	50	50

※枕頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状
形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。

単位 mm

●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋
SD295 (D13, D16)
SD345 (D19, D22)

4.2 配筋

配筋仕様は下表による。

※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。

基礎梁天端あるいはフーチング天端
立上り高さ

4.4 特記事項 上記内容によらない場合は下記による。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

図

柱心
e1
テンプレート
中心線
けがき線
アンカーボルト
e1: 柱心とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差
-2≤e1≤2
基準高さより誤差は
-3≤e≤10

6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。

ベースパックグラウト
約20mm
2/3程度

6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

摘要

・

・

・

・

工 事 名

夜須分団屯所新築工事 (建築主体工事)

図 面 名

ベースパック柱脚工法設計施工標準図

年 月 日

R7. 8

縮 尺

A2 1:-

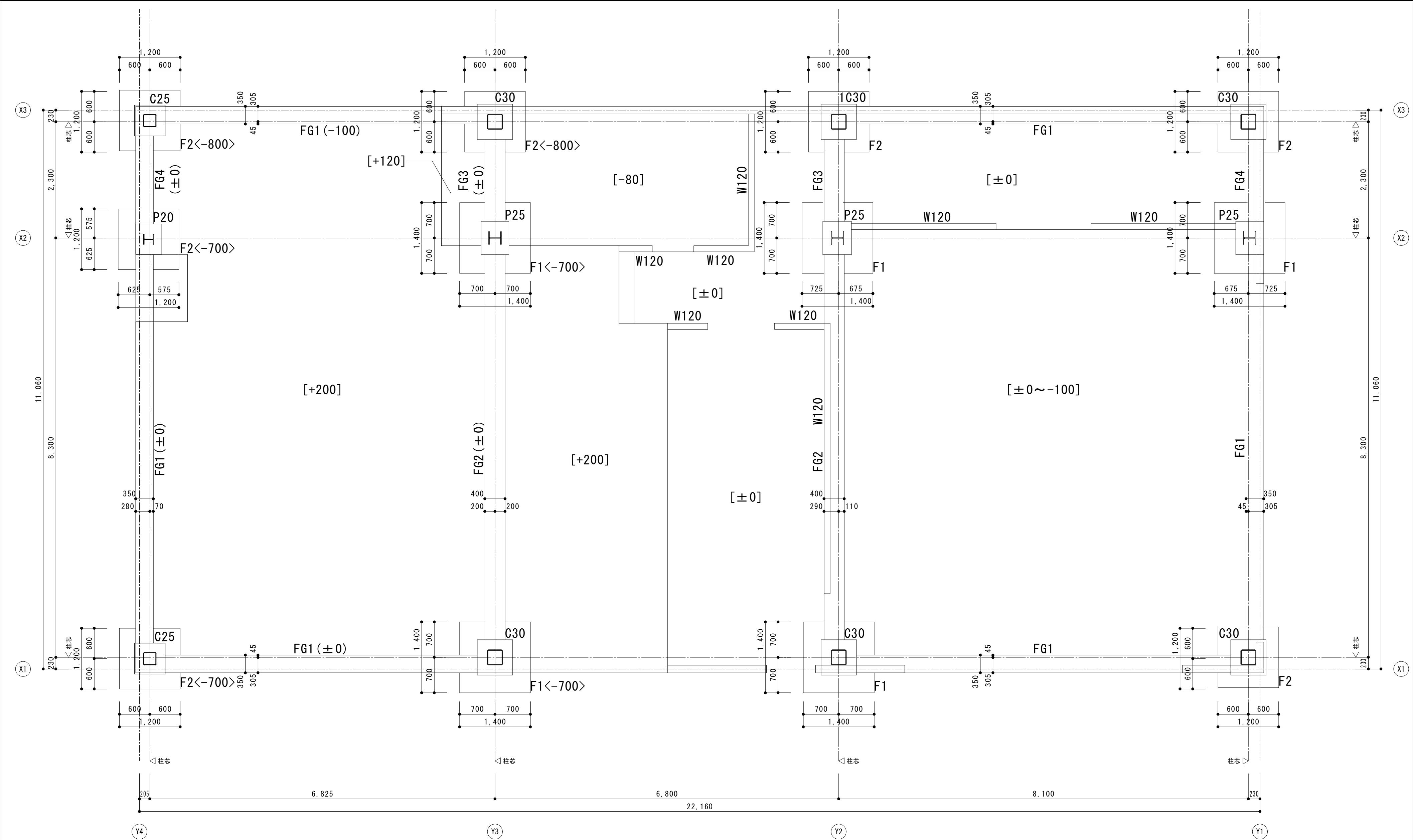
有限会社 熊沢構造設計事務所

高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849) 2700
高知県第266号

構造設計一級建築士 第8611号
一級建築士 大臣登録 第318143号
熊 沢 敬 輔

図面番号

S-07

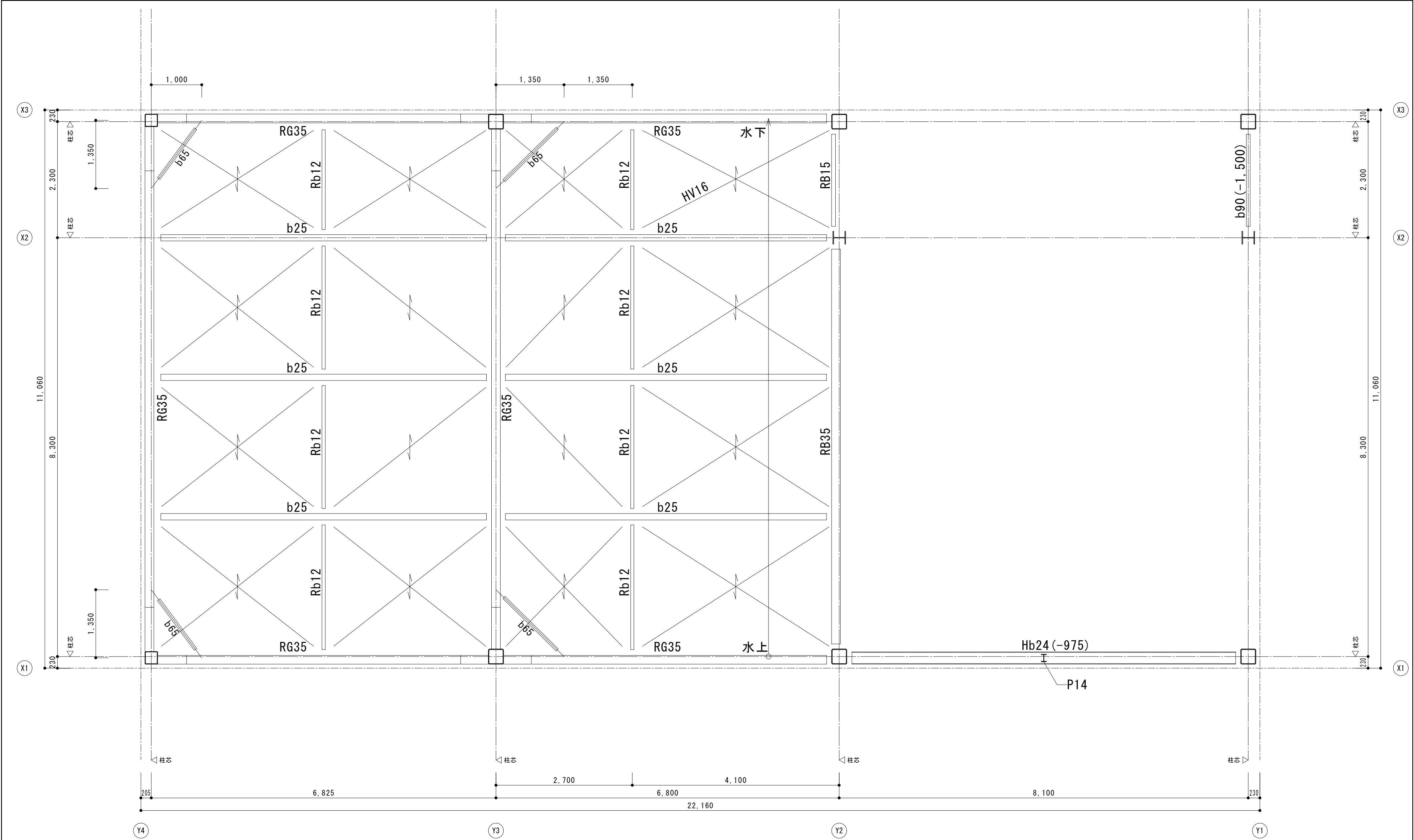


・地盤の長期許容支持力は、200 (kN/m²) を想定する (平板載荷試験により確認済)。

基礎・1階床梁伏図 S=1:50

- ・特記なき壁符号は、W150を示す。
- ・1FL=設計GL+100とする。
- ・基礎梁天端レベルは、1FL-300を示す。
- ・基礎下端レベルは、GL-1,000を示す。
- ・スラブは、土間コンクリートとする。
- ・ () 内数値は、1FLからの梁天端レベルを示す。
- ・ < > 内数値は、GLからの基礎下端レベルを示す。
- ・ [] 内数値は、1FLからのスラブ天端レベルを示す。

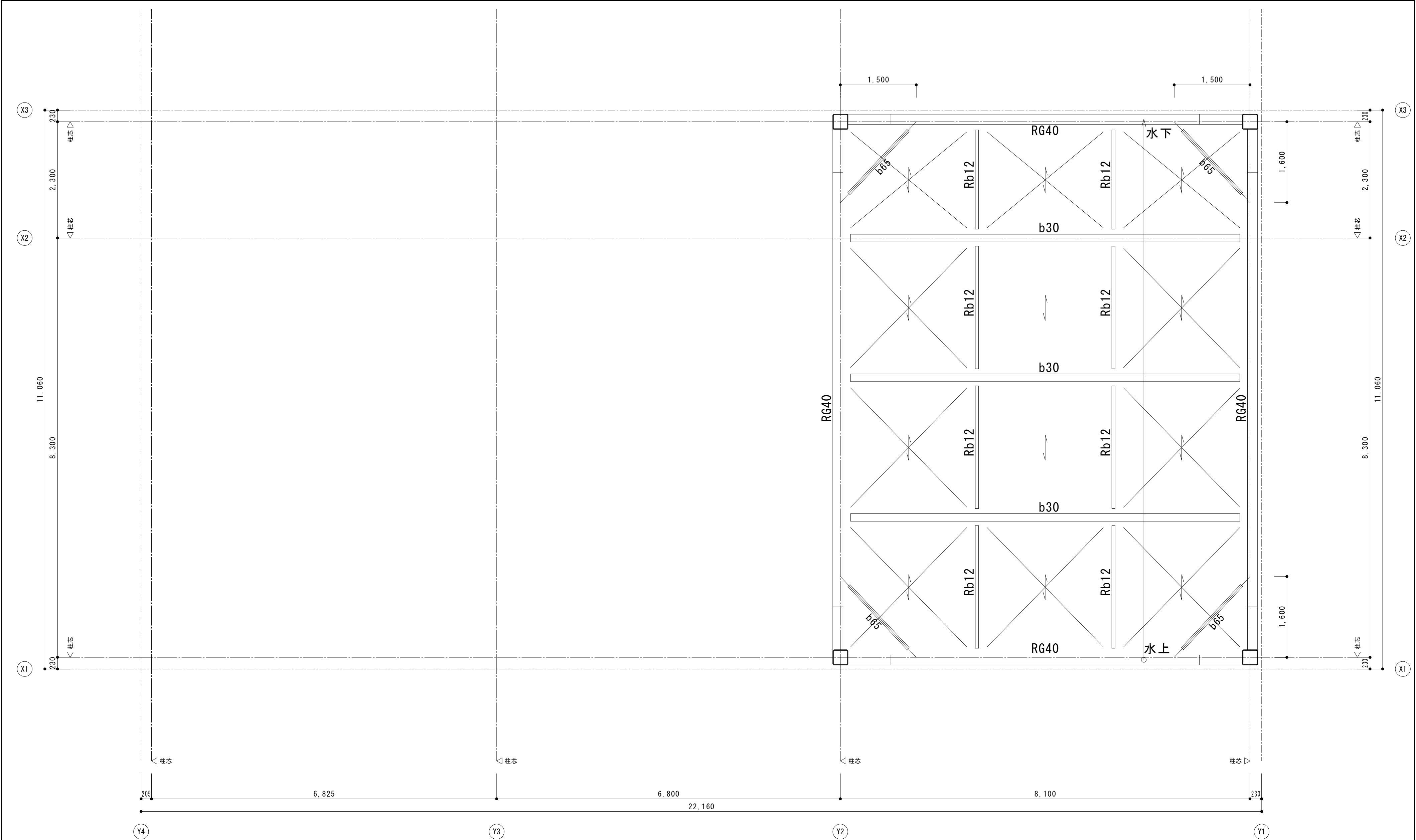
摘要	・	工事名	夜須分団屯所新築工事 (建築主体工事)	年 月 日 R7. 8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 S-09
	・						
	・						
	・						
		図 面 名	1階床梁伏図	縮 尺 A2 1:50	高知県高知市朝倉丙1414-36 高知県第266号	TEL088 (849) 2700	



RFL-1床梁伏図 S=1:50

- ・ RFL=水下鉄骨天端レベルとし、
- ・ 水上鉄骨梁天端レベルは、RFL+110とする。
- ・ ○ —→ は、スラブ勾配を示す。
- ・ 小梁位置は、等分割とする。
- ・ 水平ブレースは、HV16とする。
- ・ スラブは、日鉄ルーフデッキ (UA-R t=1.2) とする。
- ・ —→ は、デッキの敷設方向を示す。
- ・ b65は横補剛材とし、取付く大梁の中心に取り付けること。

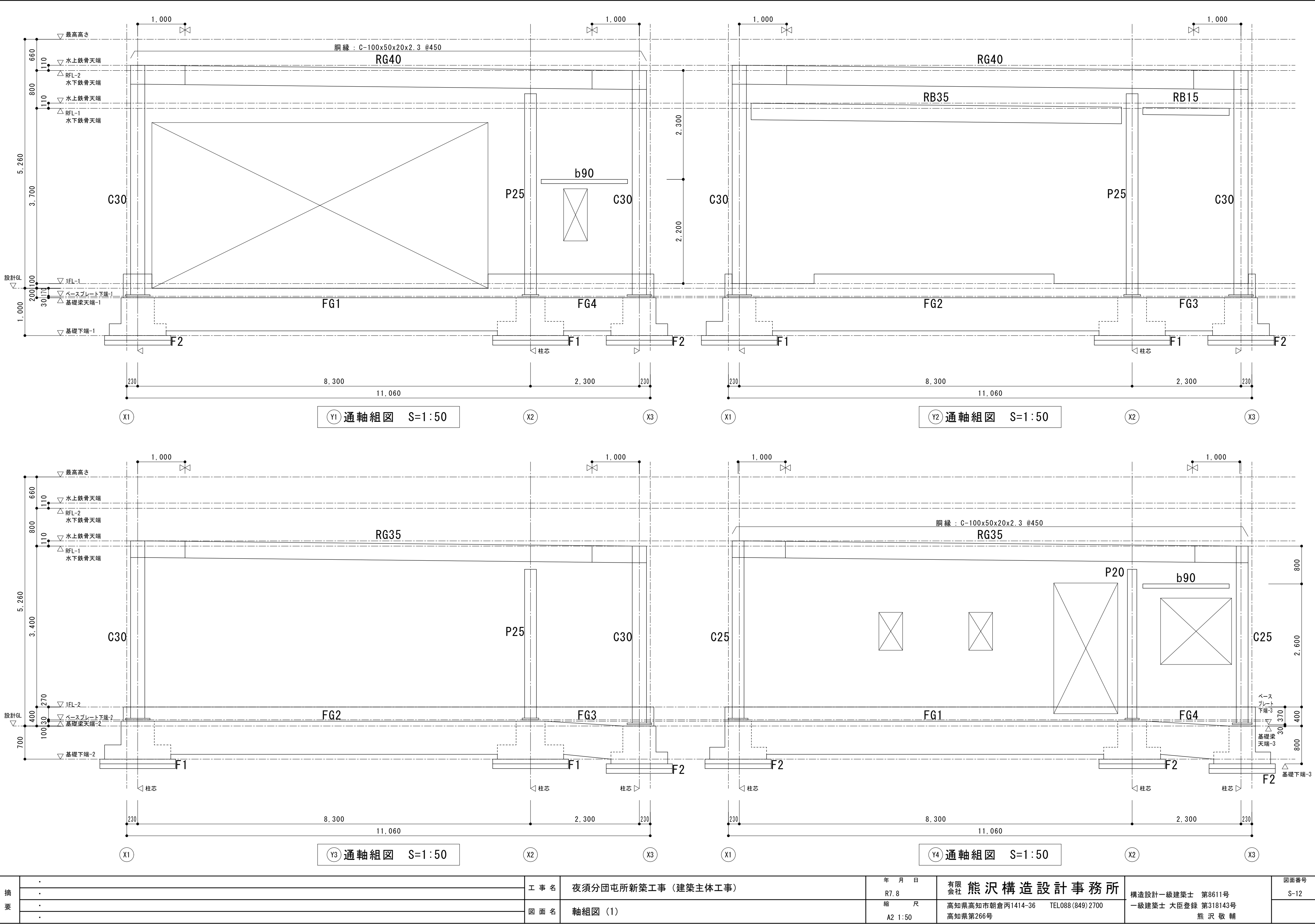
摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7. 8	有限 会社	熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 S-10
	・							
	・							
	・							
		図 面 名	RFL-1床梁伏図	縮 尺 A2 1:50		高知県高知市朝倉丙1414-36 高知県第266号	TEL088 (849) 2700	

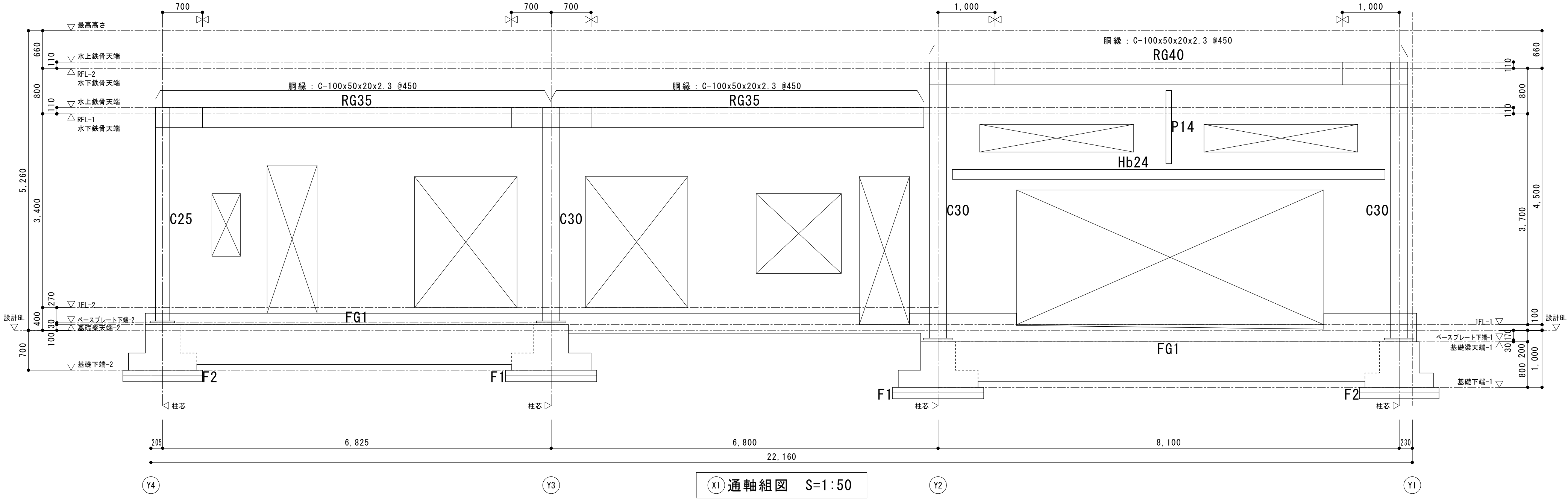


RFL-2床 梁伏図 S=1:50

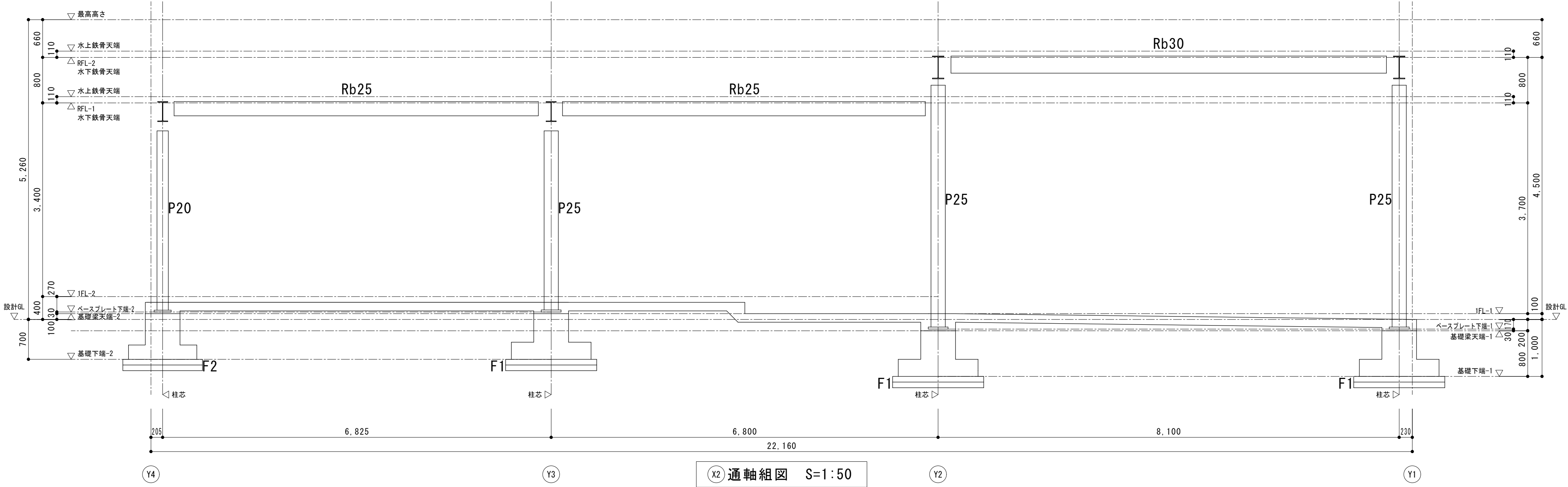
- ・ RFL=水下鉄骨天端レベルとし、
- ・ 水上鉄骨梁天端レベルは、RFL+110とする。
- ・ ○―→ は、スラブ勾配を示す。
- ・ 小梁位置は、等分割とする。
- ・ 水平ブレースは、HV16とする。
- ・ スラブは、日鉄ルーフデッキ (UA-R t=1.2) とする。
- ・ ―→ は、デッキの敷設方向を示す。
- ・ b65は横補剛材とし、取付く大梁の中心に取り付けること。

摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7.8	有限 会社	熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 S-11
	・							
	・							
	・							
		図 面 名	RFL-2床梁伏図	縮 尺 A2 1:50	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088 (849) 2700 高知県第266号			



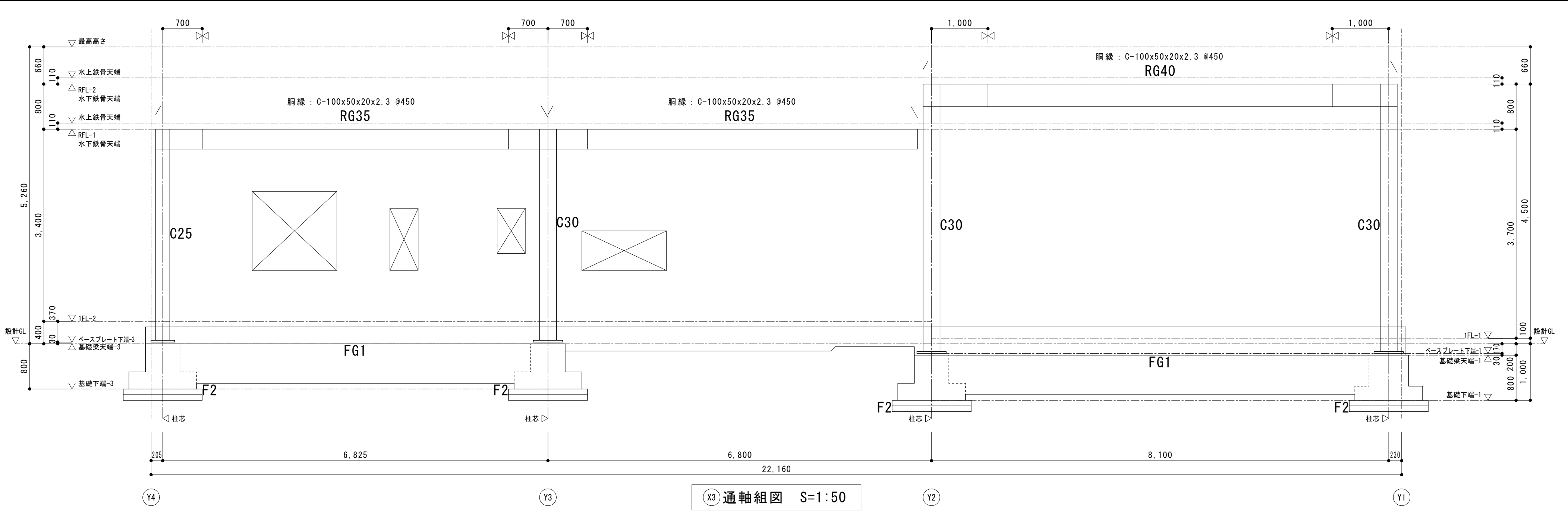


X1 通軸組図 S=1:50



X2 通軸組図 S=1:50

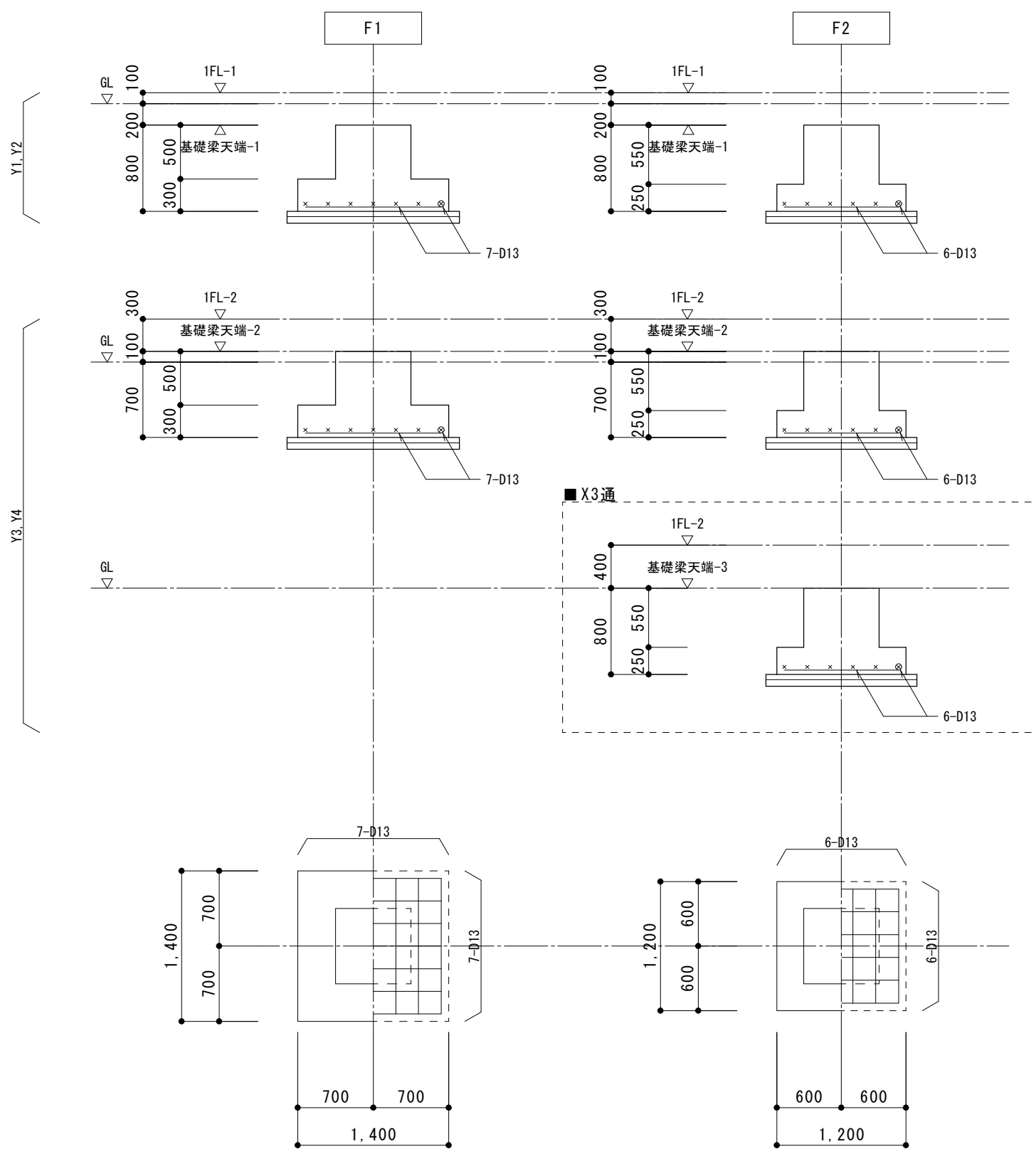
摘要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7. 8	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 S-13
	・						
	・						
	・						
		図 面 名	軸組図（2）	縮 尺 A2 1:50	高知県高知市朝倉丙1414-36 高知県第266号	TEL088 (849) 2700	



摘要	・	工事名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年月日 R7.8	有限会社 熊沢構造設計事務所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊沢敬輔	図面番号 S-14
	・						
	・						
	・						
		図面名	軸組図（3）	縮尺 A2 1:50	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		

基礎リスト

1:50

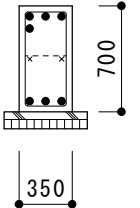
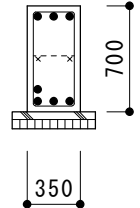
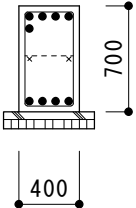
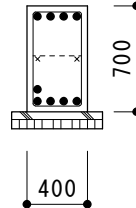
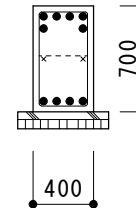
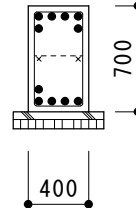
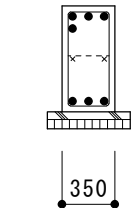


基礎梁断面リスト

1:50

特記なき限り下記による

1. 巾止筋は、D10 @1,000以内とする。
2. 主筋が直行する場合は、いずれの方向が外側になってもかまわない。

符号	FG1		FG2			FG3	FG4
位置	端部	中央	左端 (X1)	中央	右端 (X2)	全断面	全断面
断面							
b x D	350x700		400x700			400x700	350x700
上端筋	³ / ₁) 4-D22	3-D22	⁴ / ₁) 5-D22	4-D22	⁴ / ₂) 6-D22	⁴ / ₂) 6-D22	³ / ₁) 4-D22
下端筋	3-D22	¹ / ₃) 4-D22	4-D22	¹ / ₄) 5-D22	4-D22	¹ / ₄) 5-D22	3-D22
スタールップ	□-D10 @200		□-D10 @150			□-D10 @150	□-D10 @200
腹筋							
備考							

スラブ断面リスト

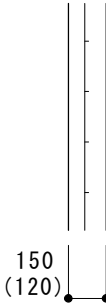
1:50

特記なき限り下記による
1. 巾止筋は、D10 @1,000以内とする。

符号	版厚	位置	主筋方向	配力筋方向	備考
土間	150	上端筋	D13 @200	D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	

壁配筋リスト

1:30

符号	W150 (W120)	備考
壁厚	150 (120)	
断面		
縦筋	D10 @200 (シングル)	
横筋	D10 @200 (シングル)	
備考	・ 腰壁 ・ () 内数値はW120の値を示す。	

鉄骨柱リスト

符号	階数	部 材	材 種	備 考
C25	1	□-250 x 250 x 9	BCR295	柱脚：ベースバック 25-09V
C30	1	□-300 x 300 x 12	BCR295	柱脚：ベースバック 30-12V
P14	1	H-148 x 100 x 6 x 9	SN400A	
P20	1	H-200 x 200 x 8 x 12	SN400A	
P25	1	H-250 x 250 x 9 x 14	SN400A	

鉄骨大梁リスト

1. 材種は、端部（左端・右端）SN400B・中央はSN400Aとする。

符号	階数	部 材		材 種	備 考
G35	RFL-2				
	RFL-1		H-350 x 175 x 7 x 11		
G40	RFL-2		H-400 x 200 x 8 x 13		
	RFL-1				

鉄骨小梁・他リスト

特記なき限り下記による
1. 材質は、SN400Aとする。

符号	部 材	備 考
b25	H-250 x 125 x 6 x 9	
b30	H-300 x 150 x 6.5 x 9	
B15	H-150 x 75 x 5 x 7	
B35	H-350 x 175 x 7 x 11	
b12	[-125 x 65 x 6 x 8	
b90	L-90 x 90 x 6	
Hb24	H-244 x 175 x 7 x 11	・横使いとする。 ・ガゼットプレートは、リブプレートにより補強すること。
胴 縁	C-100 x 50 x 20 x 2.3	
胴 縁	□-100 x 100 x 2.3	

摘要	.	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号
	.			R7.8			S-15
	.	図 面 名	基礎リスト・基礎梁リスト・スラブリスト・壁リスト・鉄骨部材リスト	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号		
	.			A2 1:30、1:50			

鉄骨継手リスト

特記無き限り下記による

1. 添え板、ガセットプレートの材質は母材と同質とする。
2. 高力ボルトはS10T若しくはF10Tとする。

[illegible]

※フィラープレートは、すきまが1mmを超える場合に入れる。

ボルト径	ボルト穴径	ピッチ P(P')	はしあき e	梁		柱	
				ボルト列	WPL	ボルト列	WPL
M 1 6	1 8	6 0	4 0	n = 1	1 7 0	n = 1	1 6 5
M 2 0	2 2	6 0 (4 5)	4 0 (5 0)	2	2 9 0	2	2 8 5
M 2 2	2 4	6 0 (4 5)	4 0 (5 5)	3	4 1 0	3	4 0 5

[illegible][illegible]

3 ブレース仕口

干鳥

2列

筋かいせい

筋かいせい	G
150	40
200	60

※ガセットプレート端部（柱梁接合部）にはガセットプレートと同厚のリブプレートを設置すること。

5 アンカーボルト							
アンカーボルトの材質							
採用	材質						
○	SNR400						
	ABR490						

ワッシャー

二重ナット

ベースモルタル
(無収縮モルタル)

グラウト
(Fe2IN)

フック型

※基礎高さが不足する場合は、上記の折り曲げを行なう。

ボルト径	フック 型				
	a	L	b	c	h
M16	700	320	100	40	65
M20	750	400	100	50	80
M24	785	480	125	60	100
M27	895	540	125	70	110
M30	1250	600	125	75	120
M42	1100	840	155	105	170

6
ササrah 桁柱脚詳細図

＜屋内階段＞

ササrah 桁 FB-250×9
(P L-12、3-M20)

アンカーボルト 2-M20

BP L-16×350×210 L=400

ダブルナット締め

＜屋外階段＞

ササrah 桁 FB-250×9
(P L-12、3-M20)

アンカーボルト 2-M20

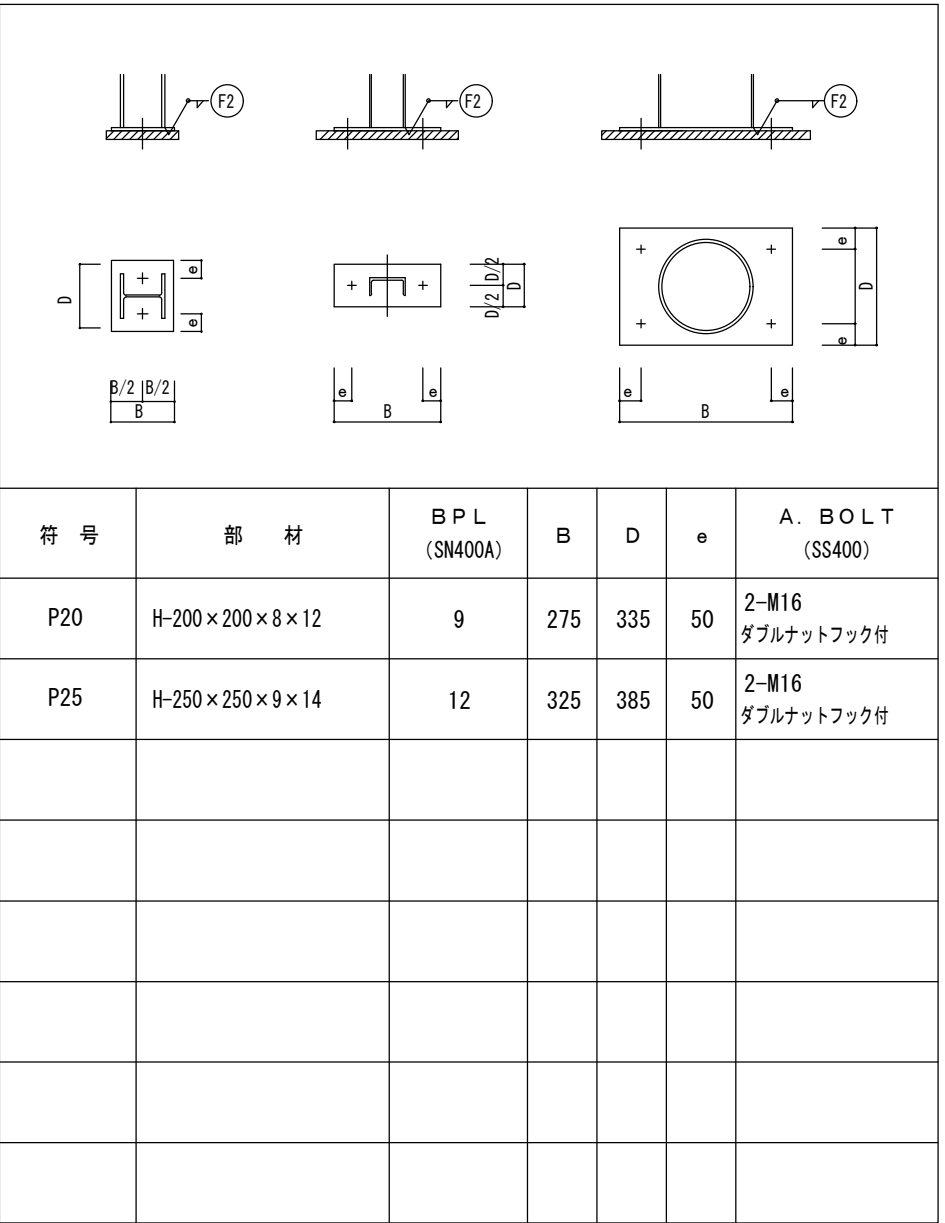
BP L-16×350×210 L=400

ダブルナット締め

間柱柱脚リスト	1. アンカーボルト長さは、「5」を参照のこと。
---------	--------------------------

特記無き限り下記による

1. アンカーボルト長さは、「5」を参照のこと。

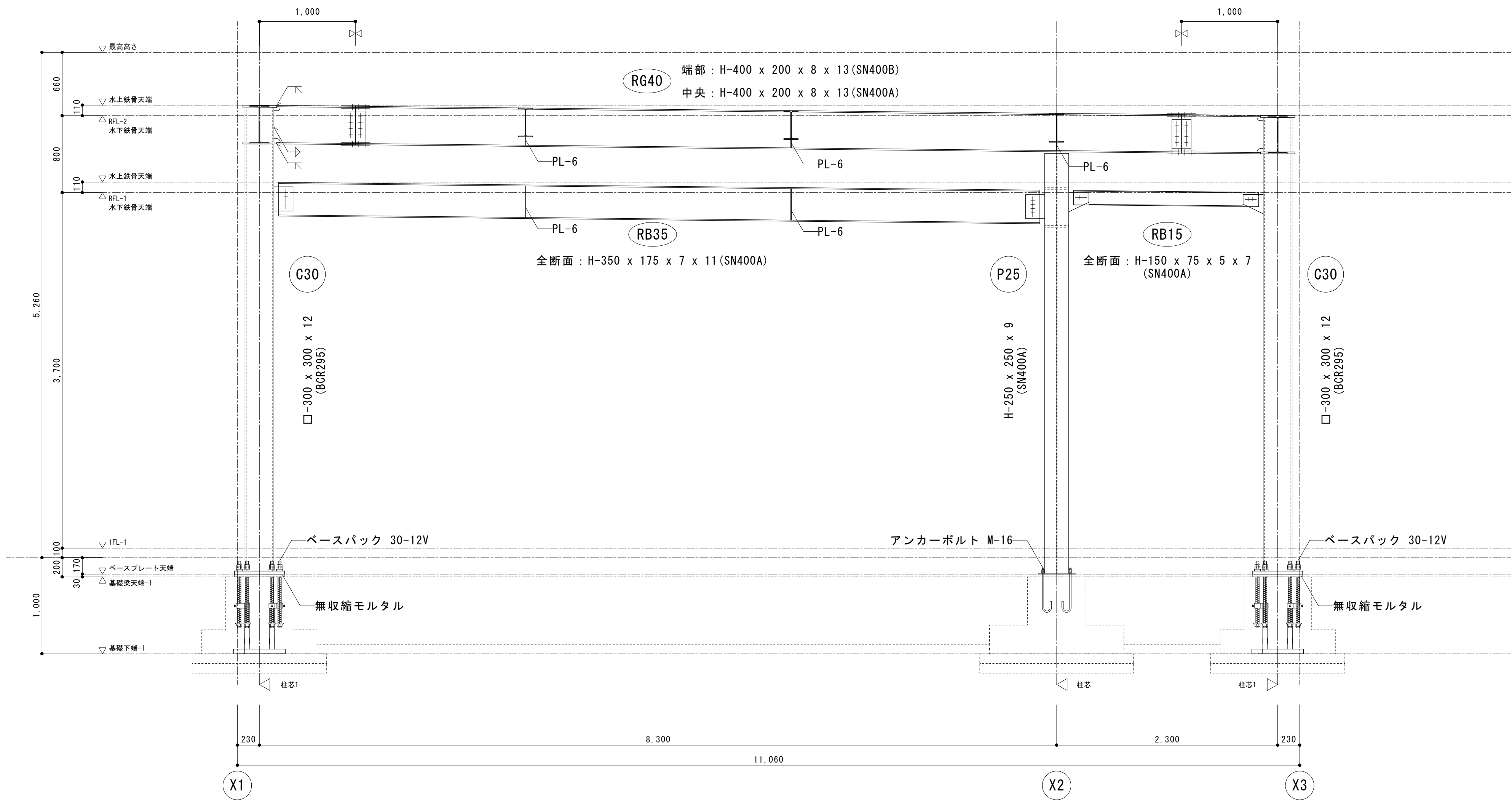


符 号	寸 法	配筋			
		本数	X	Y	帯筋
P20	610 x 500	12-D16	4	4	D13 @100
P25	660 x 550	12-D19	4	4	D13 @100

・C柱 基礎柱は、ベースバック柱脚工法設計施工標準図を参照すること。

・C柱 基礎柱は、ベースバック柱脚工法設計施工標準図を参照すること。

摘 要	・	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日	有限 会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号	図面番号
	・			R7.8			
	・	図 面 名	継手仕口リスト	縮 尺	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849)2700 高知県第266号	一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	
	・			A2 1:-			



- 特記なき限り下記による。
- 1. 鉄骨材種は、端部（左端・右端）SN400B・中央はSN400Aとする。
 - 2. 添え板、ガセットプレートの材質は母材と同質とする。
 - 3. 高力ボルトはS10T若しくはF10Tとする。
 - 4. 印は、鉄骨継手位置を示す。
 - 5. ベースバック材質は、ベースバック柱脚工法設計施工標準図による。

Y2通鉄骨架構詳細図 S=1:30

摘要	.	工 事 名	夜須分団屯所新築工事（建築主体工事）	年 月 日 R7. 8	有限会社 熊 沢 構 造 設 計 事 務 所	構造設計一級建築士 第8611号 一級建築士 大臣登録 第318143号 熊 沢 敬 輔	図面番号 S-17
	.						
	.						
	.						
		図 面 名	鉄骨架構詳細図	縮 尺 A2 1:30	高知県高知市朝倉丙1414-36 TEL088(849) 2700 高知県第266号		